自筆資料を中心とした
原爆文学資料の電子化の研究

課題番号　１７５２０４３５

平成１７年度～平成１９年度科学研究費補助金（基盤研究（C））

研究成果報告書

平成２０年５月

研究代表者　松尾　雅嗣
（広島大学平和科学研究センター　教授）

広島大学図書
0100465987

自筆資料を中心とした原爆文学資料の電子化の研究
研究成果報告書

はしがき

本研究は、核被害特に広島の核被害に実態を明らかにし、記録する作業の一環として、手記、証言、文学作品など書かれた資料、中でも原爆文学関連の資料に焦点を当て、これを電子媒体、特にデジタル画像に記録し、その目録を作成することを主たる目的として行った。本研究の主要な成果は次の二点である。

（１）　資料の収集とその電子化、デジタル画像化

峠三吉資料（約１万コマ）、原民喜資料（約 7,500 コマ）、プランゲ文庫広島関係雑誌の検閲記録（約４万コマ）をデジタル画像化した。また、カザフスタン・セミパラチンスクの被曝証言、ロシア語、日本語、英語それぞれ約５００件を電子化した。また、平岡敬寄託の朝鮮人被爆者関連資料の整理と目録作成も行った。

（２）　電子化、デジタル画像化した資料の整理と目録の作成、公刊

峠三吉資料のうち、公表可能な自筆草稿約１，５００件（画像にして約５０００画像）について、作品草稿などの表題索引を付した目録を作成し、冊子体で公刊した。さらに、画像と、目録及び表題索引をリンクさせ、検索の便を図ったデジタル画像つき自筆草稿目録を完成させ、ＣＤ媒体で公表した。この自筆草稿画像目録では、目録の資料番号あるいは作品の表題から直ちに草稿の画像を呼び出して内容を検討することが可能である。

書簡、日記など個人情報、プライバシイの問題のため直ちに公表できない自筆資料についても上記画像目録化の作業を進めたが、いまだ未完成である。また、将来の公表の方法の慎重な検討も必要である。

以上の成果は、主として学術論文、図書として公表した。

本報告書には、主要研究成果を収録するとともに、ＣＤ版『峠三吉自筆草稿画像目録』を添付した。

研究代表者　広島大学平和科学研究センター教授　松尾　雅嗣

研究課題：自筆資料を中心とした原爆文学資料の電子化の研究

課題番号：１７５２０４３５

研究種目：基盤研究（C）

実施年次：平成１７年度～平成１９年度

研究組織：研究代表者　松尾　雅嗣　（広島大学平和科学研究センター教授）

交付決定額（配分額）

研究経費	直接経費	間接経費	合計
平成１７年度	２，１００千円	０　円	２，１００千円
平成１８年度	９００千円	０　円	９００千円
平成１９年度	６００千円	１８０千円	７８０千円
総計	３，６００千円	１８０千円	３，７８０千円

研究発表

（１）学会誌等

Matsuo, Masatsugu and 4 others (2006), "Overall Image of Nuclear Tests and Their Human Effects at Semipalatinsk: An Attempt at Analyses Based on Verbal Data," *J. Radiat. Res.*, 47, Suppl. A219-A224

松尾雅嗣　(2006)「峠三吉自筆草稿画像目録」、『広島平和科学』, 28、45-62

Matsuo, Masatsugu and 5 others (2006), "A Preliminary Study on the Attitudes toward Nuclear Weapons and Nuclear Tests of the Residents of Kurchatov, Kazakhstan," *Hiroshima Peace Science*, 28, 134-154

松尾雅嗣・谷整二 (2007)「広島原爆投下時の一次避難場所としての川と橋」、『広島平和科学』、 29, 1-25

松尾雅嗣・谷整二 (2008)「広島原爆投下時の避難：川と橋を越えて」、『広島平和科学』、30, 印刷中

（２）口頭発表

なし

（３）出版物

松尾雅嗣（2007）,『峠三吉自筆草稿画像目録』（広島大学平和科学研究センター研究報告 32）,xvi+118 頁

主要研究成果

　峠三吉自筆草稿画像目録

巻末附録　ＣＤ版『峠三吉自筆草稿画像目録』

２００７年１１月 IPSHU 研究報告シリーズ研究報告 No. 39（ISSN 1342-5935）
として広島大学平和科学研究センターより刊行された

峠三吉自筆草稿画像目録

松尾雅嗣（編）

広島大学平和科学研究センター

前書と解説

はじめに

現在確認されている峠三吉関係の資料の大半は、広島市立中央図書館と峠鷹志氏によって所蔵されている。広島市立中央図書館所蔵分（以下、中央図書館資料と略称）と峠鷹志氏所蔵分（以下、東京資料と略称）は、いずれもほぼ全点マイクロフィルム化され、広島市立中央図書館に保管されている。現在までに確認された峠関係の資料は、言うまでもなくこれに限らない。例えば、広島文学資料保全の会（以下、保全の会と略称）が保管する資料などもその例である。このほかに他の個人所蔵資料や未確認資料が存在することは言を俟たない。

我々が２００４年に『峠三吉資料目録』（以下『資料目録』と略称）として刊行した目録は、中央図書館資料と東京資料を合わせ、さらに追加資料[1)]を加えた既存全資料の統一的目録である。未確認資料が存在する可能性は勿論否定できないとしても、現在これが最も網羅的な目録である。

しかしながら、この目録は二次情報であり、あくまで資料の所在を示すものに過ぎない。研究者、関心のある学生、市民にとって真に有用なのは、資料そのもの、即ち一次情報である。確かに、峠三吉の作品については、何点かの作品集が刊行されている[2)]。また他の資料についても、評伝『八月の詩人』（増岡敏和著　東邦出版社、昭和４５年）をはじめ、上記作品集からも作品、日記、随筆、覚書などの一端を窺うことができる。しかし、いずれも紙幅の制約などから部分的な紹介にとどまり、原資料について十分な情報を与えるものではない。ましてや、これら原資料へのアクセスは必ずしも容易ではなく、峠三吉とその時代の研究にとって大きな隘路となってきたことは否めない。

原資料を電子画像化し、提供することの意味はここにある。直接に原資料を検討することができればそれに越したことはないが、現実にはさまざまな障害が存在する。それを克服するひとつの方法が資料を電子画像として提供することである。原資料をデジタル画像化し、これをＣＤあるいはＤＶＤといった媒体によって提供するという方法である。勿論、電子画像といえども、２節「電子画像の作成と処理上の問題」の項で後述するように画像の精粗や鮮明度によっては、最終的に原資料に拠らなければ内容を確定できないことも少なくはな

い。資料のデジタル化のメリット、特に峠三吉研究にもたらす新たな可能性については既に他の箇所で触れたので[3)]、ここでは論じない。しかし、この方法により、原資料へのアクセスの問題は格段に改善できるはずである。

デジタル画像への変換、あるいはデジタル画像の作成については、これまでに、中央図書館資料については、峠差出、峠宛の書簡類、峠自筆の日記、草稿、ノートなど峠の生涯と作品に密接な関わりをもつ資料を中心に、東京資料はそのすべてを、マイクロフィルム画像からデジタル化した。その他の資料についても、広島文学資料保全の会保管の資料などをデジタル画像として記録した。これらのデジタル画像については、個人情報の扱いなど幾つかの権利に関わる問題があり、すべての資料の画像を直ちに無条件に公開できるものではないが、できるだけ早い機会に、ＣＤなど記憶媒体やインターネットを介して公開することを考えている。

電子媒体ではないが、昭和２０年８月６日直後の峠三吉の日記の写真画像を『峠三吉被爆日記』[4)]として冊子体で刊行したのは、電子画像を以って原資料に代える試みのひとつである[5)]。しかしながら、日記の一部のような少数の資料であればいざ知らず、数千に及ぶ画像を印刷物として刊行することは、不可能ではないとしても実現困難であり、現実的な方法としては電子媒体として利用するほかない。しかも、電子媒体で利用するとしても、ＣＤ数枚に格納された画像ファイルの中から特定の作品の草稿を探し出すことは相当の時間と労力を要する。利用の便を向上させるためには、何らかの方法で直ちに画像を検索できる形にする必要がある。

本画像目録は、このような作業の一環であり、上述の資料目録から峠三吉の自筆草稿という原資料の画像を迅速かつ容易に呼び出せる形にしたものである。上述のように画像そのものを印刷して提供することも選択肢として考えられないわけではないが、費用の制約と使い勝手を考え、目録自体をＣＤで提供する。詳細は後に述べるが、このＣＤに収められたデータを利用することにより直ちに当該資料を画像として表示することができる。

この峠三吉自筆草稿の画像目録は決して完全なものではない。現在知られる資料を網羅しているとしても、自筆草稿のすべてを網羅するという保証はない。

さらに所収の資料の画像についても、原資料自体の劣化、フィルム撮影の問題、電子化過程の問題など多くの問題が残されている。原資料に当たる必要のある場合も少なくない。このような難点を残しているにもかかわらず、この種の資料画像が、資料へのアクセスを容易にし、峠三吉の作品を理解するきわめて有用なツールとなることは確かであろう。

この画像目録は峠三吉の自筆草稿のみを対象とする。日記、書簡等も含む峠三吉関連資料の網羅的な画像目録、少なくとも峠の自筆資料の網羅的な画像付目録が望ましいことは明かである。将来的には、この自筆草稿画像目録を拡張して、自筆資料あるいは関連資料全体の画像目録を作成することを計画している。そしてその準備も遅々としてではあるが、整えつつある。

さらに、デジタル化の完成の後には、テクスト化の課題が存在する。手書原稿を活字として起こす作業である。翻刻はわれわれの時間と能力をはるかに超える作業であり、ここでは将来の課題として指摘するにとどめるが、この作業のためにもデジタル画像が大きな助けとなることは確かであろう。

本画像目録は小さな最初の一歩に過ぎない。多くの欠陥、誤謬、誤認もあろう。読者諸氏のご叱正と、ご批判を仰ぎたい。完成されたものではないにせよ、この目録が、将来の峠三吉研究と、ひいては原爆文学、戦後広島の文学・文化活動、原爆被害という未曾有の惨事を体験した地域とそこに生きた人々の営みを理解する一助となれば、編者にとっては望外の幸せである。

２００７年１０月

編者

松尾　雅嗣

1　資料と収録範囲

本目録とその基礎となった『資料目録』の分類は、広島市立中央図書館刊行の『峠三吉資料目録』の分類を基本的に踏襲したものであるが、峠三吉自筆の資料を優先することと、今後の新資料追加の可能性とを考慮に入れ、これに相当の変更を加えたものである。勿論、『資料目録』あるいは本目録の分類や配列が唯一のものではないし、分類の境界が常に明確であるわけではない。また、個別資料についてはどの項目に分類するかが問題になるケースも当然ある。一部の資料を二箇所に二重記載したのも、利用者の便を考慮したという側面もあるが、多分にこの理由によるものでもある。

本目録の基になった資料分類は以下の通りである。

1　自筆草稿類
これは、さらに（1）詩、（2）小説・童話（作文含む）、（3）短歌・俳句、（4）評論・主張（宣言類、覚書含む）、（5）台本・シナリオ類、（6）絵画類（習字含む）、に下位区分した。

2　日記類（手帳など含む）

3　書簡：電報、グリーティングカードなども含む。
これは、（1）峠三吉差出、（2）峠三吉宛、（3）峠和子関係に下位区分した。大量に残っている「われらの詩」の会宛の書簡などは7の文化活動に含めた。

4　蔵書：図書のみ
ただし、峠三吉の関わった詩集などの図書は、次項「雑誌･同人誌」に記載した。

5　雑誌・同人誌類
膨大な数の雑誌・同人誌類は、生前と没後とに関わらず、（1）峠三吉編集、発行、峠作品掲載、峠作品紹介、批評、言及等あるものと、（2）その他の雑誌･同人誌に区分した。一部は参照の便を考え、双方に記載した。
「雑誌・同人誌類」と次項の「新聞・機関紙類」の判別は必ずしも容易ではない。分類に問題ある資料なしとしない。

6　新聞・機関紙類及び切り抜き
新聞・機関紙などの一部が丸ごと保存されているものと切り抜きとは、敢えて区分せず、（1）生前のものと（2）没後のものに二分した。峠及びその作品に言及ある資料はいずれにも含まれる。但し、没後の新聞：機関紙等で、峠三吉及びその作品に言及のあるものは、参照の便を考慮し、9「没後資料」にも併載した。

7　文化活動
峠三吉の多岐にわたる文学・文化活動を明確に区分することは困難であるが、活動母体となった主宰団体と所属団体を基準として、（1）青年文化連盟関係、（2）ＹＭＣＡ関係、（3）瀬戸内海文庫関係、（4）広島詩人協会『地核』関係、（5）『新日本文学会』関係、（6）われらの詩の会関係（これには、われらの詩の会宛書簡、応募原稿を含む）、（7）『原子雲の下より』関係（応募原稿を含む）、（8）その他の文化活動・平和運動関係に大別した。最後の項目には明確に分類しがたい資料が相当に含まれる。なお、評論･宣言･覚書など自筆のものは、原則として「自筆草稿　（4）評論･随想」に収録したが、一部については双方に併載した。

8　履歴関係

峠三吉の履歴に関する資料、遺品、告別式関連の資料はここに記載した。（1）履歴関係、（2）写真・絵葉書・名刺、（3）遺品など、（4）告別式関係、（5）その他に区分した。

9　没後資料

峠三吉没後の関係資料をここに分類した。但し、新聞・機関紙類、切り抜きは、上述のように6「新聞・機関紙類及び切り抜き」にも掲載した。

すべての資料が、この分類に容易に当てはまるわけではない。例えば、ノートなどひとつの綴りになっているものは一括して分類処理できるが、「詩集」と題された綴りやノートに「短歌」や「日記」が入っている場合は、二重記載で相互参照形式とせざるを得ない。雑誌や新聞類の分類も同様である。それゆえ、必要に応じて分類ごとに注釈や説明を付け加えた。

分類した資料の配列は、原則として年代順、あるいは書簡などは人名順とした。一綴りのノートなどに記録されたものについては、記載順に整理したが、これは「詩集」などと題したノートの例を見れば明らかように必ずしも年代順になっていない。この場合は、あえて日付順に配置し直すことはしなかった。年代順に配列する場合、年月日を確定できない資料も多く、「不明」として各分類の末尾に置いたが、年代順から言えば問題ありと思われるケースも少なくない。それゆえ、中央図書館資料、東京資料ともに、旧版あるいはマイクロフィルム画像の配列順を優先して、年代を確定できない場合でも、順序を入れ替えずに残したものもある。

本自筆草稿画像目録は、電子画像化した中央図書館資料、東京資料、その他の資料のうち、峠三吉自筆の作品草稿の目録と画像を一体化したものである。具体的には、詩、小説、童話、短歌、俳句、劇作台本、シナリオ、評論、主張の草稿を収録した。檄文、アピールの草稿も含む。また、作品と必ずしも直接のかかわりはないが覚書・メモの類も基本的に収録した。また、自筆のものとはいえ、日記、書簡類は原則として収録対象から除外した。これは現在無条件には公開できないものが含まれるからである。

この画像目録の収録対象は、上述『資料目録』所収の資料のうち、「自筆草稿類」と分類したもののうちの

（1）詩、

（2）小説・童話、
（3）短歌・俳句、
（4）評論・主張、
（5）台本・シナリオ類

に記録された資料である。しかし、（6）絵画類（習字含む）は収録対象から除外した。「自筆草稿目録」とは題するものの、台本には、謄写印刷のものも若干含めた。また、資料番号 M1920「座談会記録　文学運動をどう進めるべきか　－破防法をめぐって」などのように記録者が不詳であり、必ずしも峠の手になるものとは言えないものも含まれる。

さらに上記（1）～（5）の資料のうちには、資料番号 M1902 のように、何らかの理由で例外的に画像が存在しないものもある。この種の資料も本目録には記載したが、「画像なし」と明記した。

この目録では、『資料目録』にあった誤りは、これを訂正した。従って、本目録と『資料目録』の間には若干の異同がある。

目録に収録した電子画像は、Acrobat のＰＤＦ形式で作成されている。ＣＤ版の目録を使用するためには、最小限 Acrobat Reader が必要である。このソフトはインターネットから容易にダウンロードできる。

2　電子画像の作成と処理上の問題

ここでは、目録の電子画像使用の前提として、電子画像作成の詳細とその際遭遇した問題の処理方法について述べておく。本節以降（2～4節）の内容に関しては、別稿（松尾雅嗣　(2006)「峠三吉自筆草稿画像目録」、『広島平和科学』, 28、45-62）でも詳細を記したので、参考までに巻末に付録として（ＣＤ版ではＰＤＦファイルとして）掲げておく。

目録作成の手順は大略以下のとおりである。まず、フィルムの画像をひとコマごとに tif 形式のファイルに変換する。次いで、元のフィルム画像の不要な余白のトリミング、画像の回転などの編集作業を必要に応じ行う。元の画像は、フィルムのリール番号とコマ番号がファイル名として与えられているだけであり、資料との対応をつける必要があるので、tif のファイル名を『資料目録』の

資料番号に変換する。一件の資料が複数画像から成る場合は、適宜枝番号を付ける。他方、フィルムに撮影されていない資料は、スキャナーを利用し、直接 tif 形式の画像とする。ファイル名は同様の方式で与える。

一度書かれた原稿などの上に、付箋を貼り付けて追記、修正などを施した資料もある。この場合は、付箋を付けた状態と付箋を裏返した元の状態それぞれを示す二つの画像を収録した（資料番号 T0040 の１０頁目など）。

この後、tif 形式の画像をＰＤＦ形式に変換し、複数画像から成る資料は連結してひとつのＰＤＦファイルとする。上述のように大半がマイクロフィルム画像から作成されたので、目録に収めた電子画像も若干の例外を除きすべてモノクロである。

今回提供する画像には、原資料、元のフィルム画像、作成手順に起因するいくつかの難点が残っている。

第一に、フィルム画像が極めて不鮮明で、書かれた文字の判読が困難なものも少なくない。このため、同じ頁や用箋が二度撮影された資料もある。この場合には、一方だけを残した場合もあれば、画像を取捨することなく両方を電子画像として示した場合もある。いずれの場合にも目録本体に複数回撮影された旨の注釈を付した。文字の判読困難は、自筆草稿の用紙の変色、特に黒化、ペン書き文字、特に黒以外のペン書き資料の退色、などが主な理由である。また、用紙の裏表に記された草稿には、裏面の文字が移ったため、程度の差はあるが読みにくくなったものもある。この種の資料については将来原資料を再度撮影することも考慮しなければなるまい。

第二に、使用された用紙は、個々の資料、具体的には草稿（草稿と覚しき断片も含む）と境界が必ずしも一致するわけではない。一枚の用紙に複数の草稿が記されることもあれば、一編の詩が複数の用紙に部分的に記されることもある。具体的には、次のような事例が頻繁に見られる。

（１）　「詩集」などと題されたノートの場合、一編の詩が頁の途中から始まり、それ以降の頁の途中で終り、また次の草稿が始まる例。

（2）　おそらくは戦後の物資不足、特に用紙不足によるものと推察されるが、綴りになっていない用紙一枚を使用する場合にも、一編の草稿を記した後、余白があれば別の草稿が記されている例。極端な場合、用紙の上下あるいは左右を回転させてあるいは斜めに回転させて記されることもある。また、一綴の用紙についても、用紙の左右と上下使用が混在している例もある（資料番号 T0016「小説　ヨハン少年物語（バルバラの恩返し）草稿」、M1719「覚書『落書（3）』（抄録帳）峠光芳」の２枚目など）。このような画像を見るときには、資料ごとに、場合によっては見開き頁ごとに、ＰＤＦ画像を回転させて見る必要が生ずる。

上記（1）、（2）の場合、些か煩雑冗長ではあるが、当該資料を特定する目的で、画像内で当該資料を赤枠で囲って示してある。

物資不足、とりわけ用紙不足の影響であろうか、ビラ、反古などの裏面に記された草稿も相当数に上る。この場合、本来は用紙の裏面であったものを草稿の表と解し、本来の表を裏面として扱った。このように利用されたビラなどは作品の理解には直接の関わりはないが、峠の創作活動の一端を窺うよすがともなることから、目録部分に「・・・の裏面使用」と明記し、画像としても草稿部分の後ろに付け加えた場合もある。例えば、資料番号 M1958 「離脱」ファイルの最初の頁はこの詩の草稿であり、この詩は「日英豪交歓音楽会会員券」の裏面に記されたものである。ファイルの２頁目には、本来の表である会員券が示される。

3　目録の形式と構成

既に述べたように、本画像目録は電子媒体で提供される目録である。印刷した冊子体でも刊行するが、冊子体はあくまで二義的な資料である。それゆえ、以下の説明もＣＤで提供される目録を念頭に置く。

本画像目録の形式、構成及び内容は、若干の修正と変更はあるが基本的には上記『資料目録』を踏襲する。前述のように若干の例外はあるが、資料の分類、内容、形式、配列等はすべて『資料目録』に従っている。誤解を恐れずに言え

ば、本画像目録は、『資料目録』の個々の資料にその電子画像を対応させたものである。

３．１　資料詳細

本目録の基礎となった『資料目録』における資料の記述は、次の項目から構成されている。

１　資料番号
２　資料名
３　資料詳細
４　日付
５　形態等備考

本目録では、２の「資料名」と３の「資料詳細」を合わせて一項目とした。『資料目録』では、それぞれの項目に記載する内容については、広島市立中央図書館版掲載分は、明らかな誤植や誤謬を除き、ほぼその記載を全面的に採用した。他の資料については、新たに確定し記載した。本目録では、これに若干の変更を施した。各項目の詳細は以下の通りである。

（1）　資料番号

本目録の資料番号は、アルファベット１文字と４桁の数値から成る。最初のアルファベット大文字は寄贈者・保管者を示す。

Ｍ：三戸頼雄・今井千栄子氏寄贈資料
Ｋ：好村富士彦氏寄贈資料
Ｏ：尾津訓三氏寄贈資料
Ｉ：池田正彦氏寄贈資料
Ｇ：『原子雲の下より』応募原稿
－以上、広島市立中央図書館所蔵－
Ｔ：峠鷹志氏所蔵資料（東京資料）
Ｓ：坂田（旧姓平岡）和子氏寄贈、保全の会保管の資料

これに続く４桁の資料番号は、中央図書館資料については旧版の資料番号を、東京資料については、前掲池田・松尾（編）「峠三吉東京資料目録」の番号を基本的に踏襲した。後者は、マイクロフィルム収録順に従い、われわれが新たに付したものである。

坂田和子氏寄贈資料及び、保全の会保管資料にはこの番号はないので、新たに番号を付した。坂田資料は、独自の番号を付けた。また保全の会保管資料については、池田氏が保管の責任者でもあることから、便宜的ではあるが、中央

図書館の池田寄贈資料番号に続けた。資料番号 I0115 までは池田正彦氏寄贈資料、資料番号 I0116 以降が保全の会保管資料である。

旧版目録などで枝番が付されているもの、あるいは見落としにより新たな番号を付す必要があるものなどについては、必要に応じて原資料番号にアルファベット大文字（A、Bなど）を付して区別した。

（2）　資料名

『資料目録』では、独立の項目であるが、本目録では次項「資料詳細」と合わせて、3．2に示すように「資料名」とした。

本目録では、詩、俳句、短歌等のジャンルはは別途分類されているので、「資料名」としては特に示さず、表題のみ与えた。

資料中には、明らかに詩の草稿断片と思われるものも少なくない。これらはすべて＜無題＞とした。無題のものについては、断片も含め、冒頭の一，二文節を「」で括って示した。「無題」と題されたものについてはこの標記は用いず、単に資料名を「無題」とした。

（3）　資料詳細（本目録では、「資料名」として前項と併合）

資料の内容を具体的に記す。ルビは原文にあるもののみに付した。また、判読不能の文字は■で示した。

（4）　日付

日付は資料から確定できるもののみを示した。原文が西暦を使用している場合も含め、年（昭和元号2桁）、月（2桁）、日（2桁）で示す。XXは不明を示す。大正と平成については年の前にそれぞれ T, H を付した。月日及び日のみ不明の場合は、それぞれ年のみ、年月のみ示す。

（5）　形態等備考（本目録では単に「備考」とする）

広島市立中央図書館版に記載のあるものはそれを採用した。適宜、補足情報、編者の註などを記した。

3．2　目録の構成と内容

上述のように、本目録の構成と内容は『資料目録』をほぼ踏襲している。例えば、本目録の冒頭「（1）詩」の先頭部分は次のようになっている、

資料番号	資料名	日付	備考
M1934	裸木	不明	鉛筆書　A5ザラ紙1枚　署名
M1935A	そよ風	不明	鉛筆書　A5ザラ紙1枚
M1937	懸命に立っている 裏面　「生まれて…」	不明	ペン書　薬包紙1枚
M1709B	＊詩集「潮鳴り」	11～12 晩春	M1709 所収

本目録の冊子体の版とCD版の大きな違いは二つある。第一は、CD版では、目録の青の太字（ボールド体）で示された資料番号がハイパーリンクになっており、任意の資料番号をクリックすれば、当該資料の画像が表示されることである。例えば、上掲目次の資料番号 **M1935A** をクリックすれば、この資料（「そよ風」自筆草稿）の画像が表示される。詳細は次節で述べる。

なお、CD版目録中には、例外的に青のボールド体になっていない資料番号もある。これは上述の画像の見つからない資料であり、備考欄に「画像なし」と記されている。この場合、資料番号をクリックしても画像は現れない。

第二は、CD版では、冊子体とは異なり、作品名、草稿などの表題が判れば、比較的容易に検索が可能である。CD版録はマイクロソフト WORD のファイルとしてで提供されるので、これを検索することも可能である。しかし、資料検索の便のために、本目録には表題または冒頭の一、二語ないし文節を抜き出してアイウエオ順などに配列した表題索引を用意した。表題索引には、「日付」と「備考」の情報は与えられていない。

加えて、CD版には冊子体で刊行した『峠三吉被爆日記』（引用文献参照）を付録として収めた。利用には「峠三吉被爆日記」フォルダーの「はじめに」ファイルを開けばよい。

4　CD版画像目録の使用方法

ここではCD版の利用方法を述べる。付録として収めた『峠三吉被爆日記』の利用法については特に説明の要はないと思われるので割愛する。

なお、CD版は冊子体の本目録には添付しない。利用希望者には、末尾の利用申込書の提出後、無償で提供する。

CD版の提供に当たっては、当然のことながら、

研究目的以外には使用しないこと、

目録利用による成果を公表する場合は、原資料所蔵者と目録作成者を明記すること、

そのままの形であれ加工した形であれ、第三者に譲渡・提供しないこと

が条件となる。

本目録の利用のためのＯＳは Microsoft Windows XP である。これ以降の Windows のバージョンについてはテストしていない。提供されたＣＤをそのまま利用することも可能であるが、ハードディスクに適当なフォルダーを作成してＣＤの内容をすべてそのフォルダーにコピーしておいたほうがはるかに使い勝手がよい。「被曝日記」も同様である。このとき必要なメモリは約６００ＭＢである。

本目録に収録された資料はすべて Acrobat のＰＤＦファイルとして提供される。従って、前述のように本目録の使用には Acrobat Reader が必要である。

具体的使用の手順は以下のとおりである。このとき、Acrobat Reader は予め開いておくことが望ましい。なお、以下で述べる「前書と解説」、「草稿画像目録」、「表題索引」の文書ファイルはいずれも、ブックマークやハイパーリンクの挿入を含め、利用者が改変可能である。言うまでもなく改変の責は利用者に帰する。

（1）　「目次」というファイルを開く。このファイルは WORD 文書であり、目次の任意の項目をクリックすれば、本前書を含め、該当の箇所を呼び出すことができる。CTRL キーとクリックを併用する設定になっていることもあるので、適宜設定を変更する。

資料の画像を呼び出すには、目録本体と表題索引のいずれを使用することもできる。いずれかをクリックすればよい。目録本体については、詩、小説・童話、短歌・俳句、評論・主張、台本・シナリオ類のいずれかを選択することもできる。表題索引では、５０音の各行に直接ジャンプすることもできる。

目録、表題索引のいずれでも、まず目録や索引を呼び出して、後にジャンルや５０音の任意の行にジャンプすることもできる。

（２）　（１）で呼び出した画像目録と表題索引は、先頭から順に見る場合と、WORD などの検索ツールを使って特定の語句を含む資料や、他の特定の条件を満たす資料を検索することもできる。この検索方法は、言うまでもなく、目録と索引にある文字列についてのみ可能であり、画像化された文字（列）情報を対象とするものではない。

（３）　資料が特定されれば、資料に付された資料番号をクリックすれば、画像が表示される。複数画像からなる資料は、ひとつのＰＤＦファイルとして連結されているので、Acrobat Reader の機能を使い任意の順で表示できる。Acrobat Reader は利用者にとって最適の拡大率で画像を表示するとは限らないので、表示された画像は拡大・縮小する必要がある。画像の拡大、縮小、回転なども同様に Acrobat Reader の機能を利用する。

なお、Acrobat の標準版を利用する場合、利用者の行った変更が、削除も含めそのまま記録されることもある。このような改変の責は利用者に帰する。

表示した画像の印刷、複写は、上述の３つの条件の下で利用者の自由である。

（４）　任意の資料の画像を見終わった時には、画像を閉じ、必要に応じ、上記（２）～（３）を繰り返す。ツールバーでＷＥＢ用のアイコンを表示しておけば、画像を呼び出したファイルに戻ることもできる。

註

1　詳細については、松尾・池田(2004)、「まえがき」参照。
2　『原爆詩集』（峠三吉著　青木書店、昭和２７年）、『にんげんをかえせ・峠三吉全詩集』（且原純夫解説　風土社、昭和４５年）、『峠三吉作品集　上・下』（増岡敏和解説　青木書店、昭和５０年）など。
3　池田・松尾 (2004a), 104-109 参照。
4　池田・松尾 (2004b)。
5　この画像は、広島大学ひろしま平和科学コンソーシアムのホームページ

（http://home.hiroshima-u.ac.jp/heiwa/cons/05.html）でも公開している。

引用文献

池田正彦・松尾雅嗣 (2004a)「峠三吉東京資料：峠資料電子化の文脈で」、『広島平和科学』, 26, 101-131

池田正彦・松尾雅嗣（編）(2004b)、峠三吉被爆日記、広島大学ひろしま平和科学コンソーシアム

広島市立中央図書館（編）(1990), 峠三吉資料目録、広島市立中央図書館

松尾雅嗣・池田正彦（編）(2004), 峠三吉資料目録、広島大学平和科学研究センター研究報告 32

謝辞

本研究には、平成１５年度前期広島大学研究支援金「原爆文学を中心とした広島原爆資料の目録作成と電子化の研究」（研究代表者：松尾雅嗣）、平成１７－１９年度科学研究費補助金基盤研究（C）「自筆資料を中心とした原爆文学資料の電子化の研究」（研究代表者：松尾雅嗣）の支援を受けた。

峠三吉著作権継承者である峠鷹志氏と、マイクロフィルム版の所蔵者である広島市立中央図書館には資料閲覧とデジタル化に際しお世話になった。

広島文学資料保全の会の池田正彦氏には、この研究の機会を提供していただくとともに、本目録の校閲、資料の整理、資料所有者との仲介、共同研究など多くの協力と支援をいただいた。

広島大学大学院国際協力研究科博士課程前期学生の深林真理さん、前田さららさん、橋本金平さん、徳光祐二郎さん、安田女子大学の日高愛さん（いずれも当時）には資料のデジタル化でお世話になった。

ここに記して感謝の意を表したい。

峠三吉自筆草稿画像目録

（１）　詩
（２）　小説・童話
（３）　短歌・俳句
（４）　評論・主張
（５）　台本・シナリオ

（１）　詩

資料番号	資料名	日付	備考
M1934	裸木	不明	鉛筆書　Ａ５ザラ紙１枚　署名
M1935A	そよ風	不明	鉛筆書　Ａ５ザラ紙１枚
M1937	懸命に立っている　裏面　無題「生まれて…」	不明	ペン書　薬包紙１枚
M1709B	＊詩集「潮鳴り」	11～12 晩春	M1709 所収
T0380A	表紙：詩集　鳩時計（HATODOKEI）　みつよし	13 08～16 01 01	T0381－T0499 を所収
T0381	白い生活より	13 08	『療養生活』入選
T0382	テント虫		頁下段
T0383	ホタル		頁下段
T0384	美しい日は去る	13 10	『療養生活』首位入選
T0385	暑い日	14 07	『療養生活』入選
T0386	柘榴		『療養生活』入選
T0387	夏祭	13 09	『療養生活』入選
T0388	秋の小山		
T0389	青い星	14 03	『療養生活』入選
T0390	ゆふべ	14 03	『療養生活』入選
T0391	白蛾	14 10 29	
T0392	ぼんがん靴		

T0393	あさ・ひる・ばん（タカシをよめる）	14 晩秋	
T0394	無題「よいあさであった…」		
T0396	たばこ		
T0397	夏の夜		
T0398	走りゆく波	14	２枚目は上部に T0399 あり
T0399	くすり詩抄	14 07	上段使用
T0400	無題「銀の木靴が・・・」		他作品の一部か
T0401	無題「ヒルムのように・・・」		他作品の一部か
T0402	瞼の裏の印象		
T0403	瀕死の金魚		
T0404	秋の林		
T0405	石蕗	14 10	
T0406	冬鶯（とうおう）		
T0407	街	14 12 23	
T0408	森	14 11 22	『療養生活』入選
T0409	春雪の夜（ポストへと或る便りを）	15 02	
T0410	雪解	14 12 26	
T0411	寂寥	15 春	
T0412	猫抱いて		
T0413	早春		頁下段　『療養生活』及『療養日記』輯録
T0414	瞑想	15	
T0415	或る夜の私・Q氏		
T0416	庭で		頁下段　『療養生活』及『療養日記』輯録
T0417	椿と山脈		
T0418	沈丁の花		
T0419	追恨		
T0420	或る唄		
T0421	二つの草花	14 04 26	

T0422	希ひ	15 01 15	『健康ニュース』１５年６月号掲載 欄外メモ
T0423	わが季節のＩｍａｇｅ（イメージ）		
T0424	ほゝえみ		
T0425	病ひ篤き時の或る心象		上段欄外
T0426	短劍		
T0427	リリィ島では（小唄風に）		
T0428	習作		
T0429	みどりいろの夢		
T0430	押花に寄せて	15 05 27	
T0431	洋紅の詩		
T0432	夕方		
T0433	空をごらん		
T0434	道化師の朝の唄	15 05	
T0435	デス・マスク		
T0436	青い焔のやうに		
T0437	心のたから		
T0438	ひかり		
T0439	おとうと（スティーブンソン・ほんあん）		
T0440	春の唄（小英雄を読みて）	15 05	
T0441	たそがれの心象		
T0442	夏祭	13 07	『療養生活』入選
T0443	幻影	12 08	『療養生活』入選　欄外メモ
T0444	臥椅子にて	15 10	
T0445	心の風景　（１）飛行機（２）潜航艇	15 10	
T0446	無題		
T0447	夢魔		
T0448	訪れ		

T0449	星を見ながら眠るとき		
T0450	朝の徑にて	15 10	
T0451	眞白なる壺		
T0452	峠の秋		
T0453	無題		
T0454	わが愛するもの	15 10	
T0455	永遠の座~故谷山巖君の霊に捧ぐ~	15 11 21	
T0456	絶頂	15 10	欄外メモ
T0456B	ひめごと		
T0457	絶頂	15 10	T0456 と同じ
T0458	春の夜の言葉		
T0459	思ひ出		
T0460	灯を		
T0461	鳥		
T0462	祈り	16 02 08	
T0463	美しき序詩		
T0464	黄金の牛		
T0465	季節の鈴		
T0466	灯ともし頃		
T0467	初秋の島		
T0468	雲		
T0469	白き梢		
T0470	憧憬（海を隔てての）	16 05	欄外メモ
T0471	アラビヤの黄金		
T0472	遺す言葉		
T0473	岬の家		
T0474	汽笛に寄する想念		
T0475	歴史		
T0476	かたばみ		

T0477	別離		欄外メモ
T0478	水禽（みづどり）		
T0479	旗		
T0480	まこと	16 07	
T0481	虹	16 08	欄外メモ
T0482	自然意志		
T0483	お空に住んでゐるもの		
T0484	ネギの根		
T0485	たのしさ		
T0486	お正月		
T0487	小鬼		
T0488	青い海の絵		
T0489	勉強		
T0490	ピアノ		
T0491	手	16 10	欄外メモ
T0492	南瓜畑を行きし時		
T0493	川端に涼む若き母親		
T0494	孤獨	16 09	
T0495	中年の勞働者		
T0496	鳶と私	16 02	
T0497	私の世界	16 10 ~ 16 11	
T0498	秋空		
T0499	＊引用：コサック古代民謡より		
T380B	裏表紙		
T0261A	詩集：つる草文集　みつぼしの署名 「古きノートより」と「詩集（主として小曲）　峠みつよし」を合冊	14 09 ~ 20 03	T0262 – T0322　を所収

T0262	詩集「古きノートより」（合冊の１）		T0262－T0299　を所収
T0263	白い外套（奉秋の夜に）		
T0264	僕の庭	14 09	『療養生活』掲載
T0265	早春譜	11	
T0266	埋火		
T0267	椿	11	
T0268	つとめ帰り	13	
T0269	ざくろ	13	
T0270	回想	13 12 24	『療養生活』掲載
T0271	銀の笛		
T0272	笛	11	
T0273	月夜	11 08	
T0274	月夜	11 08	
T0275	雨	11 09	
T0276	花散れば	11 10	
T0277	夕焼け	11 10	
T0278	河	11 10	
T0279	渚には	14 08	
T0280	私	13	
T0281	英魂に捧ぐ　（英霊を讃える歌応募作）	14 10	
T0282	英霊讃頌	14 10	
T0283	大陸行進曲　応募作	13　秋	
T0284	朝静か	14 09	
T0285	凍雲	14 10	
T0286	石蕗		
T0287	からの花　～　西お兄よりもらいし花	15 02 16	
T0288	王冠	14 11 22	
T0289	勤労奉仕の歌	14 10	
T0290	月夜	14 08	『療養生活』掲載

T0291	悲しみ	14 11	
T0292	愛国行進曲		
T0293	誰も知らない喫茶店	14 12 26	
T0294	或る突撃の歌		
T0295	菊　国民歌謡応募	15 10	
T0296	憧れ	15 10	
T0297	我が家		
T0298	母		
T0299	幻影	12 07	「はじめて活字となりし詩」とあり 『療養生活』掲載
M2093	大土堤に上れば	16	ペン書　原稿用紙３枚（№１欠落）
T0300	詩集（主として小曲）　峠みつよし（合冊の２）		T0301～T0322　所収
T0301	雪崩	18 06 25	
T0301B	無題「われ無限へ…」		
T0302	梳雲	18 10	
T0303	姉のコラールの為に（２）	19 03	
T0304	嘆きの聖母（美戸律子曲コラール一篇に附して）		
T0305	調べの想い（絵に添えて）	19 04 21	
T0306	生くるといふ事は	19 05	
T0307	或る日	19 05	
T0308	二人の姉	19 05	
T0309	愛	19 05	
T0310	み楯の日	19 08 16	
T0311	心の園	19 08 17	
T0312	近寄っては！	19 08 17	
T0313	懐しき	19 08	
T0314	神のよろこび	19.8	

T0315	ほゝえみ	18 09 03	
T0316	悲しみの	19 09 03	
T0317	痴愚	19 06	
T0318	友（T．T．君へ）	19 09 13	
T0319	石蕗の花	19 09 18	
T0320	秋の人	19 10	
T0321	驚きと歓びと	19 10	
T0322	花鉢	20 03	
T0261B	合冊　裏表紙		
T0136A	詩集：「詩（三）」	16～17 初頭	T0137～T0174 所収
T0137	いたみ	16 11	
T0138	勇者	16 11	
T0139	宝石	16 02	
T0140	追想	16 11	
T0141	晩秋茶房譜	16 11	
T0142	珠數のやうに	16 11	
T0143	その人～聖画に題して	16 11	
T0144	海のあをきを	16 11	
T0145	野にて	16 11	
T0146	秋の思ひ	16 11	
T0147	盲目の児と瑪瑙の塔	16 11	
T0148	失ひ	16 11	
T0149	白い寝巻	16 12	
T0150	方向	16 12	
T0151	病臥しつつ	16 12	
T0152	原生	16 12	
T0153	らっきょうに寄せて	16 12	
T0154	昭和十六年十二月八日の詩		

T0155	流れに歌ふ	16 12	欄外メモ
T0156	紅の章（しるし）	16 12	
T0157	顯示	16 12	
T0158	夢いまだ	16 12	
T0159	求め	16 12	
T0160	薄暮	16 12	
T0161	此の時	16 12	
T0162	恩寵	16 12	
T0163	花を入るゝと	16 12	
T0164	街角の陰	16 12	
T0165	小さい詩	16 12	
T0166	燐寸の火	16 12	
T0167	動いてはいけない	17 01	
T0168	心に	17 01	
T0169	立札	17 01	
T0170	眼	17 01	
T0171	湖	17 01	
T0172	親切にしてやったとき	17 01	
T0173	無題「それはほんの他愛のない…」	17 01	
T0174	あらはれ	17 01	
T0136B	裏表紙		
T0175A	シ（四） 峠 光芳	17～18	T0176－T0213 所収
T0176	過程	17 01	
T0177	立場	17 01	
T0178	メシ（苦しき日に）	17 01	
T0179	―或る苦しき日に 六編	17 01	
T0180	横ざまの陽かげの中に~雨之助先生の為に~	17 02 25	

T0181	残照（まどゐの療友達へ）	17 02 初旬	『療養生活』１７年４月号掲載
T0182	水音　『何処かで･･･』	17 02	
T0183	噫！否！（死の刻に寄せて）	17 02	
T0184	美しき時（青春）の秘密		
T0185	天才	17 03	
T0185B	星かげ		
T0186	「七洋制覇の歌」応募作		
T0187	河沿ひに歩いてゐると	17 06	
T0188	求め		
T0189	花を手折るときに		
T0190	結核恢復者（複十字人）	17 10	
T0191	負けさうな刻	18 03	
T0192	早吉の死（頼雄への頼りに添えて）		早吉：三戸家の雄鶏
T0193	春夜の賦		
T0194	聲音	18 09	
T0195	ダリアと赤児	18 10 25	
T0196	一途（いちづ）	18 09	
T0197	朧夜	18 10 26	
T0198	領域	18 10 28	
T0199	かかる時にも	18 06	
T0200	五月	18 06	
T0201	結婚	18 06	
T0202	愛苦	18 11 03	
T0203	曇天薄暮	18 11	
T0204	透身の踊り	18 11 23	
T0205	日本は勝つ（山本兵長の記事に感動して）	17 08 26	
T0206	或る未明の戦闘（突撃）	17 03	
T0207	梅雨曇りの朝　ー病院にてー	18 06	
T0208	暁の戦闘	17 03	

T0209	遠い谷間	18 06	
T0210	地圖	17 02	
T0211	日輪の国		
T0212	みどりなす		
T0213	＊覚書：ショパンの“澄心”について		
T0175B	裏表紙		
T0101A	表紙「（詩二）　ゆたか・みつぼし・光芳・峠」、「推稿一束　回想のよすがに　みつよし」と記	15～21	T0102～T0135 所収
T0102	比喩		
T0103	夕ぐれ（映像）		
T0104	おもかげ	15 03	別の詩あり？
T0105	幻想の地に	15 05	
T0106	鞦韆		
T0107	郷里		
T0108	便りに添へて	15 05	
T0109	聾唖学校に移譲せられたる旧校舎の講堂に寄せて		欄外メモ
T0110	彼		欄外メモ
T0111	夕ぐれは		
T0112	ゆたかな寂しさの		
T0113	一筋の道 ~ 故成瀬軍曹に捧ぐ~		
T0114	ジャック（戦死した犬の為に）		
T0115	初秋の頃	15 08	
T0116	そのまぶた		
T0117	＊短歌：紫なせる（ある人に）		
T0118	知りたいこと		
T0119	思慕		
T0120	貧しき児		

T0121	さくらんぼ		
T0122	はつ夏の少女（ヲトメ）		
T0123	惜離		
T0124	名		
T0125	囚はれ		
T0126	ヴィンの森の物語ー或る人の夢に和してー		
T0127	無題「怖しき悲しみなく…」		
T0128	蟋蟀	16 08	
T0129	音の家族		
T0130	潮（ウシオ）と浮標（ブイ）と		
T0131	慰め		
T0132	滅亡		欄外メモ
T0133	そのこと		欄外メモ
T0134	月夜の雲		
T0135	心の船	15 01	追記「人ゆく夜に」
T0101B	裏表紙		
M1938	無題「あゝ学舎もこの業も…」	18 11 27	鉛筆書　便箋１枚両面
M1939	無題「南の風が湿りを…」	19	ペン書　ザラ紙１枚
M2006	「復活節に寄せて」ほか	19 頃	Ｂ５罫紙１枚両面
T0545A	詩集　S.TOGE　（中扉あり）	19 冬 ～20 夏	T0546－T0574　所収
T0546	道程	19 01 03	20 01 訂正
T0547	或る想念	19 03	
T0548	春		
T0549	顕示（「逸楽」を変更）	19 04 05	
T0550	讃美のうた　姉のコラール作曲のために	19 03	末尾に別の詩？
T0551	別れは	19 04 08	

T0552	夕ぐれは	19 04 10	
T0553	樹木と神	19 04 11	
T0554	二度目の思慕（おもひ）	18 05	
T0555	そうして！	19 04 12	
T0556	楽想	19 04 23	
T0557	老人	19 05 30	
T0558	子供	19 04 17	
T0559	揚棄（宣戦）	19 05	
T0560	藤樹の死に寄す~その日我は観能の席にありき~		
T0561	或る少年の手紙	19 05	
T0562	同志	19 08 24	
T0563	暗い路	19 06	
T0564	神の中に	19 09 06	
T0565	花火	19 09 07	
T0566	ゆふぐれへの手紙	19 04	
T0567	海に寄せて	19 07	
T0568	めざめ		T0567 と同じ頁に貼付
T0569	眼覚め	19 09	
T0570	母が嶺	19 03 16	
T0571	鹹湖	19 09 25	
T0572	彗星	19 09	
T0573	花陰	19 09 28	
T0574	小さくておほきな花	19 10 15	
T0545B	裏表紙		
T0575	詩集：　峠　みつよし		T0576～T0626 所収
T0576	絶望	20 02 02	
T0577	手帳より	20 03 18	

T0578	雲（雲よ！遠く沈んでより心をみせるお前よ）	20 03	
T0579	少女裸像	20 03 15	
T0580	裸木	20 03 14	
T0581	泪（仕合せは飛び掠める翼なの）		
T0582	雛鷲	20 03 16	
T0583	美と美は	20 03 31	
T0584	小さき者	20 03	
T0585	苦しみは	20 03	
T0586	落差	20 03	
T0587	告知	20 03	欄外メモ
T0588	犬	20 03	
T0589	悲劇	20 01	
T0590	無極の赦し	20 03	
T0591	わが心の陰を	20 03	
T0592	春浅い半月の	20 03	
T0593	瞳	20 03	
T0594	脱皮	20 03	
T0595	戦ひにより美しく	19 12	
T0596	暗く寂しく（K．T．に寄す）	20 03	
T0597	変革	20 04	
T0598	眠り	19 11	
T0599	盲ひた獣が	19 10	
T0600	苦痛	19 11	
T0601	復讐の頌		
T0602	累戦	20 07 08	欄外メモ
T0603	わが故郷（フルサト）の曠野（ヒロノ）は		
T0604	死（壕の中にて）	20 06	
T0605	病ひ	20 09	欄外メモ

T0606	風	20 09	
T0607	或るベアトリッチェ	20 09	
T0608	風	20 08	
T0609	対話		
T0610	絵本	20 08	
T0611	聖き憎しみ	20 08	
T0612	念珠		
T0613	遙かなる空に	20 09	
T0614	まことの愛	20 09	
T0615	眞実	20 09	欄外メモ
T0616	夕暮に	20 09	
T0617	雪野	21 01	
T0618	登行	20 08	
T0619	八月十五日	20 08 15	
T0620	土	20 08	
T0621	怒りの焔	20 08	
T0622	子よ四つ手網を	20 09	
T0623	暁	20 09	
T0624	舷にて	20 09	
T0625	船にて	20 09 18	
T0626	秋月夜		欄外メモ
M1940	義兄危篤にて糸崎へ急ぎつつ	20 12 11	鉛筆書　危篤電報用紙裏
M1941	絶望	不明	ペン書　Ｂ４ノート用紙　計算書裏面使用
M1942	プロテスタントとカトリシズム	不明	Ａ５箋１枚　署名　請求書裏面使用
M1943	無題「昂ぶりし後の湛えの…」ほか	20	ザラ紙１枚　売上帳裏面使用
M1944	小さき花	20	みつよし名　ペン書　Ｂ５便箋１枚両面
M1945	「猫」ほか	20	ペン書　Ｂ４ザラ紙１枚　売上帳裏面使用

M1946	良夜	21 01	ペン書　B４原稿用紙２枚
M1947	「抱擁」ほか	21 03 23	鉛筆書　B５ザラ紙半切１枚
M1948	「自分との別れ」、「何を書こうか」	不明	鉛筆書　B５ザラ紙１枚両面
M1950	思ひ出	21	ペン書　B５ザラ紙半切１枚　裏面使用
M1951	蘇へる春	21 02 27	峠みつぼし名　ペン書ノート用紙１枚両面
T0627A	詩集　表紙：詩集＜３の附録＞　峠三吉 表題　みつぼし小曲・抒情詩抄『こころの虹』	21 早春	T0628～T0664 所収
T0628	虹		見開き右頁　序言
T0629	見出し　<<春>>		
T0630	宵		
T0631	戯れ		
T0632	牧歌		
T0633	隠れん坊		
T0634	野火		
T0635	朧夜		
T0636	漣		
T0637	花の眸		
T0638	汝に		
T0639	見出し　<<夏>>		
T0640	気まぐれ		
T0641	美し		
T0642	瞠く心		
T0643	わが想ひ		
T0644	宵路		
T0645	夏の女		
T0646	向日葵		
T0647	見出し　<<秋>>		

T0648	星		
T0649	面影		
T0650	昴		
T0651	高殿		
T0652	虔しみ		
T0653	星はみどりに		
T0654	眞情		
T0655	心の入江		
T0656	芒野		
T0657	見出し　<<冬>>		
T0658	暈月		
T0659	再会		
T0660	夢		
T0661	猫		
T0662	いかで忘れむ		
T0663	愛の極北		
T0664	紅椿		
T0627B	裏表紙		
T0019	詩集　Lyrical Ballads (Mitsuyoshi Toge)		T0020～T0027 所収
T0020	愛の季節　峠みつぼし名	22 08 26	
T0021	愛の黎明		
T0022	透身の踊り		
T0023	歌	22 08 26	左端メモ
T0024	春醸		
T0025	秘め言	22 08 26	
T0026	灰碧の花		
T0027	回帰	22 06 30	

T0214A	詩集表紙：峠　みつぼし 第一頁：あふれ　溢れ　みつよし	21 02～23 01	T0215～T0246 所収
T0215	俤	21 02	
T0216	花鉢	21 02	
T0217	再会		
T0218	津浪		
T0219	幼い二人		
T0220	春怨		
T0221	ゆく春		
T0222	しぐれ		
T0223	時雨		
T0224	年月		
T0225	岬		
T0226	憩ひ		
T0227	稚き歌（卓上ピアノに添えて）		
T0228	手紙		
T0229	秋の日（遠き人の愛情を歌へる）	21 02 20	
T0230	惑ひ		
T0231	吐息		
T0232	年闌けて		
T0233	陥没		
T0234	うす明り		
T0235	幸連祷	21 03	
T0236	眞事の愛		
T0237	喪ひ		
T0238	誤解		
T0239	道		
T0240	霧闇		

T0241	怖れ		
T0242	朝夕		
T0243	雨後に	xx 04 01	
T0244	少女の希い		
T0245	平和の歌（懸賞応募）	23 01	
T0246	平和の歌２		
T0214B	裏表紙		
T0041	袂別	21 10 20	裏面　覚書 T0041B
T0323A	詩集　峠みつぼし	21 01 ~ 24 02 06	T0324 – T0379 所収
T0324	故郷良夜	21 01	
T0325	雪晴れ	20 11	
T0326	追憶の美果	21 01	
T0327	言葉	21 01	
T0327A	シオンを想ひて泣けるヘブレアの歌人に和して	21 03 20	
T0328	墓穴掘り	21 03 02	
T0329	無関心	21 03 23	
T0330	KYOSANJINEI N O 抱擁（或る種の青年達に）	21 03 23	
T0331	夏の朝		
T0332	春	21 03 26	
T0333	天なる假睡		
T0334	あゝ我に		
T0335	聖暗	21 03 29	
T0336	寂しき歌	21 03	
T0337	風媒の花	21 04 13	
T0338	蘇る春―広島青年文化聯盟の生誕を祝して		『探求』３月号掲載
T0339	流刑	21 05 04	
T0340	プロテスタントとカトリシズムの交響	21 04	

T0341	先駆者　Ｈ・Ｙ・Ｃ・Ａの人々に	21 06	
T0342	月夜の怖れ	21 07 27	
T0343	劫初の朝	22 04 13	
T0344	由美子と火事	22 02 26	
T0345	リルケに捧ぐ	21 12	
T0346	離脱	22 04 18	
T0347	小さき星	22 04 02	
T0348	棺の釘を打つ者	22 06	
T0349	友よ	22 06	
T0350	日頃（どん底）	22 10 29	
T0351	何故？	22 12 22	
T0352	ねらひ	22 12 22	
T0353	太陽	22 12 22	
T0354	体（カラダ）をかけて	23 01 04	『月刊中国』２３．３月掲載
T0355	肉体の上に	23 01 03	
T0356	（Ｋへの手紙に）	22 05 09	
T0357	公報	23 09 04	
T0358	春風	21 03	
T0359	故郷良夜		
T0360	若樹	23 02 10	
T0361	風	23 09 30	「季節の声」用放送原稿
T0362	めざめ		
T0363	秋二題　（[redacted]のポスターのために）		
T0364	祝婚歌		
T0365	雪	23 10 19	
T0366	雪		「スペースの関係でちゞめる」とあり
T0367	雪		
T0368	初玄（青い上着の女に寄す）　（西條にて）	23 11 07	

T0369	輝き		
T0370	愛のうた	23 11 15	
T0371	少女像（紅いオーバーをまとひ白いマスクをせる絵にそへて）		
T0372	會話～情念は過度でなくては美しくあることができぬ～パスカル	23 05	「Ｓ２３．５月朗読用として作る」
T0373	焦燥	23 06	
T0374	推移	23 11	
T0375	希い　西條療養所のために～白井氏作曲～	23 01 20	
T0376	愛の黎明		
T0377	公報	24 02 06	
T0378	僕達の力は根を張ってゆく		
T0379	未来		
T0323B	裏表紙		
T0028	詩集　愛と屍（M.TOGE）		
T0029	愛と屍と	22 11 01～ 22 11 07	
M1953	尾張町すきや橋にて	不明	ペン書　ザラ紙１枚　裏面住所録
M1955	却初の朝	22 04 13	ペン書　Ｂ４原稿用紙１枚裏面 朱校入　付箋あり　二度撮影
M1956	却初の朝	22 04 13	ペン書　陸軍用箋３枚
M1957	回帰	22 06 30	赤鉛筆書　陸軍用紙３枚　印影不鮮明
M1958	離脱	22 04 18	ペン書　裏面日英豪交歓音楽会会員券
M1959	無題「四辺の山々に…」	不明	ペン書　裏面旅費領収書
M1960	それは…	不明	鉛筆書　Ｂ５原稿用紙１枚
M1961	あひ寄る魂は	不明	ペン書　陸軍便箋１枚　裏面　日記体メモ

M1962	めざめ	22	ペン書　円形色付き紙　裏面
M1963A	めざめ	22	ペン書　Ｂ５瀬戸内海文庫用紙１枚
M1963B	湖	不明	
M1964	夜の波止場　トウゲ名	不明	Ｂ５画用紙裏面使用
M1965	小さき星	22 04 20	ペン書　音楽会会員券裏面使用
M1966	「泪」「ねらい」「弾」ほか	22 12 22	鉛筆書　Ｂ５原稿用紙１枚両面
M1952	初玄　M.TOGE 名	23	青ペン書・赤鉛筆書　箋１枚
M1967	會話　峠みつよし名	23 05 11	ペン書　Ｂ５レポート用紙４枚
M1968	会話	23 05 11	ペン書　Ｂ５箋２枚
M1969	夏祭り（魯鈍の街）	23 07 20	ペン書　ビラ裏面使用
M1970	夏祭り	23	ペン書　原稿用紙２枚
M1971	夏祭り	23	ペン書　原稿用紙２枚
M1972	祭	23	ペン書　原稿用紙２枚
M1973	営み	23 08 07	ペン書　Ｂ５原稿用紙１枚
M1974A	背中・ボタン	23 09	ペン書　Ｂ５原稿用紙１枚
M1974B	たそがれのウィーン		M1974A の裏面使用
M1975	花に思ふ　Ｍ．ＴＯＧＥ名	23 10 26	ペン書　原稿用紙２枚　内１枚裏面メモ
M1976A	星はみどりに　峠三吉・作　水戸嘉子・作曲	23 12 16	ペン書　B4 原稿用紙１枚
M1976B	無題「重なり重なり…」		M1976A の裏面
M1977	朝	22	ペン書　Ｂ５原稿用紙１枚
M1978A	真理の狩猟	不明	鉛筆書　Ｂ５ザラ紙１枚
M1978B	無題「子供に…」		M1978A の裏面
M1982A	歌詩「軍都廃墟（いくさまちはいきょ）と化して…」	不明	ペン書　便箋１枚（虫食い穴あり）
M1982B	無題「雲は灰金？…」	不明	M1982A の裏面
M1983	無題「飛行機が広島の…」	不明	鉛筆書　Ｂ５原稿用紙１枚裏
M1987	溢れる想ひ	23 01 23	ペン書　Ａ４ザラ紙１枚両面
M1986	無題「今私は東京を…」	23 04 13	ペン書　弁当包み裏面使用
M1988	カズ子の歌	22 10 20	鉛筆書　便箋１枚

M1989	熊まつり	不明	鉛筆書　Ｂ５裏紙半切１枚
M1990	無題「汚い服の人達は…」	不明	ペン書　原稿用紙半切
M1991	愛の風景	不明	ペン書　ザラ紙４枚　領収書など裏面使用 裏面記入あり
M1994	無題数点「あゝ氷山か南へ流れ…」ほか	不明	鉛筆書　Ｂ４　売上調査表の裏面使用
M1995	無題「あゝ私にこんな幸福が…」	不明	ペン書　山陽図書用紙１枚
M1997	春日	不明	青ペン書Ｂ５箋半切１枚　請求書裏面使用
M2001	別れていったもの	不明	Ｂ５箋半切１枚　裏面断片か
M2007	宗大仙宛書簡草稿　裏面無題「空は曇り…？」	不明	鉛筆書　原稿用紙半切１枚
M2008	無題「日本という言葉が…」	不明	鉛筆書　Ｂ５ザラ紙１枚
M2010	碧空	不明	鉛筆書　Ｂ５便箋
M2014	和さんという女のひとに		ペン書・鉛筆書　Ｂ５箋半切２枚
M2015	無題「美しい風景は…」	不明	松江内科医院計算表（19 06 21）の裏面使用
M2034	墓穴掘り	不明	ペン書　Ｂ５旅費請求・領収書使用
M2035A	無題「煙り咽ぶ遠い…」	不明	ペン書　Ａ５　勝山商会用箋裏面使用 用箋表は支出記録（M2035B）
M2035B	＊支出記録	不明	ペン書　Ａ５　勝山商会用箋使用　M2035A の表
M2036A	無題「戦争なんて…」	不明	ペン書　YMCA メモ用紙裏面
M2036B	無題「光栄ある・・・」	不明	ペン書　YMCA メモ用紙
M2037A	無題「この一書の中には…」	不明	ペン書　便箋１枚
M2037B	無題「逃げて…」	不明	M2037A 裏面
M2038	サーカス	不明	ペン書　Ｂ５陸軍用箋１枚
M2039	寂しき歌	不明	ペン書　Ｂ５ザラ紙半切１枚
M2040A	三郎君の見た夢	不明	鉛筆書　便箋裏面１枚
M2040B	＊書簡草稿	不明	M2040A の裏面
M2041	無題「さわさわと桜若木に…」	不明	鉛筆書　ノート３枚両面
M2042A	混迷	不明	鉛筆書
M2042Z	無題「くったくのなさそうな…」		M2042A の裏面

M2042B	無題「キタイスカヤ街の…」	不明	
M2042C	無題「ああ一人だ…」	不明	
M2042D	混迷　山本理枝名	不明	
M2042E	焦燥と空虚と	不明	
M2043	混迷	不明	青ペン書　Ｂ５ザラ紙１枚
M2044	こゝろの村	不明	鉛筆書　山陽図書用紙１枚
M2045	「恋人」、「黒い屍」、「焼跡」ほか	不明	鉛筆書　便箋１枚
M2048	「灯」「海に臨む街の夏の夜」ほか	不明	ペン書　Ｂ５箋半切１枚
M2049	風媒の花	不明	ペン書　定形外ザラ紙１枚　裏面メモか
M2050	肉体の上に	xx 01 03	ペン書　Ｂ５ザラ紙２枚
M2051	野火　峠みつよし名	不明	ペン書　原稿用紙２枚
M2052	八・三■■サーカスにて	不明	ペン書　Ｂ４原稿用紙２枚
M2088	由美子と火事　峠みつぼし名	22 06 26	ペン書　原稿用紙５枚
M2054	僕達の力は根を張ってゆく	23	ペン書　Ｂ４原稿用紙裏　印刷指定の赤字 『地核』掲載
M2081	黄金の魚	23	ペン書　原稿用紙３枚
T0500A	詩集　ＢＵＩＣＫ	24 05 26～ 24 09 23	T0501 – T0533 所収 右頁は反古紙、左ページのみ使用
T0501	色彩風景~交通警官に~	24 05 26	
T0502	＊覚書　無題		T0500 所収　（創美４より）とあり
T0503	巷にて		
T0504	わか葉	xx 05 20	
T0505	無題「いたづらな子供が…」		
T0506	金婚式（頼雄の編曲のために）		
T0507	怒りのうた（日鋼争議暴圧事件）	24 06 30	
T0508A	共闘の誓い～日鋼労働者の妻子に捧ぐ～	24 06 15	民婦協広島支部（山田典子娘朗読）
T0508B	無題「われらは愚か者だから…」		
T0509	永遠		

T0510	痴呆の市	24 07 19	
T0511	金貨	24 07 13	
T0512	故郷		
T0513	晨(アシタ)		
T0514	蒼く昏れる心の中に	23 06 23	
T0515	悔		
T0516	こころの蛇行		
T0517	文化の日の歌		
T0518	夢		
T0519	住吉祭り		
T0520	切線	24 08	
T0521	ラヂオのあかり		原田和子作
T0522	みんなの歌		
T0523	後愁	23 10	
T0524	雨の日に	24 09 22	
T0525	笑いの花~日鋼事件法廷にて~		
T0526	出発	24 09 23	
T0527	WANA		
T0528	時々母のゐない子のような気がする		
T0529	なぜに		
T0530	夜の反逆		
T0531	なぜに	24 10 99	
T0532	無題「雨が降る…」		
T0533	父の病気	24 12 15	原田治作　峠三吉転写
T0500B	裏表紙　M.TOGE 署名		
T0247A	詩集	24 05 30 ~ 24 07 19	日記帳を使用　T0248 ~ T0260 所収
T0248	電車線路のつぎ目を見たまえ	24 05 30	

T0249	絵本		
T0250	こんなとき父親となる		
T0251	修学旅行～第二の父の歌える	24 10 30 夜	
T0252	たかきものは群れ輝いて	24 09 07	
T0253	色彩風景	xx 05 26	
T0254	巷にて	xx 05 23	
T0255	わか葉	24 05 20	
T0256	金婚式（頼雄の編曲のために）	xx 05	
T0257	痴呆の市	24 07 19	
T0258	金貨	24 07 13	
T0259	故郷		
T0260	蒼く昏れる心の中に	23 06 23	
T0247B	裏表紙		
M2057	無題「春がくるというのに…」	不明	ペン書・鉛筆書　Ｂ５ザラ紙半切 1 枚　冒頭に「きみよ前えすすめ　売国政府」とあり、表題か。
M2057B	無題「行政協定は…」	不明	M2057 の裏面か
M2058	同志山本均に贈るの詩	不明	ペン書　Ｂ４ザラ紙１枚
M2063	黎明	不明	ペン書　Ｂ５原稿用紙１枚
M2064A	列車暮唱	xx 09 13	ペン書　便箋１枚
M2064B	＊日録	不明	M2064A の裏面
M2066	無題「わが想ひ咲きゆくなべに...」ほか断片	不明	ペン書　ザラ紙（20×15 ㎝）1 枚
M2070	「白衣」「療養所の幻影」	不明	ペン書　Ｂ４ザラ紙１枚
M2071	秋	不明	ペン書　原稿用紙３枚
M2073A	加代子よお前は叫べ	不明	ペン書　Ｂ５原稿用紙半切裏
M2073B	白衣(部分)	不明	ペン書　Ｂ５原稿用紙半切 M2073A の裏面
M2076	苦しみは　峠みつよし名	不明	ペン書　原稿用紙１枚
M2077	クリスマス	不明	ペン書　便箋１枚

M2078	呉の街にて	不明	赤ペン書　Ｂ５ザラ紙半切１枚
M2080	巷にて	不明	ペン書　Ｂ４箋１枚
M2082A	失はれた腕に	xx 03 15	ペン書　横封筒展開紙に記入
M2082B	＊地図など		M2082A の裏面
M2084	大橋の夕べ	不明	鉛筆　Ｂ５実民会用箋２枚　欄外メモ「グランポン」
M2086	駅にて	不明	青ペン書　Ｂ４原稿用紙２枚
M2087	顔	不明	鉛筆書　Ｂ５便箋１枚
M2095	無題「咳きあげるとどろどろと凝りかけた…」	不明	鉛筆書　Ｂ５ザラ紙２枚　２枚目以下フィルムなし
M2096	操車場にて	不明	鉛筆書　Ｂ５ザラ紙　裏面メモ
M2099	「つばめ」他	不明	青ペン書　Ｂ５原稿用紙１枚
M2100	無題「手をにぎらうよ…」	不明	鉛筆書　Ｂ５ザラ紙半切１枚
M2102	無題「僕は歯科医の…」、「或る静かな…」「風化してゐた…」	不明	ペン書　陸軍罫紙二段書
M2074	歌（「焚火は消された…」）	24	鉛筆書　Ｂ５ザラ紙１枚　裏面数字メモ
M2075	歌（「焚火は消され…」）	24 11 20 発表	ペン書　Ｂ５ザラ紙１枚 『われらの詩』１号掲載
M2056	怒りのうた	24 06 15	謄写印刷　Ｂ５箋半切１枚
M2055	共闘の誓ひ	24 06 16	ペン書　原稿用紙２枚
T0534	無題「英タン父タン…」～同志Oのために～	24 06 21	「子よ！」草稿
M2105	復員列車 MEMO　Mitsuyoshi 名	24 07 02	青ペン書・鉛筆書　ザラ紙印刷物３枚
T0540	笑いの花～日鋼事件法廷にて～	24 09 23	
M2270	一九五〇・八・六	24	鉛筆書　ＹＭＣＡメモ用紙１枚
M2271	無題「見なければならない…」ほか	24	鉛筆書　Ｂ５ザラ紙１枚両面
M2443	怒りの歌	24	B3 用紙横１枚　フィルムなし
M2272	無題「７丁目のトーフや…」	不明	鉛筆書　Ｂ５原稿用紙１枚
M2273	無題「電車通りを渡った...」、「爆裂」ほか	不明	鉛筆書　ＹＭＣＡメモ用紙１枚
M2274	晴れた日	不明	ペン書　Ｂ４上質紙１枚

M2103	封殺の季節	25 06 12	ペン書　Ｂ４原稿用紙裏１枚
M2444	辻詩　抱き合う子供	25 08	Ｂ２大用紙１枚　セピア色　フィルムなし
M2267	河のある風景	25 10	ペン書　Ｂ４用紙１枚
M2268	河のある風景	25 12 05 発表	ペン書　原稿用紙２枚　印刷指定書き込み
M2072	プークに捧ぐる詩	25	ペン書　Ｂ４箋１枚　朱校あり
M2089	父	25	鉛筆書　Ｂ５半紙３枚
M2246	３．負傷者収容所	25	ペン書　原稿用紙７枚 ７枚目フィルム欠
M2247	絵本	25	ペン書　Ｂ４西洋紙１枚
M2248	繪本	25	ペン書　Ｂ４原稿用紙１枚
M2437	＊詩画　「花と乳房で…」峠三吉詩　四国五郎画	25	Ｂ４用紙１枚
M2438	＊詩画　「ピカドンで死んだトウチャン」峠三吉詩　四国五郎画	25	Ｂ４用紙１枚
M2249	友	不明	ペン書　Ｂ５ザラ紙１枚　裏面メモ
M2250	墓標	25	ペン書　Ｂ４ザラ紙１枚両面
M2254	丸木位里・赤松俊子原爆の図に寄せて	不明	ペン書・鉛筆　Ｂ４原稿用紙１枚
M2263	希い　ー原爆の図出版によせて	25	ペン書　Ａ４原稿用紙１枚
M2275	無題「君はそこに…」	25	鉛筆書　Ｂ４ザラ紙１枚　裏面メモ
M2277	八月六日　峠三吉名	25	ペン書　Ｂ５ザラ紙２枚
M2298	一九五〇年の八月六日	25	ペン書　変形原稿用紙６枚
M2899	「自由労組の人々に捧げる詩」新日本文学会広島支部人民文学広島友の会	不明	鉛筆書　Ｂ５ザラ紙５枚　フィルム欠
M2276	序曲（曲ったペン）	26 07 15	青ペン書　Ａ４原稿用紙１枚
M2278	一九五一年のヒロシマ（その１）	26 07 20	ペン書　原稿用紙２枚
M2269	山口県平和擁護委員会結成大会の記録　裏面メモ	26 08 14 発表	ペン書　Ｂ４原稿用紙１枚（№１、２欠）
M2251	原爆詩抄構想	26	青ペン書・鉛筆書　Ｂ４西洋紙１枚
M2252	構成案	26	Ｂ４ザラ紙１枚　「けやき」裏面使用
M2253	無題「さらに数年…」　裏面無題「家族が…」	不明	ペン書　Ｂ５ザラ紙１枚　裏面メモもあり
M2079A	呉の街にて	26	ペン書　今本用Ａ４原稿用紙１枚

M2079B	無題「再び浮かぶ顔がある…」		M2079A の裏面
M2108	修学旅行　十一才の姪のために	27 以降	青ペン書　Ｂ４ザラ紙３枚　M2393 の裏面（27 07 16 付）使用　後２枚は同一内容推敲
M2109A	修学旅行の夜に		赤ペン書　Ｂ５たけや原稿用紙２枚 M2108 の修正版　欄外に「１９４９年１０月出発」とあり
M2109B	＊手書地図		M2109A の裏面
M2111	無題「誰も知らぬ病院の…」 裏面無題「私は枕の横に…」	27 03	黒ペン・鉛筆書　Ａ４ザラ紙半切１枚
M1949	ブローチ	27 04 14	鉛筆書　Ｂ５ザラ紙半切１枚
T0004	大山郁夫氏に捧げる詩	27 06 27	
T0003	急患輸送車にて	27 08 04 夜	
M2376	傷	27	ペン書　Ｂ４ビラ裏面２枚
M2377	傷痕　－“原子雲の下より”記念会－	27	赤ペン書　Ｂ５ザラ紙１枚
M2378	傷	27	赤ペン書　Ｂ５原稿用紙２枚
M2065	無題「もはや詩に戯れる事を...」	28 頃	ペン書　ザラ紙（9×15 ㎝）１枚
M2255	靴	28 01 18	ペン書　Ｂ５便箋１枚
M2257	無題「国内のわたしたちが…」	不明	青ペン書　Ｂ５ザラ紙半切２枚
M2259A	第三次世界大戦はおこるかもしれない	xx 11 09	ペン書　Ｂ５原稿用紙１枚
M2259B	求めようとする心のために	xx 01 06	M2259A の裏面
M2260	ある婦人え	不明	ペン書　Ｂ４用紙２枚
M2261	或る婦人へ	不明	鉛筆書　Ｂ４ザラ紙１枚
M2262	夜	不明	ペン書　Ｂ４ザラ紙２枚
M2264	希い	不明	鉛筆書　Ｂ５原稿用紙１枚両面
M2265	無題「その少女をどうしよう…」	不明	ペン書　Ｂ５ザラ紙１枚両面
M2266	生埋　母と娘、裏面　別人の原稿？	不明	鉛筆書　原稿用紙両面１枚
T0037	すべての声は訴える~序文にかえて（『原子雲の下より』序文原稿）	不明	
M1888	無題　判読不能　裏面和歌	不明	青ペン書　薬包紙２枚

T0001	くろい燕に寄せて歌える	不明	「に寄せて歌える」に取り消し線
T0002A	白衣～H旧軍人療養所にて	不明	
T0002B	白衣	不明	
T0005	丘のある風景	不明	
T0006	患者輸送車にて	不明	
T0007	朝	不明	
T0008	めざめ	不明	
T0009	湖	不明	M1963B と同じ
T0012	ある婦人え	不明	
T0013	ある夜のコンサート	不明	
T0036	求めあえなく	不明	片側反転の画像あり
T0535	無題「むこうの…」	不明	一部欠落　「愛の歌」草稿
T0536	プークに捧ぐる詩	不明	
T0537	劇団プークに捧ぐる詩	25 10 16	
T0538	無題「すでに落日は…」	不明	「河のある風景」草稿
T0539	絵本	不明	
T0541	なぜに	不明	
T0542	子よ	不明	
T0543	無題「英タン父タン…」　－Oのために－	不明	「子よ！」草稿
T0544	暗夜	不明	印影薄く判読不可能
S0008	カチューシャ楽団に捧ぐる詩	不明	「反戰詩歌人集団」名義
S0009	「Album に寄せて」－平岡嬢へ－	不明	Ｔ署名
M2279	「生」（会社へと食物あさりにと…）	不明	鉛筆書　Ｂ５ザラ紙１枚
M2280	「生」（勤めえと食物あさりて…）　裏面別草稿？	不明	ペン書　Ｂ４西洋紙１枚
M2281	こどもえ	不明	ペン書　Ｂ４西洋紙３枚
M2282	＊構成案　詩集の構成・プラン	不明	ペン書　原稿用紙１枚
M2283	Ａ．構図	不明	ペン書　Ｂ４原稿用紙裏２枚 註：表題横に「時間（歴史）」とあり
M2284	死－全ての理想と勇気を失った夜に－	不明	鉛筆書　ザラ紙３枚　４枚目は３枚目の裏

			面？　峠宛ツゲ　トシユキ書信
M2285	Ｂ．死	不明	ペン書　ザラ紙１枚
M2286	２．死	不明	ペン書　Ｂ４原稿用紙５枚
M2287	C．負傷者収容所	不明	ペン書　Ｂ４ザラ紙２枚
M2288	II．歴史　峠三吉名	不明	ペン書　Ｂ４原稿用紙７枚
M2289	無題「梁の下　埃煙の…」	不明	ペン書　Ｂ５原稿用紙裏面１枚
M2204B	無題「しんちゅうの…」	不明	M2204A の裏面

（２）　小説・童話

資料番号	資料名	日付	備考
M2002	小説「二人は結婚…」	不明	Ｂ５ザラ紙半切１枚両面
M2005	小説作品プロットなど	不明	Ｂ５使用済便箋裏面使用
M2047	童話「稚彦様」プロット	不明	ペン書Ｂ５便箋（礼状書き出し）裏面使用
T0016	小説　ヨハン少年物語（バルバラの恩返し）	16 09	
M2110	童話　シャボン玉とユリの心	18 07 発表	鉛筆書　Ｂ５箋２２枚
T0018	童話　シャボン玉とユリの心	18 07 15	４－５、１０－１１，１４－１５欠落
M2117	小説　鏡占ひ	22	ペン書　Ｂ５原稿用紙・便箋５４頁　No.2欠（フィルムなし）
T0017	小説　鏡占い　山下三夫名		
T0849A	童話集「童話　とうげみつよし」		T0850－T0854 所収
T0850	童話　百足競争	20 04 27～ 20 10 20	
T0851	童話　お爺さんと娘	20 11 20～ 20 11 25	
T0852	童話　虹	21 03 09～ 21 03 11	
T0853	童話　ドッヂ・ボール	22 03 22	
T0854	童話　三人の子供	22 08 14	
T0849B	裏表紙		
T0833	＊小説　遠雷	21 05 08～11	T0829 所収
T0856A	小説集　「創作　m.　とうげ」		T0857－T0858 所収
T0857	小説　鏡　占（カガミウラナヒ）	22 09.～	
T0858	小説　墓参	22 11 11～ 22 11 20 夜	

T0856B	裏表紙		
M2061	童話　万三郎の笛	25 0 1 14	ペン書　Ｂ４原稿用紙２枚　印刷指定あり
M2107	童話　おとぎばなし　狐と狸	25 09 12	ペン書　Ａ４原稿用紙１枚
M2059	小説　えいちゃん　野田二郎名	27	ペン書　原稿用紙４枚
M2104B	無題「それは私が…」	不明	M2104A の裏面

（３）　短歌・俳句

資料番号	資料名	日付	備考
M1933	峠三吉俳句抄	12～19	青ペン書便箋４枚　４枚目は裏面メモあり
T0665A	句集　俳句「饗宴(KYOUEN)」　みつよし	11～14	T0666～T0670 所収
T0666	俳句　手帳・ノートより　１２３句	11	
T0667	俳句　潮鳴り　２０２句	12 晩春追記	
T0668	俳句　葦笛　３０８句	12	
T0669	俳句　砂城　１０２５句	13	
T0670	俳句　星雲　７１５句	14	
T0665B	裏表紙		
T0671	句集　俳句（２）　MITSYOSI (ママ)	16～19	T0672～T0703 所収
T0672	＊請求書　俳句文芸社より峠三吉宛会費請求	16 05 19	T0671 に貼付
T0673	曼珠沙華　３４句		
T0674	九月のサナトリウムにて　３７句		
T0675	か・え・る・よ…　４句		
T0676	アル日のうた　２６句		
T0677	朝霧の駅　１０句		
T0678	林の秋　２２句		
T0679	生活　７句		
T0680	「ニッポン号」讃歌　８句		
T0681	火の星　６句		
T0682	夜の木馬　３句		
T0683	あをいよる　１１句		
T0684	雲のうた　９句		
T0685	夜の灯　１６句		
T0686	緑地(オアシス)　２７句	以下 15	

T0687	わがうたよ　４５句		
T0688	青芝　１０７句		
T0689	季節　季節　１７句		
T0690	無題　１４８句	以下 16	
T0691	盆の夜　２０１句		
T0692	再建　８句	以下 17	
T0693	雪の日に　２８句		
T0694	凝り耀る月の石　２８句		
T0695	九つの眞珠のみたま　１３句		
T0696	おぼろ夜　２７句		
T0697	Ｎの応召を送る　２７句		
T0698	軍鶏　７句		
T0699	無題　２１２句		
T0700	朱泥　１１７句	18	
T0701	折々に　２９句	以下 19	
T0702	山口司令搭乗我が航空母艦　２０句		
T0703	＊覚書　あと書き（抄録）		
M1932	峠三吉短歌抄	11～19	ペン書　便箋４枚
T0704A	歌集　短歌　Mitsyosi　紅鶴(BENIZURU)　みつよし		T0705～T0711 所収
T0705	３８首	11	
T0706	２０３首	12	
T0707	１３９首	13	
T0708	１５５首	14	
T0709	１０３首	以下 15	
T0710	自由律短歌　２０３首		
T0711	＊覚書　近代短歌の流れ		

T0704B	裏表紙		
M1935B	短歌　１０首	15 頃	原稿用紙半切１枚
T0117	＊短歌　紫なせる　（ある人に）	15 08	T0101 所収
T0712A	歌集　短歌　mitsyosi		T0713～T0716 所収
T0713	新古今習作　４５６首	15	
T0714	昭和１６年　３７２首	以下 16	
T0715	春雨の日　８３首		
T0716	徴兵検査　１４首		
T0712B	裏表紙		
T0717A	歌集　短歌　Mitsyosi（ママ）		T0718～T0765　所収
T0718	散歩にて　２３首		
T0719	桜の実　抒情　１６首		
T0720	夕暮の數景　１９首		
T0721	採果の幸　１７首		
T0722	散歩より　２３首		
T0723	三日月の夜更け　３首		
T0724	ひとり　２２首		
T0725	雨の唄　３首		
T0726	或る日のひと　１３首		
T0727	葡萄畑など　３０首		
T0728	七月二十八日祖母命日　７首		
T0729	紅き小櫛　１３首		
T0730	星の夜　２５首		
T0731	或る朝の歌　５７首		
T0732	心の隅より　２４首		
T0733	タオルズボンを作りもらひて　４首		

T0734	父上　５首		
T0735	轉機　１４首		
T0736	１７首		
T0737	或る時　１３首		
T0738	夜を送りて　１０首		
T0739	最後の夢　４４首		
T0740	祝日歌　３５首		
T0741	その夜　７首		
T0742	心弱き折　２０首		
T0743	未完成交響■を観て　７首		
T0744	一周忌の谷山宅を訪れて　３９首		
T0745	喫茶店に一人行きて　２０首		
T0746	２５首	以下 17	
T0747	或る友より　７首		
T0748	又別の友より　３首		
T0749	苦患　１１首		
T0750	縣病院の庭に行く　１４首		
T0751	ハワイ眞珠湾潜入の詳報をきゝて　１０首		
T0752	１７首		
T0753	人を送りて　２０首		
T0754	健康相談所に行き　１８首		
T0754B	或る人の病ひ篤しと聞きて　１７首		
T0755	宇品保養園にて　１６首		
T0756	～河辺貞吉師傳道会～　９首		
T0757	左部寿一郎先生逝去の通知を受く　２３首		
T0758	２０首＜暁け空の…＞		
T0759	父よ！　２４首		
T0760	住吉橋病院にて　９首		
T0761	或る夕ぐれに　７首		

T0762	～オリオンの頃～　１２首		
T0763	寒の夜　６首		
T0764	～新しきいのち～　２７首		
T0765	＊覚書　投稿時筆名		
T0717B	裏表紙		
T0766A	歌集　短歌（４）　峠みつよし		T0767～T0828 所収
T0767	祈祷会　７首	以下 18	
T0768	早春　７首		
T0769	復活祭に寄せて　６首		
T0770	生活よ　６首		
T0771	畳　１２首		
T0772	空襲　４首		
T0773	入院前　１２首		
T0774	病院にて　１１首		
T0775	病ひ良き折　１１首		
T0776	医師の子　１１首		
T0777	退院前後　６首		
T0778	金刀羅夏祭り　１９首		
T0779	南部の家　８首		
T0780	夜汐　１２首		
T0781	青柿　６首		
T0782	秋に入る頃　８首		
T0783	此の秋（トキ）　６首		
T0784	薄粥　６首		
T0785	金木犀　６首		
T0786	硬き花　５首		
T0787	薄明　６首		

T0788	秋夜　９首		
T0789	冬至る　５首		
T0790	万華鏡　４首		
T0791	正義　３首	以下 19	
T0792	雪晴れ　１１首		
T0793	無為の心　６首		
T0794	弔歌　４首		
T0795	霰　８首		
T0796	蒼き夢　４首		
T0797	飛鳥の代　６首		
T0798	入院追詠　８首		
T0799	わが大君　１１首		
T0800	轉住　８首		
T0801	雲　１３首		
T0802	眼裏　８首		
T0803	月と兄　６首		
T0804	目張り　７首		
T0805	花粉　６首		
T0806	或る時　５首		
T0807	藤樹の死　４首		
T0808	又或る時　９首		
T0809	八月雑詠　１８首		
T0810	街にて　４首		
T0811	サイパン島の婦女子自決　１６首		
T0812	夏より秋へ　１４首		
T0813	己れ　２１首		
T0814	出発前後　１４首		
T0814B	絵に寄せて　４首		
T0815	出発（車中にて詠める）　６２首		

T0816	到着　６首		
T0817	旅の地　１１首		
T0818	太郎　１１首		
T0819	昧爽　７首		
T0820	ニュース映画を観て（１１月１４日）　１０首		
T0821	神風特別攻撃隊出発情景　１５首		
T0822	妙蓮寺にて　８首		
T0823	男の子　６首		
T0824	富士　２２首		
T0825	菊名池　７首		
T0826	工場　１０首	以下 20	
T0827	或る病友　１０首		
T0828	戦ひ（５．２９横浜大空襲)		
T0766B	裏表紙		
M1715	句集「蓑虫」第二輯（３２３句)	22 01 01～23 春	
M1996	１首　ＭＩＴＳＵ名＜青野原…＞	22 07 30	青ペン書　Ｂ５箋半切１枚
M2062	２首＜病む身ひとり…＞	不明	鉛筆書　Ｂ５ザラ紙半切１枚両面

（4）　評論・主張

註：以下、分類について記録性の高いものは「覚書」、峠自身の思考、発想を示すものは「評論」としたが、絶対的なものではない。

資料番号	資料名	日付	備考
T0499	＊引用　コサック古代民謡より		T0380 所収
T0213	＊覚書　ショパンの“澄心”について		T0175 所収
T0703	＊覚書　あと書き（抄録）		T0671 所収
T0711	＊覚書　近代短歌の流れ		T0704 所収
T0765	＊覚書　投稿時筆名		T0717 所収
M1718	覚書　「ｆａｉｔｈ」　キリスト教に関する文章	17 前後	大学ノート
M1719	覚書　「落書（３）」（抄録帳）峠光芳	17 04 17～	大学ノート　N0.2 など二度撮影のもあり
T0077	＊随筆　無題「…伸び上りながら…」	17 11 21	T0076 所収　冒頭一部（画像）欠か
M1720	「断想　覚書」みつよし	18 02～19 秋頃	大学ノート　同一画像複数あり。
M1853	評論　伝導の前衛としての青年会の前進	18 12～19 01	ペン書　Ｂ５便箋 12 枚両面
T0855	＊覚書　フランス文学者名列挙		T0849 所収
M1722	覚書　「覚え書（４）」　みつよし	20 04～	大学ノート　同一資料複数画像もあり
M1723	覚書　OBOEGAKI	21 02～24 04	大学ノート
M1854B	随想＜断片＞　季節の雑感	不明	冒頭のみ
M1855	評論　広島歌壇評	不明	鉛筆書　Ｂ４原稿用紙５枚
M1856	覚書　方法論	不明	鉛筆書　Ｂ５ザラ紙１枚
T0829A	随想集　「文苑」（評論・随筆）　峠三吉	21 03 22～ 22 05 01	T0830～T0841 所収
T0830	目次		
T0831	随筆　拍手について	21 03 22	
T0832	随筆　Ｖ青年に	21 01 27	
T0833	＊小説　遠雷	21 05 08～11	
T0834	随筆　港にて		

T0835	随筆　新しき道徳目標の把握		３枚目は２枚目に挿入されたメモ
T0836	随筆　二十年後のヒロシマ		
T0837	随筆　青年運動の行く道	21 11 26	
T0838	随筆　青年よ蘇れ		
T0839	宣言　吉田内閣打倒国民大会へ送るメッセージ	22 01 28	在広文化団体　名
T0840	宣言　メーデーに送るメッセージ	22 05 01	
T0841	随筆　新時代への苦悩　広島青年文化連盟	22 03 04	
T0829B	裏表紙		
M1857	評論　ショパンの生涯　ほか	22	鉛筆書　原稿用紙４枚
M2053A	評論　花咲く広島サロン	22 10 14	同日付中国新聞夕刊２面に掲載　鉛筆書　原稿用紙２枚裏面使用　M2053B 参照
M2053B	随想　平和記念聖堂に関する原稿（部分）		原稿用紙　No 1, 2 欠。M2053A の表
M1858	覚書　作品分析ほか	不明	原稿用紙裏　記入上下二段
M1859	主張　広島に於けるヒューマニズム運動	不明	鉛筆書　ザラ紙２枚　山下一夫名
M1860	覚書　自我と社会	不明	Ａ５箋４枚　４枚目裏面書き込み
M1861	評論　講演草稿（伝道の母体としての…）	不明	Ａ５箋
M1862	評論　広島詩壇の歴史	不明	鉛筆書　Ｂ４原稿用紙２枚 ザラ紙１枚
M1954	随想　風のなかに	不明	ペン書　Ｂ５便箋１枚
T0082	＊覚書　平和祭	23 08 06	T0081 （日記）の続きに記入
M1863	評論　美の解放	23	ペン書　Ｂ４便箋
M1864	評論　青年と文化	不明	鉛筆書　原稿用紙７枚
M1865	評論　青年文化連盟用	不明	鉛筆書 Ｂ５私製原稿用紙（６枚の内１～４欠落）
M1866	評論　象徴的手法について	不明	ペン書　入学案内の裏２枚使用
M1867	評論　芸術に於ける普遍性の問題	不明	鉛筆書　原稿用紙２枚
M1867B	評論　ども又の死		
M1868	評論　「高原」　木川氏の評論について	不明	鉛筆書　Ａ５ザラ紙１枚孔版印刷裏面使用
M1869	評論　恋愛と結婚について	不明	鉛筆書　Ｂ４ザラ紙１枚両面

M1870	評論　無題「現実…」	不明	ペン書　罫紙２枚
M1871	評論　「広船」職場便り原稿	不明	鉛筆書　Ｂ４原稿用紙１枚
M1872	評論　「感覚について」ほか	不明	青ペン書　中国電気協会原稿用紙１枚
M1873	評論　詩に於けるヒューマニズム運動	22	ペン書　Ａ４原稿用紙１枚
M1874	随想　牡蠣について	不明	ペン書　Ｂ５原稿用紙１枚
M1875	評論　雑草	不明	青ペン書　Ｂ５原稿用紙半切　裏面メモ？
M1876	覚書　詩という言葉にある二つの意味について	不明	裏面メモ
M1877	覚書　無題「人民を離れて名作なし…」	不明	鉛筆書　Ｂ４原稿用紙１枚　裏面メモ
M1878	覚書　『われらの詩』　西條の意見	不明	広島詩人協会会則裏面使用
M2119	評論　「〈我は海の子〉をよまされて」作品模写・感想	不明	ペン書　原稿用紙６枚
M1911	講演草稿　詩の話　　峠三吉名	23	ペン書　ザラ紙７枚　印刷物裏面使用
M1896	宣言　八月六日を迎ふるに当りて	24 08	ザラ紙短冊状両面　峠三吉名
M1897	宣言　八月六日を迎ふるに当りて	24 08	青・赤ペン書　原稿用紙２枚
T0844A	ノート　memo Mitsuyoshi	24 09	Ａ４　ノート　T0845～T0848 所収
T0845	覚書　民主主義藝術論		
T0846	覚書　創作方法		
T0847	筆写　「抵抗詩人アラゴン」(矢内原伊作)	24 11 24	
T0848	覚書　社研メモなど		
T0844B	裏表紙		
M2894	宣言　「ことば」(「われらの詩の会」結成宣言)	24	ペン書　Ａ４原稿用紙１枚　画像欠
M1728	覚書　児童教育に関するメモ　峠三吉名	25 04 01～	大学ノート
T0083	＊覚書　原爆三部作赤松さんの説明文	25 10 09	T0082 の続きに記入
M1729	覚書　「詩に関するノート」　後半は「権利のための闘争」(イェーリング) 覚書	25 12～	大学ノート
M2898	覚書　例会作品批評	不明	ペン書　Ｂ５ザラ紙１枚　画像欠
M1879	覚書　無題「荒地の…」	27	鉛筆書　Ｂ４ザラ紙１枚　孔版刷裏面使用

M1880	覚書　「破滅」	不明	鉛筆書　箋２枚両面
M1881	覚書　無題「古来哲学の中心課題…」	不明	鉛筆書　文化評論社封筒裏面
M1882	覚書　本当のものを知る気持ち	不明	青ペン書　Ｂ５ザラ紙半切２枚
M1883	覚書　男女の交際について	不明	鉛筆書　Ｂ５ザラ紙２枚両面
M1884	覚書　無題「個性が眞に…」	不明	鉛筆書　日英濠交歓音楽会の券裏面使用
M1885	覚書　無題「時代の悩みを…」	不明	鉛筆書　Ａ５箋１枚
M1886	覚書　創作メモ	不明	鉛筆書　封筒裏面使用
M1887	覚書　小説に関するメモ	不明	鉛筆書　薬包紙１枚
M1889	覚書　「人民文学」２月号予告	不明	
M1890	覚書　『われらの詩』作品合評	xx 12 08	Ｂ４ザラ紙１枚
M1892	覚書　「われらの詩の会」定例会内容	xx 12 14	青ペン書Ｂ４ザラ紙１枚　チラシ裏面使用
M1893	覚書　愛すればこそのメモ	不明	青ペン書　Ｂ５ザラ紙１枚　両面
M1894	覚書　無題「創作のモチーフとなる…」	不明	鉛筆書　封筒に記入
M1895	覚書　詩作に必要なもの	不明	赤ペン書　Ａ４原稿用紙裏面使用
M1898	覚書　無題「肉体関係を…」	不明	鉛筆書　原稿用紙２枚
M1899	覚書　無題「このようにして展開されてきた…」	不明	ペン書　ザラ紙３枚
M1900	覚書　無題「嘗て山上に…」	25	ペン書　広電労組用箋３枚
M1901	覚書　人間性の解放	23	鉛筆書　Ｂ５陸軍用箋２枚両面
M1902	随想　文学サークル運動について	不明	ペン書　ノート用紙３枚両面　**画像なし**
M1903	古典的象徴主義	不明	鉛筆書　Ｂ５原稿用紙裏面使用 ２枚目覚書断片
M1904	評論　ヒロシマレポート　山下良夫名	不明	Ａ４原稿用紙４枚
M1905	評論　方向について	不明	ペン・鉛筆書Ｂ４原稿用紙　署名　２枚目覚書断片
M1906	評論　詩誌評論	不明	青ペン書　Ｂ４原稿用紙５枚
M1907	覚書　原養詩の会	24	ペン書　原稿用紙半切１枚　２枚目没草稿
M1908	評論　わかば文化サークル	不明	青ペン書　Ａ４原稿用紙１枚
M1909A	評論　「高原詩の会」について	不明	青ペン書　Ａ４原稿用紙

M1909B	評論　「われらの詩の会宮内支部」について	不明	
M1909C	覚書　「原療詩の会」	不明	Ａ４原稿用紙半切２枚
M1917	評論　『反戦詩歌集』あとがき	25 08	ペン書　Ｂ４ザラ紙２枚
M1910	評論　無題「…一九二九年…」	25	鉛筆書　Ｂ５（№１欠）孔版刷裏面使用
M2331	覚書　破防法反対対策準備会メモ	25 頃	Ｂ５ザラ紙半切１枚
M2409	＊原爆詩画展割付メモ自筆 一部　詩文を含む	25	青ペン書　Ｂ５ザラ紙半切１枚（28 綴）旧版では、１枚ごとに異なる番号を付与しているが、内容からして同一資料とする。
M1912	訴え　百合子二周忌記念会と多喜二祭を開こう	不明	ペン書　原稿用紙２枚
M1913	組合雑誌評	不明	ペン書　原稿用紙６枚　６枚目裏面メモ
M1914	評論　われらの詩はどのようにすすむべきか	不明	ペン書・鉛筆書　Ａ４原稿用紙６枚
M1915	覚書　『われらの詩の会』の方向と任務	不明	ペン書　原稿用紙裏面使用　裏面メモ
M1916	評論　無題「かくて道は…」	26	青ペン書　原稿用紙裏面１枚
M2407	＊覚書　原爆詩画展計画メモ	26	鉛筆書　Ｂ４ザラ紙１枚
M1918	評論　ちいさいたより　冒頭のみ峠筆？	不明	ペン書　Ｂ５青木書店原稿用紙４枚
M1919	書評　『風の子物語』増岡敏和生活詩集	不明	ペン書　Ｂ５青木書店原稿用紙４枚
M2303	覚書　年賀展準備メモ	27 01	鉛筆書　Ｂ５ザラ紙　会計報告裏面使用
M2302	覚書　原爆の子友の会（結成会）メモ	27 02 17	鉛筆書　Ａ４ザラ紙半切１枚
M1920	座談会記録　文学運動をどう進めるべきか　ー破防法をめぐって	27 06 01	ペン書　原稿用紙１２枚　記録者不詳
M2406	＊覚書　「原子雲の下に」序文メモ	27 07	鉛筆書　青木書店原稿用紙裏面１枚
M2379	＊覚書　『原子雲の下より』青木文庫用序文（「１９４５年…」）	27 08 06	ペン書　原稿用紙 19 枚
T0010	宣言　広島平和大会宣言草稿	27 08 06	
M2296	宣言　「平和宣言」（草稿）	27 08 06	ペン書　Ｂ５原稿用紙
M2297	「宣言」　平和大会宣言文案	27 08 06	ペン書　原稿用紙１枚
T0032	覚書　８．６平和行進に向けてのメモ	27 08	
M2357	＊覚書　『原子雲の下より』に現れた問題	27 08	鉛筆・青ペン書　Ａ５ザラ紙　裏面メモ
M2358	＊覚書　「原爆の詩」応募作品に対する感想ほか	27 08	鉛筆・青ペン書　Ｂ５原稿用紙

M2359	＊覚書　「原爆の詩」序文	27 08	青ペン書　Ｂ５ザラ紙２枚
M2906	＊『われらの詩』１６号あとがき	27 09 04	ペン書　Ａ４原稿用紙１枚　画像なし
M2292	覚書　『原爆詩集』出版記念会の準備メモ	27 09 21	青ペン書　Ａ４原稿用紙１枚
M2293	覚書　『原爆詩集』出版記念会のメモ	27 09 21	Ｂ４ザラ紙３枚両面
M2294	覚書　『原爆詩集』出版記念会収支メモ	27 09 21	
M1923	訴え　メッセージ「世界連邦アジア会議に…」	27 11 04	鉛筆書　Ｂ４ザラ紙３枚
M1924	訴え　メッセージ「世界連邦アジア会議に…」	27 11 04	罫紙３枚（カーボン複写）M1923 の浄書
M1891	覚書　オストロフスキーの詩の訳	27	鉛筆書　Ｂ４ザラ紙１枚
M1921	覚書　戦争と文学	27	ペン書　原稿用紙裏面２枚
M1922	訴え　すべての人々に『新日本文学』の支持を訴える	27	ペン書　原稿用紙２枚
M1925	訴え　共通の問題点	28 01	ペン書　原稿用紙７枚
M1926	訴え　呼びかけ	28 02 10	ペン書　Ｂ５青木書店原稿用紙４枚
M1928	覚書　政治と文学についての討論会まとめ	xx 07 22	鉛筆書　原稿用紙６枚
M2104A	覚書　峠家家系図	不明	
T0030	覚書　詩作メモ	不明	
T0034	覚書　無題「歩いてゆく…」	不明	詩作断片か
T0038	覚書　アメリカへの手紙	不明	
T0039	評論　新しき道徳目標の把握	不明	
T0040	随筆　夕ぐれの感想	不明	
T0041B	覚書　哲学に関するメモ	不明	T0041 の裏面
T0031	覚書　被爆状況の聞書	不明	
M2258	覚書　「小林さんの話」として聞書	不明	青ペン書　Ｂ５ザラ紙１枚　裏面断片か？
M2290	覚書　正田篠枝の生い立ち・被爆・体験記他	不明	鉛筆書　Ａ４ザラ紙半切５枚
M2300	覚書　平和運動プラン	不明	青ペン書　帳簿の裏面使用
M2317	覚書　アンケート発送者名簿	不明	Ｂ５ザラ紙半切　詩人協会会則裏面使用
M2939	＊覚書　『われらの詩』「あとがき」	不明	青ペン書　Ｂ４原稿用紙１枚　画像なし
M2373	＊評論　「原子雲の下より・序文」草稿	不明	ペン書　原稿用紙１枚
M2374	＊評論　「子供の詩は教える」	不明	青・赤ペン書　原稿用紙１４枚

			No. ６，７欠
M2375	＊評論　「原子雲の下より」序文	不明	鉛筆書　Ｂ５原稿用紙２０枚　画像不鮮明 Ｎｏ．１５欠

（5）　台本・シナリオ

資料番号	資料名	日付	備考
M2123	台本　合唱劇　僕たちの恋	24 03 08 発表	謄写印刷　Ｂ５ザラ紙１７頁　振り付け指定記入
M2124	合唱劇　僕たちの恋　峠三吉・詩	24 03 08 発表	謄写印刷　Ｂ５ザラ紙１７頁（２部） M2123 と同一
M2127	台本　シュプレコール　革命の前夜　楽譜（弾圧の嵐は…）付き	24	謄写印刷　Ｂ４ザラ紙　書き込みあり １枚目メモ（入場券裏面使用）、３枚目楽譜（答案用紙裏面使用）、
T0015	台本　シュプレヒコール　リベットの響き	24 08 28	謄写印刷　振り付け指定記入
M2120	台本　シュプレヒコール　解放の歌	25	Ｂ４原稿用紙　色付き
M2121	台本　人民解放の歌	25 08 15 発表	謄写印刷　Ｂ４ザラ紙半切１５頁　振り付け指定記入
M2122	合唱詩　赤土の丘　峠三吉・詩	27	原稿用紙１５枚
M2126	台本　構成プロット　合唱構成	不明	Ｂ５レポート用紙１７頁
M2128	場割り　合唱劇・寸劇場割り	不明	ペン書　ザラ紙　平和祭ビラ裏面使用
M2256	合唱劇草稿	不明	青ペン書　メモ用紙　旧版に青木書店原稿用紙も使用とあるが、画像なし
T0014	台本　シュプレヒコール　人民解放の歌　（８．１５解放記念日のために）	不明	
T0035	台本　詩劇　憤怒　構成プラン	不明	

峠三吉自筆草稿表題索引
（アイウエオ順）

凡例

○　原則として題名と副題の冒頭の語（句）二つを索引の対象とした。従って同一資料が原則として２箇所以上に記載されている。

○　下線は、その部分が索引の対象、見出し語、であることを示す。

○　無題の詩については冒頭部分、詞書のない俳句、短歌については最初の一句、一首の冒頭を見出し語とした。「無題」と題されたものは「むだい」を見出し語とした。

○　題名にＡ，Ｂ，Ｃ，・・・，１，２，３、・・・など番号の振られている場合、番号自体は無視した。

○　旧仮名遣い及び片仮名はそれぞれ現代仮名遣い、平仮名に変換した。年月日を示す漢数字は英数字に変換した。

○　読みに疑義のある語句と本索引での読みを以下にに示す。

「・・・の詩」など、文節末尾の「詩」は「うた」と読んだ。

「石蕗」（T0286 及び T0319）:「つわぶき」。池田正彦氏のご教示によれば、「ふき」と読ます場合もある。

「初玄」（M1952 及び T0368）:「しょげん」。

「後愁」（T0523）:「ごしゅう」。

「傷痕」（M2377）:「しょうこん」

「稚彦様」（M2047）:「わかひこさま」

「夜汐」（T0780）:「やしお」

○　資料の配列は見出し語のアイウエオ順とした。数字、英字は末尾に配列した。

○　＊印あるものは別項目にも掲載または掲載予定。

○　網掛けは一綴りのノートや詩集などの始まりと終わりを示す。

○　『自筆草稿画像目録』所収資料のうち、画像のないものは本索引からのぞいた。

あ行	
T0334	あゝ我に
M1938	無題「あゝ学舎もこの業も…」
M1995	無題「あゝ私にこんな幸福が…」
M2042C	無題「ああ一人だ…」
M1994	無題数点「あゝ氷山か南へ流れ…」ほか
T0183	噫！否！（死の刻に寄せて）
T0614	まことの愛
T0309	愛
T0029	愛と屍と
T0370	愛のうた
T0020	愛の季節　峠みつぼし名
T0663	愛の極北
M1991	愛の風景
T0021	愛の黎明
T0376	愛の黎明
T0028	詩集　愛と屍（M.TOGE）
T0236	眞事の愛
T0202	愛苦
T0292	愛国行進曲
T0229	秋の日（遠き人の愛情を歌へる）
T0454	わが愛するもの
M1893	覚書　愛すればこそのメモ
M1961	あひ寄る魂は
T0683	あをいよる　１１句
T0368	初玄（青い上着の女に寄す）　（西條にて）
T0436	青い焔のやうに
T0488	青い海の絵
T0389	青い星
T0781	青柿　６首
T0796	蒼き夢　４首
T0144	海のあをきを
T0514	蒼く昏れる心の中に
T0260	蒼く昏れる心の中に
T0688	青芝　１０７句
M2010	碧空
M1996	１首　ＭＩＴＳＵ名　<青野原…>
T0371	少女像（紅いオーバーをまとひ白いマスクをせる絵にそへて）
T0729	紅き小櫛　１３首
T0195	ダリアと赤児

T0623	暁
T0208	暁の戦闘
M2122	合唱詩　赤土の丘　峠三吉・詩
T0083	＊覚書　原爆三部作赤松さんの説明文
M2254	丸木位里・赤松俊子原爆の図に寄せて
T0234	うす明り
T0521	ラヂオのあかり
T0812	夏より秋へ　１４首
T0647	見出し　<<秋>>
M2071	秋
T0782	秋に入る頃　８首
T0146	秋の思ひ
T0388	秋の小山
T0320	秋の人
T0229	秋の日（遠き人の愛情を歌へる）
T0404	秋の林
T0626	秋月夜
T0363	秋二題　（[redacted]のポスターのために）
T0452	峠の秋
T0678	林の秋　２２句
T0498	秋空
T0758	２０首＜暁け空の…＞
T0296	憧れ
T0393	あさ・ひる・ばん（タカシをよめる）
T0394	よいあさ
T0731	或る朝の歌　５７首
T0331	夏の朝
M1955	却初の朝
M1956	却初の朝
T0343	劫初の朝
M1977	朝
T0007	朝
T0450	朝の徑にて
T0284	朝静か
T0434	道化師の朝の唄
T0207	梅雨曇りの朝ー病院にてー
T0677	朝霧の駅　１０句
T0242	朝夕
M1923	訴え　メッセージ「世界連邦アジア会議に…」
M1924	訴え　メッセージ「世界連邦アジア会議に…」
T0513	晨（アシタ）

T0668	俳句　葦笛　３０８句
T0797	飛鳥の代　６首
T0764	～新しきいのち～　２７首
T0835	随筆　新しき道徳目標の把握
T0039	評論　新しき道徳目標の把握
T0385	暑い日
T0425	病ひ篤き時の或る心象
T0754B	或る人の病ひ篤しと聞きて　１７首
T0703	＊覚書　あと書き（抄録）
M1917	評論　『反戦詩歌集』あとがき
T0803	月と兄　６首
T0550	讃美のうた　姉のコラール作曲のために
T0303	姉のコラールの為に（２）
T0308	二人の姉
T0214A	詩集表紙：峠　みつぼし　第一頁：あふれ　溢れ　みつよし
M1987	溢れる想ひ
T0275	雨
T0725	雨の唄　３首
T0524	雨の日に
T0532	無題「雨が降る…」
T0180	横ざまの陽かげの中に~雨之助先生の為に~
T0038	覚書　アメリカへの手紙
T0847	筆写　「抵抗詩人アラゴン」（矢内原伊作）
T0471	アラビヤの黄金
T0795	霰　８首
T0174	あらはれ
T0179	—或る苦しき日に　六編
T0117	＊短歌：紫なせる（ある人に）
M2260	ある婦人え
T0012	ある婦人え
T0013	ある夜のコンサート
T0676	アル日のうた　２６句
T0607	或るベアトリッチェ
T0420	或る唄
T0737	或る時　１３首
T0806	或る時　５首
T0561	或る少年の手紙
T0754B	或る人の病ひ篤しと聞きて　１７首
T0547	或る想念
T0731	或る朝の歌　５７首
T0294	或る突撃の歌

T0307	或る日
T0726	或る日のひと　１３首
T0827	或る病友　１０首
M2261	或る婦人へ
T0206	或る未明の戦闘（突撃）
T0415	或る夜の私・Q氏
T0747	或る友より　７首
T0761	或る夕ぐれに　７首
T0808	又或る時　９首
M2102	無題「僕は歯科医の…」、「或る静かな…」「風化してゐた…」
T0187	河沿ひに歩いてゐると
T0034	覚書　無題「歩いてゆく…」
T0330	抱擁（或る種の青年達に）(KYOSANJINEINO)
M1879	覚書　無題「荒地の…」
M2317	覚書　アンケート発送者名簿
T0544	暗夜
T0779	南部の家　８首
T0473	岬の家
T0662	いかで忘れむ
M2056	怒りのうた
T0507	怒りのうた（日鋼争議暴圧事件）
T0621	怒りの焔
M2266	生埋　母と娘、裏面　別人の原稿？
M1982A	歌詩「軍都(いくさまち)廃墟(はいきょ)と化して…」
T0306	生くるといふ事は
M1878	覚書　『われらの詩』　西條の意見
T0226	憩ひ
T0776	医師の子　１１首
T0694	凝り耀る月の石　２８句
T0482	自然意志
T0109	聾唖学校に移譲せられたる旧校舎の講堂に寄せて
T0505	無題「いたづらな子供が…」
T0137	いたみ
T0789	冬至る　５首
T0510	痴呆の市
T0257	痴呆の市
T0196	一途（いちづ）
T0744	一周忌の谷山宅を訪れて　３９首
M2037A	無題「この一書の中には…」
T0285	凍雲
M1940	義兄危篤にて糸崎へ急ぎつつ

M1973	営み
T0183	噫！否！（死の刻に寄せて）
T0114	ジャック（戦死した犬の為に）
T0588	犬
T0764	～新しきいのち～　２７首
T0462	祈り
M1986	無題「今私は東京を…」
T0158	夢いまだ
M1876	覚書　詩という言葉にある二つの意味について
T0423	わが季節のＩｍａｇｅ（イメージ）
T0655	心の入江
T0163	花を入るゝと
T0402	瞼の裏の印象
M1974B	たそがれのウィーン
T0126	ヴィンの森の物語－或る人の夢に和して－
M2079B	無題「再び浮かぶ顔がある…」
T0243	雨後に
T0167	動いてはいけない
T0464	黄金の牛
T0130	潮（ウシオ）と浮標（ブイ）と
T0755	宇品保養園にて　１６首
T0148	失ひ
T0237	喪ひ
M2082A	失はれた腕に
T0234	うす明り
T0784	薄粥　６首
T0266	埋火
T0023	歌（ウタ）
T0186	「七洋制覇の歌」応募作
T0522	みんなの歌
T0687	わがうたよ　４５句
T0676	アル日のうた　２６句
M1988	カズ子の歌
S0008	カチューシャ楽団に捧ぐる詩
M2072	プークに捧ぐる詩
T0536	プークに捧ぐる詩
T0370	愛のうた
T0420	或る唄
T0731	或る朝の歌　５７首
T0294	或る突撃の歌
T0725	雨の唄　３首

T0684	雲のうた　９句
T0281	英魂に捧ぐ　(英霊を讃える歌応募作)
M2075	歌（「焚火は消され…」）
M2074	歌（「焚火は消された…」）
T0289	勤労奉仕の歌
T0537	劇団プークに捧ぐる詩
T0550	讃美のうた　姉のコラール作曲のために
T0336	寂しき歌
M2039	寂しき歌
T0440	春の唄（小英雄を読みて）
T0165	小さい詩
T0154	昭和十六年十二月八日の詩
M2120	台本　シュプレヒコール　解放の歌
T0014	台本　シュプレヒコール　人民解放の歌　（８．１５解放記念日のために）
M2121	台本　人民解放の歌
T0004	大山郁夫氏に捧げる詩
T0227	稚き歌（卓上ピアノに添えて）
M2056	怒りのうた
T0507	怒りのうた（日鋼争議暴圧事件）
M2058	同志山本均に贈るの詩
T0434	道化師の朝の唄
T0517	文化の日の歌
T0245	平和の歌（懸賞応募）
T0246	平和の歌２
T0431	洋紅の詩
T0155	流れに歌ふ
T0001	くろい燕に寄せて歌える　註：「に寄せて歌える」に取り消し線
T0641	美(ウツク)し
T0384	美しい日は去る
M2015	無題「美しい風景は…」
T0184	美しき時（青春）の秘密
T0463	美しき序詩
T0595	戦ひにより美しく
T0037	すべての声は訴える~序文にかえて（『原子雲の下より』序文原稿）
M2082A	失はれた腕に
M1937	懸命に立っている　裏面　「生まれて...」
M2048	「灯」「海に臨む街の夏の夜」ほか
T0567	海に寄せて
T0144	海のあをきを
T0488	青い海の絵

T0470	憧憬（海を隔てての）
M2119	評論　「〈我は海の子〉をよまされて」作品模写・感想
T0857	小説　鏡占（カガミウラナヒ）
T0017	小説　鏡占い　山下三夫名
M2117	小説　鏡占ひ
T0368	初玄（青い上着の女に寄す）　（西條にて）
M1859	主張　広島に於けるヒューマニズム運動
T0837	随筆　青年運動の行く道
M1873	評論　詩に於けるヒューマニズム運動
T0814B	絵に寄せて　４首
T0488	青い海の絵
T0305	調べの想い（絵に添えて）
T0509	永遠
T0455	永遠の座~故谷山巖君の霊に捧ぐ~
T0820	ニュース映画を観て（１１月１４日）　１０首
T0281	英魂に捧ぐ　（英霊を讃える歌応募作）
T0103	夕ぐれ（映像）
T0543	無題「英タン父タン…」　－Ｏのためにー
T0534	無題「英タン父タン…」～同志Ｏのために～
M2059	小説　えいちゃん　野田二郎名
T0281	英魂に捧ぐ　（英霊を讃える歌応募作）
T0282	英霊讃頌
M2086	駅にて
T0677	朝霧の駅　１０句
T0610	絵本
T0249	絵本
M2247	絵本
T0539	絵本
M2248	繪本
T0833	＊小説　遠雷
T0686	緑地（オアシス）　２７句
M2290	覚書　正田篠枝の生い立ち・被爆・体験記他
T0288	王冠
T0471	アラビヤの黄金
T0464	黄金の牛
M2081	黄金の魚
T0697	Ｎの応召を送る　２７句
M2358	＊覚書　「原爆の詩」応募作品に対する感想ほか
T0574	小さくておほきな花
T0799	わが大君　１１首
M2093	大土堤に上れば

M2084	大橋の夕べ
T0004	大山郁夫氏に捧げる詩
T0005	丘のある風景
M2122	合唱詩　赤土の丘　峠三吉・詩
T0729	紅き小櫛　１３首
T0753	人を送りて　２０首
T0738	夜を送りて　１０首
T0697	Ｎの応召を送る　２７句
M2259A	第三次世界大戦はおこるかもしれない
T0219	幼い二人
T0227	稚き歌（卓上ピアノに添えて）
T0851	童話　お爺さんと娘
M2374	＊評論　「子供の詩は教える」
T0430	押花に寄せて
T0486	お正月
M1891	覚書　オストロフスキーの詩の訳
T0483	お空に住んでゐるもの
T0342	月夜の怖れ
T0241	怖れ
T0127	怖しき悲しみなく
T0129	音の家族
T0439	おとうと（スティーブンソン・ほんあん）
M2107	童話　おとぎばなし　狐と狸
T0823	男の子　６首
T0448	訪れ
T0122	はつ夏の少女（ヲトメ）
T0204	透身の踊り
T0022	透身の踊り
T0321	驚きと歓びと
T0813	己れ　２１首
T0707	１３９首　＜尾羽（ヲハ）うち振る…＞
T0371	少女像（紅いオーバーをまとひ白いマスクをせる絵にそへて）
M1720	「断想　覚書」みつよし
M1722	覚書　「覚え書（４）」　みつよし
T0696	おぼろ夜　２７句
T0197	朧夜
T0635	朧夜
M2073A	加代子よお前は叫べ
T0643	わが想ひ
M1987	溢れる想ひ
T0146	秋の思ひ

T0305	調べの想い（絵に添えて）
T0554	二度目の思慕（おもひ）
M2066	無題「わが想ひ咲きゆくなべに...」ほか断片
T0327A	シオンを想ひて泣けるヘブレアの歌人に和して
T0459	思ひ出
M1950	思ひ出
M1975	花に思ふ　M．TOGE名
T0104	おもかげ
T0649	面影
T0215	俤
T0701	折々に　２９句
T0762	～オリオンの頃～　１２首
T0508B	無題「われらは愚か者だから…」
M1953	尾張町すきや橋にて
T0016	小説　ヨハン少年物語（バルバラの恩返し）
T0162	恩寵
T0645	夏の女
T0368	初玄（青い上着の女に寄す）　（西條にて）
M2014	和さんという女のひとに
か行	
T0027	回帰
M1957	回帰
M2279	「生」（会社へと食物あさりにと…）
T0270	回想
T0101A	表紙「（詩二）　ゆたか・みつぼし・光芳・峠」、「推稿一束　回想のよすがに　みつよし」と記
T0263	白い外套（奉秋の夜に）
T0190	結核恢復者（複十字人）
M1901	覚書　人間性の解放
M2120	台本　シュプレヒコール　解放の歌
T0014	台本　シュプレヒコール　人民解放の歌　（８．１５解放記念日のために）
M1863	評論　美の解放
M2121	台本　人民解放の歌
M1968	会話
M1967	會話　峠みつよし名
T0372	會話～情念は過度でなくては美しくあることができぬ～パスカル
T0675	か・え・る・よ・・・　４句
M2087	顔
M2079B	無題「再び浮かぶ顔がある…」
T0857	小説　鏡占（カガミウラナヒ）

T0017	小説　鏡占い　山下三夫名
M2117	小説　鏡占ひ
T0252	たかきものは群れ輝いて
T0369	輝き
T0199	かかる時にも
M1874	随想　牡蠣について
T0781	青柿　６首
T0556	楽想
S0008	カチューシャ楽団に捧ぐる詩
M1916	評論　無題「かくて道は…」
M2127	台本　シュプレコール　革命の前夜　楽譜（弾圧の嵐は...）付き
T0633	隠れん坊
T0591	わが心の陰を
T0164	街角の陰
M2104A	覚書　峠家家系図
M1948	「自分との別れ」、「何を書こうか」
T0658	暈月
M1976B	無題「重なり重なり…」
T0344	由美子と火事
M2088	由美子と火事　峠みつぼし名
T0327A	シオンを想ひて泣けるヘブレアの歌人に和して
T0333	天なる假睡
M1988	カズ子の歌
M2014	和さんという女のひとに
M1954	随想　風のなかに
T0606	風
T0608	風
T0361	風
M1939	無題「南の風が湿りを...」
M1919	書評　『風の子物語』増岡敏和生活詩集
T0129	音の家族
M2253	無題「さらに数年…」　裏面無題「家族が…」
T0786	硬き花　５首
T0476	かたばみ
M1855	評論　広島歌壇評
S0008	カチューシャ楽団に捧ぐる詩
T0205	日本は勝つ（山本兵長の記事に感動して）
M2256	合唱劇草稿
M2128	場割り　合唱劇・寸劇場割り
M1900	覚書　無題「嘗て山上に…」
M1890	覚書　『われらの詩』作品合評

T0176	過程
M1942	プロテスタントとカトリシズム
T0340	プロテスタントとカトリシズムの交響
T0291	悲しみ
T0316	悲しみの
T0127	怖しき悲しみなく
T0805	花粉　６首
T0492	南瓜畑を行きし時
T0553	樹木と神
T0314	神のよろこび
T0564	神の中に
T0821	神風特別攻撃隊出発情景　１５首
T0784	薄粥　６首
M2073A	加代子よお前は叫べ
T0287	からの花　～　西お兄よりもらいし花
T0354	体(カラダ)をかけて
T0110	彼
T0278	河
M2267	河のある風景
M2268	河のある風景
T0187	河沿ひに歩いてゐると
T0493	川端に涼む若き母親
T0756	～河辺貞吉師傳道会～　９首
T0763	寒の夜　６首
T0348	棺の釘を打つ者
M1872	評論　「感覚について」ほか
T0571	鹹湖
T0006	患者輸送車にて
M2358	＊覚書　「原爆の詩」応募作品に対する感想ほか
T0040	随筆　夕ぐれの感想
M2119	評論　「〈我は海の子〉をよまされて」作品模写・感想
T0560	藤樹の死に寄す~その日我は観能の席にありき~
T0233	陥没
T0802	眼裏　８首
T0708	１５５首　＜樹の闇に…＞
M1868	評論　「高原」　木川氏の評論について
M2258	覚書　「小林さんの話」として聞書
T0031	覚書　被爆状況の聞書
T0295	菊　国民歌謡応募
T0400	無題「銀の木靴が・・・」
T0825	菊名池　７首

M1940	義兄危篤にて糸崎へ急ぎつつ
T0205	日本は勝つ（山本兵長の記事に感動して）
M2376	傷
M2378	傷
T0423	わが季節のＩｍａｇｅ（イメージ）
T0020	愛の季節　峠みつぼし名
T0689	季節　季節　１７句
T0465	季節の鈴
M1854B	随想＜断片＞　季節の雑感
M2103	封殺の季節
M2042B	無題「キタイスカヤ街の…」
M1990	無題「汚い服の人達は…」
T0745	喫茶店に一人行きて　２０首
T0293	誰も知らない喫茶店
M2107	童話　おとぎばなし　狐と狸
T0474	汽笛に寄する想念
T0767	祈祷会　７首
M1940	義兄危篤にて糸崎へ急ぎつつ
M1912	訴え　百合子二周忌記念会と多喜二祭を開こう
M2377	傷痕　－“原子雲の下より”記念会－
T0640	気まぐれ
M2275	無題「君はそこに…」
M1882	覚書　本当のものを知る気持ち
T0003	急患輸送車にて
T0002A	白衣～Ｈ旧軍人療養所にて
T0109	聾唖学校に移譲せられたる旧校舎の講堂に寄せて
M1728	覚書　児童教育に関するメモ　峠三吉名
T0665A	句集　俳句「饗宴」　みつよし
M2057B	無題「行政協定は…」
T0850	童話　百足競争
M1925	訴え　共通の問題点
T0508A	共闘の誓い～日鋼労働者の妻子に捧ぐ～
M2055	共闘の誓ひ
T0107	郷里
T0611	聖き憎しみ
T0663	愛の極北
T0240	霧闇
T0271	銀の笛
T0400	無題「銀の木靴が・・・」
T0511	金貨
T0258	金貨

T0403	瀕死の金魚
T0506	金婚式（頼雄の編曲のために）
T0256	金婚式（頼雄の編曲のために）
T0711	＊覚書　近代短歌の流れ
T0785	金木犀　６首
T0289	勤労奉仕の歌
T0515	悔
M2042E	焦燥と空虚と
T0772	空襲　４首
T0828	戦ひ（５．２９横浜大空襲）
T0749	苦患　１１首
T0348	棺の釘を打つ者
T0421	二つの草花
T0399	くすり詩抄
T0392	ぼんがん靴
M2255	靴
T0600	苦痛
M2042Z	無題「くったくのなさそうな…」
T0211	日輪の国
T0841	随筆　新時代への苦悩　広島青年文化連盟
M1989	熊まつり
M1913	組合雑誌評
T0468	雲
T0801	雲　１３首
T0578	雲（雲よ！遠く沈んでより心をみせるお前よ）
T0684	雲のうた　９句
T0134	月夜の雲
M1982B	無題「雲は灰金？…」
M2007	宗大仙宛書簡草稿　裏面無題「空は曇り…？」
T0207	梅雨曇りの朝
T0563	暗い路
T0596	暗く寂しく（K．T．に寄す）
M2077	クリスマス
T0179	―或る苦しき日に　六編
T0178	メシ（苦しき日に）
T0585	苦しみは
M2076	苦しみは　峠みつよし名
M2078	呉の街にて
M2079A	呉の街にて
T0156	紅の章（しるし）
T0514	蒼く昏れる心の中に

T0260	蒼く昏れる心の中に
M2045	「恋人」、「黒い屍」、「焼跡」ほか
T0001	くろい燕に寄せて歌える　註：「に寄せて歌える」に取り消し線
M2407	＊覚書　原爆詩画展計画メモ
T0501	色彩風景~交通警官に~
T0845	覚書　民主主義藝術論
M1867	評論　芸術に於ける普遍性の問題
T0537	劇団プークに捧ぐる詩
M2075	歌（「焚火は消され…」）
M2074	歌（「焚火は消された…」）
T0190	結核恢復者（複十字人）
T0201	結婚
M2002	小説「二人は結婚…」
M1869	評論　恋愛と結婚について
M2269	山口県平和擁護委員会結成大会の記録　裏面メモ
T0041	袂別
M2035A	無題「煙り咽ぶ遠い…」
T0599	盲ひた獣が
M2070	「白衣」「療養所の幻影」
T0443	幻影
T0299	幻影
T0754	健康相談所に行き　１８首
T0716	徴兵検査　１４首
T0157	顯示
T0549	顯示（「逸楽」を変更）
M2406	＊覚書　「原子雲の下に」序文メモ
M2357	＊覚書　『原子雲の下より』に現れた問題
M2377	傷痕　－“原子雲の下より”記念会－
M2379	＊覚書　『原子雲の下より』青木文庫用序文（「１９４５年…」）
M2373	＊評論　「原子雲の下より・序文」草稿
M2375	＊評論　「原子雲の下より」序文
M1870	評論　無題「現実…」
T0699	無題　２１２句　<幻日や…>
T0152	原生
T0105	幻想の地に
M2407	＊覚書　原爆詩画展計画メモ
M2409	＊原爆詩画展割付メモ　自筆　一部　詩文を含む
T0083	＊覚書　原爆三部作赤松さんの説明文
M2293	覚書　『原爆詩集』出版記念会のメモ
M2292	覚書　『原爆詩集』出版記念会の準備メモ
M2294	覚書　『原爆詩集』出版記念会収支メモ

M2251	原爆詩抄構想
M2302	覚書　原爆の子友の会（結成会）メモ
M2358	＊覚書　「原爆の詩」応募作品に対する感想ほか
M2359	＊覚書　「原爆の詩」序文
M2254	丸木位里・赤松俊子原爆の図に寄せて
M2263	希い　ー原爆の図出版によせて
T0750	縣病院の庭に行く　１４首
M1937	懸命に立っている　裏面　「生まれて...」
M1729	覚書　「詩に関するノート」　後半は「権利のための闘争」（イェーリング）覚書
M1909C	覚書　「原療詩の会」
M1907	覚書　原療詩の会
T0776	医師の子　１１首
M2302	覚書　原爆の子友の会（結成会）メモ
T0542	子よ
T0622	子よ四つ手網を
T0528	時々母のゐない子のような気がする
T0823	男の子　６首
T0120	貧しき児
T0147	盲目の児と瑪瑙の塔
M2124	合唱劇　僕たちの恋　峠三吉・詩
M2123	台本　合唱劇　僕たちの恋
M2045	「恋人」、「黒い屍」、「焼跡」ほか
T0604	死（壕の中にて）
M2036B	無題「光栄ある･･･」
T0340	プロテスタントとカトリシズムの交響
T0743	未完成交響■を観て　７首
T0702	山口司令搭乗我が航空母艦　２０句
M1868	評論　「高原」　木川氏の評論について
M1909A	評論　「高原詩の会」について
T0709	１０３首　＜かうかうと…＞
M1883	覚書　男女の交際について
M1955	却初の朝
M1956	却初の朝
T0343	劫初の朝
T0826	工場　１０首
T0292	愛国行進曲
T0283	大陸行進曲　応募作
M2283	Ａ．構図　註：表題横に「時間（歴史）」とあり
M2282	＊構成案　詩集の構成・プラン
M2252	構成案

M2126	台本　構成プロット　合唱構成
T0427	リリィ島では（小唄風に）
T0852	童話　虹　－河内夫人の霊に捧ぐ－
T0501	色彩風景~交通警官に~
T0109	聾唖学校に移譲せられたる旧校舎の講堂に寄せて
M1995	無題「あゝ私にこんな幸福が…」
T0357	公報
T0377	公報
T0037	すべての声は訴える~序文にかえて（『原子雲の下より』序文原稿）
T0487	小鬼
T0128	蟋蟀
T0238	誤解
T0512	故郷
T0259	故郷
T0324	故郷良夜
T0359	故郷良夜
T0587	告知
M2257	無題「国内のわたしたちが…」
T0295	菊　国民歌謡応募
T0839	宣言　吉田内閣打倒国民大会へ送るメッセージ
M2044	こゝろの村
T0516	こころの蛇行
T0591	わが心の陰を
T0578	雲（雲よ！遠く沈んでより心をみせるお前よ）
M2259B	求めようとする心のために
T0627A	詩集　表紙：詩集＜３の附録＞　峠三吉 表題　みつぼし小曲・抒情詩抄『こころの虹』
T0168	心に
T0437	心のたから
T0311	心の園
T0732	心の隅より　２４首
T0135	心の船
T0655	心の入江
T0445	心の風景　（１）飛行機（２）潜航艇
T0514	蒼く昏れる心の中に
T0260	蒼く昏れる心の中に
T0793	無為の心　６首
M2110	童話　シャボン玉とユリの心
T0018	童話　シャボン玉とユリの心
T0642	瞠く心
T0742	心弱き折　２０首

T0499	＊引用：コサック古代民謡より
T0523	後愁
T0469	白き梢
M1884	覚書　無題「個性が眞に…」
T0499	＊引用：コサック古代民謡より
M1903	古典的象徴主義
T0494	孤獨
T0472	遺す言葉
M1876	覚書　詩という言葉にある二つの意味について
T0327	言葉
T0458	春の夜の言葉
M2008	無題「日本という言葉が…」
M2374	＊評論　「子供の詩は教える」
M2281	こどもえ
T0558	子供
T0854	童話　三人の子供
T0505	無題「いたづらな子供が…」
M1978B	無題「子供に…」
T0161	此の時
T0783	此の秋（トキ）　６首
M2037A	無題「この一書の中には…」
M1899	覚書　無題「このようにして展開されてきた…」
M2258	覚書　「小林さんの話」として聞書
T0388	秋の小山
M1881	覚書　無題「古来哲学の中心課題…」
T0550	讃美のうた　姉のコラール作曲のために
T0303	姉のコラールの為に（２）
T0304	嘆きの聖母（美戸律子曲コラール一篇に附して）
T0433	空をごらん
M2095	無題「咳きあげるとどろどろと凝りかけた…」
T0694	凝り耀る月の石　２８句
T0194	聲音
T0013	ある夜のコンサート
T0250	こんなとき父親となる
T0778	金刀羅夏祭り　１９首
M2042A	混迷
M2043	混迷
M2042D	混迷　山本理枝名
さ行	
T0721	採果の幸　１７首
T0659	再会

T0217	再会
T0692	再建　８句
T0739	最後の夢　４４首
T0508A	共闘の誓い～日鋼労働者の妻子に捧ぐ～
M1878	覚書　『われらの詩』　西條の意見
T0368	初玄（青い上着の女に寄す）　（西條にて）
T0375	希い　西條療養所のために～白井氏作曲～
T0811	サイパン島の婦女子自決　１６首
M2038	サーカス
M2052	八・三■■サーカスにて
M2081	黄金の魚
M2066	無題「わが想ひ咲きゆくなべに...」ほか断片
M1890	覚書　『われらの詩』作品合評
M1858	覚書　作品分析ほか
M2119	評論　「〈我は海の子〉をよまされて」作品模写・感想
T0719	桜の実　抒情　１６首
M2041	無題「さわさわと桜若木に…」
T0121	さくらんぼ
M1908	評論　わかば文化サークル
T0269	ざくろ
T0386	柘榴
M2073A	加代子よお前は叫べ
T0636	漣
T0669	俳句　砂城　１０２５句
M1920	座談会記録　文学運動をどう進めるべきか　－破防法をめぐって
T0721	採果の幸　１７首
T0235	幸連祷
T0809	八月雑詠　１８首
M1854B	随想＜断片＞　季節の雑感
T0200	五月
M1913	組合雑誌評
M1875	評論　雑草
T0674	九月のサナトリウムにて　３７句
T0336	寂しき歌
M2039	寂しき歌
T0596	暗く寂しく（K.　T.　に寄す）
T0112	ゆたかな寂しさの
M2040A	三郎君の見た夢
T0757	左部寿一郎先生逝去の通知を受く　２３首
T0141	晩秋茶房譜
M2253	無題「さらに数年…」　裏面無題「家族が…」

M2053A	評論　花咲く広島サロン
M2041	無題「さわさわと桜若木に…」
T0680	「ニッポン号」讃歌　８句
T0282	英霊讃頌
M1900	覚書　無題「嘗て山上に…」
T0181	残照（まどゐの療友達へ）
T0854	童話　三人の子供
T0550	讃美のうた　姉のコラール作曲のために
T0083	＊覚書　原爆三部作赤松さんの説明文
T0718	散歩にて　２３首
T0722	散歩より　２３首
T0417	椿と山脈
M2286	２．死
M2285	Ｂ．死
T0604	死（壕の中にて）
M2284	死－全ての理想と勇気を失った夜に－
T0192	早吉の死（頼雄への頼りに添えて）
T0807	藤樹の死　４首
T0560	藤樹の死に寄す~その日我は観能の席にありき~
M1867B	評論　ども又の死
T0183	噫！否！（死の刻に寄せて）
M2374	＊評論　「子供の詩は教える」
M1729	覚書　「詩に関するノート」　後半は「権利のための闘争」（イェーリング）覚書
M1876	覚書　詩という言葉にある二つの意味について
M1911	講演草稿　詩の話　　峠三吉名
T0101A	表紙「(詩二)　ゆたか・みつぼし・光芳・峠」、「推稿一束　回想のよすがに　みつよし」と記
M1873	評論　詩に於けるヒューマニズム運動
M2065	無題「もはや詩に戯れる事を...」
T0136A	詩集：「詩（三）」
T0175A	シ（四）　峠　光芳
T0581	泪（仕合せは飛び掠める翼なの）
M1709B	＊詩集「潮鳴り」
T0667	俳句　潮鳴り　２０２句
T0327A	シオンを想ひて泣けるヘブレアの歌人に和して
M1860	覚書　自我と社会
M2102	無題「僕は歯科医の…」、「或る静かな…」「風化してゐた…」
M1917	評論　『反戦詩歌集』あとがき
M2407	＊覚書　原爆詩画展計画メモ
M2409	＊原爆詩画展割付メモ　自筆　一部　詩文を含む

M2045	「恋人」、「黒い屍」、「焼跡」ほか
T0029	愛と屍と
T0028	詩集　愛と屍（M.TOGE）
T0253	色彩風景
T0501	色彩風景~交通警官に~
T0222	しぐれ
T0223	時雨
T0811	サイパン島の婦女子自決　１６首
M1895	覚書　詩作に必要なもの
T0030	覚書　詩作メモ
M1906	評論　詩誌評論
M2282	＊構成案　詩集の構成・プラン
M2293	覚書　『原爆詩集』出版記念会のメモ
M2292	覚書　『原爆詩集』出版記念会の準備メモ
M2294	覚書　『原爆詩集』出版記念会収支メモ
T0247A	詩集
T0019	詩集　Lyrical Ballads (Mitsuyoshi Toge)
T0545A	詩集　S.TOGE　（中扉あり）
T0323A	詩集　峠みつぼし
T0627A	詩集　表紙：詩集＜３の附録＞　峠三吉 表題　みつぼし小曲・抒情詩抄『こころの虹』
T0575	詩集：　峠　みつよし
T0300	詩集（主として小曲）　峠みつよし（合冊の２）
T0399	くすり詩抄
T0847	筆写　「抵抗詩人アラゴン」(矢内原伊作)
T0284	朝静か
M2102	無題「僕は歯科医の…」、「或る静かな…」「風化してゐた…」
T0482	自然意志
M1885	覚書　無題「時代の悩みを…」
M1862	評論　広島詩壇の歴史
T0186	「七洋制覇の歌」応募作
M1728	覚書　児童教育に関するメモ　峠三吉名
T0688	青芝　１０７句
M1948	「自分との別れ」、「何を書こうか」
M1959	無題「四辺の山々に…」
T0119	思慕
T0467	初秋の島
M1939	無題「南の風が湿りを…」
M1860	覚書　自我と社会
T0848	覚書　社研メモなど
T0815	出発（車中にて詠める）　６２首

T0114	ジャック（戦死した犬の為に）
M2110	童話　シャボン玉とユリの心
T0018	童話　シャボン玉とユリの心
T0698	軍鶏　７句
M2108	修学旅行　十一才の姪のために
T0251	修学旅行～第二の父の歌える
M2109A	修学旅行の夜に
T0428	習作
T0713	新古今習作　４５６首
M2294	覚書　『原爆詩集』出版記念会収支メモ
T0106	鞦韆
T0788	秋夜　９首
M2287	C．負傷者収容所
M2246	３．負傷者収容所
T0710	自由律短歌　２０３首
T0364	祝婚歌
T0740	祝日歌　３５首
T0142	珠數のやうに
T0526	出発
T0815	出発（車中にて詠める）　６２首
T0814	出発前後　１４首
T0821	神風特別攻撃隊出発情景　１５首
M2263	希い　－原爆の図出版によせて
M2293	覚書　『原爆詩集』出版記念会のメモ
M2292	覚書　『原爆詩集』出版記念会の準備メモ
M2294	覚書　『原爆詩集』出版記念会収支メモ
T0700	朱泥　１１７句
M1866	評論　象徴的手法について
T0553	樹木と神
M1978A	真理の狩猟
T0220	春怨
T0024	春醸
T0409	春雪の夜（ポストへと或る便りを）
M2303	覚書　年賀展準備メモ
T0193	春夜の賦
T0601	復讐の頌
T0440	春の唄（小英雄を読みて）
M1857	評論　ショパンの生涯　ほか
T0486	お正月
T0300	詩集（主として小曲）　峠みつよし（合冊の２）
T0470	憧憬（海を隔てての）

T0821	神風特別攻撃隊出発情景　１５首
M2377	傷痕　－“原子雲の下より”記念会－
T0244	少女の希い
T0579	少女裸像
M2265	無題「その少女をどうしよう…」
T0371	少女像（紅いオーバーをまとひ白いマスクをせる絵にそへて）
M1887	覚書　小説に関するメモ
M2005	小説作品プロットなど
T0373	焦燥
M2042E	焦燥と空虚と
M2290	覚書　正田篠枝の生い立ち・被爆・体験記他
M1903	古典的象徴主義
M1866	評論　象徴的手法について
T0561	或る少年の手紙
T0372	會話～情念は過度でなくては美しくあることができぬ～パスカル
M1719	覚書　「落書（３）」（抄録帳）峠光芳
T0714	昭和１６年　３７２首
T0154	昭和十六年十二月八日の詩
M2276	序曲（曲ったペン）
M1952	初玄　M.TOGE 名
T0368	初玄（青い上着の女に寄す）　（西條にて）
T0463	美しき序詩
T0115	初秋の頃
T0467	初秋の島
T0719	桜の実　抒情　１６首
T0627A	詩集　表紙：詩集＜３の附録＞　峠三吉 表題　みつぼし小曲・抒情詩抄『こころの虹』
T0213	＊覚書：ショパンの“澄心”について
M1857	評論　ショパンの生涯　ほか
M2406	＊覚書　「原子雲の下に」序文メモ
M2359	＊覚書　「原爆の詩」序文
M2379	＊覚書　『原子雲の下より』青木文庫用序文（「１９４５年…」）
M2373	＊評論　「原子雲の下より・序文」草稿
M2375	＊評論　「原子雲の下より」序文
T0037	すべての声は訴える~序文にかえて（『原子雲の下より』序文原稿）
T0293	誰も知らない喫茶店
T0305	調べの想い（絵に添えて）
T0118	知りたいこと
T0156	紅の章（しるし）
T0263	白い外套（奉秋の夜に）
T0149	白い寝巻

T0381	白い生活より
T0469	白き梢
T0713	新古今習作　４５６首
T0841	随筆　新時代への苦悩　広島青年文化連盟
T0615	眞実
T0695	九つの眞珠のみたま　１３句
T0751	ハワイ眞珠湾潜入の詳報をきゝて　１０首
T0441	たそがれの心象
T0425	病ひ篤き時の或る心象
T0654	眞情
T0172	親切にしてやったとき
M2438	＊詩画　「ピカドンで死んだトウチャン」峠三吉詩　四国五郎画
M2204B	無題「しんちゅうの…」
T0752	１７首＜沈丁の花を…＞
T0418	沈丁の花
M1884	覚書　無題「個性が眞に…」
M1922	訴え　すべての人々に『新日本文学』の支持を訴える
M1877	覚書　無題「人民を離れて名作なし…」
T0014	台本　シュプレヒコール　人民解放の歌　（８．１５解放記念日のために）
M2121	台本　人民解放の歌
M1889	覚書　「人民文学」２月号予告
M1978A	真理の狩猟
T0374	推移
T0101A	表紙「（詩二）　ゆたか・みつぼし・光芳・峠」、「推稿一束　回想のよすがに　みつよし」と記
T0572	彗星
T0720	夕暮の数景　１９首
M2253	無題「さらに数年…」　裏面無題「家族が…」
T0302	梳雲
M1953	尾張町すきや橋にて
T0465	季節の鈴
T0656	芒野
T0493	川端に涼む若き母親
T0439	おとうと（スティーブンソン・ほんあん）
T0538	無題「すでに落日は…」
T0650	昴（スバル）
M1922	訴え　すべての人々に『新日本文学』の支持を訴える
T0037	すべての声は訴える~序文にかえて（『原子雲の下より』序文原稿）
T0732	心の隅より　２４首
T0760	住吉橋病院にて　９首

T0519	住吉祭り
M2128	場割り　合唱劇・寸劇場割り
T0483	お空に住んでゐるもの
M2279	「生」（会社へと食物あさりにと…）
M2280	「生」（勤めえと食物あさりて…）　裏面別草稿？
T0335	聖暗
T0670	俳句　星雲　７１５句
T0143	その人～聖画に題して
T0736	１７首＜生活に…＞
T0679	生活　７句
T0770	生活よ　６首
T0381	白い生活より
T0791	正義　３首
T0757	左部寿一郎先生逝去の通知を受く　２３首
M1928	覚書　政治と文学についての討論会まとめ
T0184	美しき時（青春）の秘密
T0338	蘇る春―広島青年文化聯盟の生誕を祝して
T0838	随筆　青年よ蘇れ
M1864	評論　青年と文化
T0837	随筆　青年運動の行く道
M1853	評論　伝導の前衛としての青年会の前進
T0330	KYOSANJINEI N O 抱擁（或る種の青年達に）
T0832	随筆　Ｖ青年に
M1865	評論　青年文化連盟用
T0186	「七洋制覇の歌」応募作
T0304	嘆きの聖母（美戸律子曲コラール一篇に附して）
T0497	私の世界
M2259A	第三次世界大戦はおこるかもしれない
M1923	訴え　メッセージ「世界連邦アジア会議に…」
M1924	訴え　メッセージ「世界連邦アジア会議に…」
M2095	無題「咳きあげるとどろどろと凝りかけた…」
T0123	惜離
T0411	寂寥
T0520	切線
T0456	絶頂
T0576	絶望
M1941	絶望
M1974A	背中・ボタン
M1853	評論　伝導の前衛としての青年会の前進
T0341	先駆者　Ｈ・Ｙ・Ｃ・Ａの人々に
M2297	「宣言」　平和大会宣言文案

M2296	宣言　「平和宣言」（草稿）
T0010	宣言　広島平和大会宣言草稿
T0814	出発前後　１４首
T0777	退院前後　６首
T0445	心の風景　（１）飛行機（２）潜航艇
T0114	ジャック（戦死した犬の為に）
T0757	左部寿一郎先生逝去の通知を受く　２３首
T0559	揚棄（宣戦）
M1921	覚書　戦争と文学
M2036A	無題「戦争なんて…」
T0206	或る未明の戦闘（突撃）
T0208	暁の戦闘
T0751	ハワイ眞珠湾潜入の詳報をきゝて　１０首
T0248	電車線路のつぎ目を見たまえ
M2127	台本　シュプレコール　革命の前夜　楽譜（弾圧の嵐は...）付き
M1886	覚書　創作メモ
T0846	覚書　創作方法
M1894	覚書　無題「創作のモチーフとなる…」
T0856A	小説集　「創作　m.　とうげ」
T0555	そうして！
M2096	操車場にて
T0413	早春
T0768	早春　７首
T0265	早春譜
T0754	健康相談所に行き　１８首
T0547	或る想念
T0474	汽笛に寄する想念
M2275	無題「君はそこに…」
T0133	そのこと
T0116	そのまぶた
T0143	その人～聖画に題して
T0741	その夜　７首
M2265	無題「その少女をどうしよう…」
T0311	心の園
T0728	七月二十八日祖母命日　７首
M1935A	そよ風
T0483	お空に住んでゐるもの
T0433	空をごらん
M2007	宗大仙宛書簡草稿　裏面無題「空は曇り…？」
T0498	秋空
T0613	遙かなる空に

M1960	それは…
T0173	無題「それはほんの他愛のない…」
M2104B	無題「それは私が…」
た行	
T0173	それはほんの他愛のない
T0777	退院前後　６首
M2290	覚書　正田篠枝の生い立ち・被爆・体験記他
M2331	覚書　破防法反対対策準備会メモ
M2259A	第三次世界大戦はおこるかもしれない
T0412	猫抱いて
T0251	修学旅行～第二の父の歌える
T0353	太陽
T0283	大陸行進曲　応募作
T0609	対話
T0189	花を手折るときに
T0733	タオルズボンを作りもらひて　４首
T0252	たかきものは群れ輝いて
T0393	あさ・ひる・ばん（タカシをよめる）
T0651	高殿
M1943	無題「昂ぶりし後の湛えの…」ほか
T0437	心のたから
M1912	訴え　百合子二周忌記念会と多喜二祭を開こう
M2075	歌（「焚火は消され…」）
M2074	歌（「焚火は消された…」）
T0227	稚き歌（卓上ピアノに添えて）
T0232	年闌けて
T0516	こころの蛇行
M1974B	たそがれのウィーン
T0441	たそがれの心象
M1943	無題「昂ぶりし後の湛えの…」ほか
T0281	英魂に捧ぐ（英霊を讃える歌応募作）
T0828	戦ひ（５．２９横浜大空襲）
T0595	戦ひにより美しく
T0771	畳　１２首
T0177	立場
M1937	懸命に立っている　裏面　「生まれて…」
T0594	脱皮
T0310	み楯の日
T0169	立札
T0209	遠い谷間
T0455	永遠の座~故谷山巖君の霊に捧ぐ~

T0744	一周忌の谷山宅を訪れて　３９首
M2107	童話　おとぎばなし　狐と狸
T0485	たのしさ
T0396	たばこ
T0817	旅の地　１１首
M2279	「生」（会社へと食物あさりにと…）
M2280	「生」（勤めえと食物あさりて…）　裏面別草稿？
M1966	「泪」「ねらい」「弾」ほか
M1961	あひ寄る魂は
T0409	春雪の夜（ポストへと或る便りを）
T0192	早吉の死（頼雄への頼りに添えて）
M1918	評論　ちいさいたより　冒頭のみ峠筆？
T0108	便りに添へて
T0195	ダリアと赤児
T0293	誰も知らない喫茶店
M2111	無題「誰も知らぬ病院の…」　裏面無題「私は枕の横に…」
T0818	太郎　１１首
T0631	戯れ
M2065	無題「もはや詩に戯れる事を…」
M2127	台本　シュプレコール　革命の前夜　楽譜（弾圧の嵐は…）付き
T0711	＊覚書　近代短歌の流れ
T0704A	歌集　短歌　Mitsyosi　紅鶴(BENIZURU)　みつよし
T0717A	歌集　短歌　Mitsyosi（ママ）
T0712A	歌集　短歌　mitsyosi
T0710	自由律短歌　２０３首
M1935B	短歌　１０首
T0766A	歌集　短歌（４）　峠みつよし
M1932	峠三吉短歌抄
T0426	短劍
M1883	覚書　男女の交際について
M1720	「断想　覚書」みつよし
T0105	幻想の地に
T0817	旅の地　１１首
T0165	小さい詩
M1918	評論　ちいさいたより　冒頭のみ峠筆？
M1944	小さき花
T0584	小さき者
T0347	小さき星
M1965	小さき星
T0574	小さくておほきな花
T0508A	共闘の誓い～日鋼労働者の妻子に捧ぐ～

M2055	共闘の誓ひ
T0312	近寄っては！
T0378	僕達の力は根を張ってゆく
M2054	僕達の力は根を張ってゆく
T0317	痴愚
T0210	地圖
T0251	修学旅行～第二の父の歌える
M2089	父
T0533	父の病気
T0759	父よ！　２４首
T0734	父上　５首
T0250	こんなとき父親となる
M2437	＊詩画　「花と乳房で…」峠三吉詩　四国五郎画
T0510	痴呆の市
T0257	痴呆の市
T0503	巷にて
T0254	巷にて
M2080	巷にて
M1881	覚書　無題「古来哲学の中心課題…」
T0495	中年の勞働者
T0794	弔歌　４首
T0213	＊覚書：ショパンの“澄心”について
T0716	徴兵検査　１４首
T0276	花散れば
T0798	入院追詠　８首
T0326	追憶の美果
T0419	追恨
T0140	追想
T0694	凝り耀る月の石　２８句
T0803	月と兄　６首
T0248	電車線路のつぎ目を見たまえ
T0273	月夜
T0274	月夜
T0290	月夜
T0134	月夜の雲
T0342	月夜の怖れ
T0626	秋月夜
T0733	タオルズボンを作りもらひて　４首
T0620	土
T0652	虔しみ
M2280	「生」（勤めえと食物あさりて…）　裏面別草稿？

T0268	つとめ帰り
T0218	津浪
T0267	椿
T0417	椿と山脈
T0581	泪（仕合せは飛び掠める翼なの）
M2099	「つばめ」他
T0001	くろい燕に寄せて歌える　註：「に寄せて歌える」に取り消し線
T0451	眞白なる壺
T0207	梅雨曇りの朝－病院にて－
T0261A	詩集：つる草文集　みつぼしの署名 「古きノートより」と「詩集（主として小曲）　峠みつよし」を合冊
T0405	石蕗
T0286	石蕗
T0319	石蕗の花
T0491	手
M2100	無題「手をにぎらうよ…」
T0847	筆写　「抵抗詩人アラゴン」（矢内原伊作）
M1892	覚書　「われらの詩の会」定例会内容
T0356	（Kの手紙に）
T0566	ゆふぐれへの手紙
T0561	或る少年の手紙
T0038	覚書　アメリカへの手紙
T0228	手紙
T0435	デス・マスク
T0577	手帳より
T0666	俳句　手帳・ノートより　１２３句
T0041B	覚書　哲学に関するメモ
M1881	覚書　無題「古来哲学の中心課題…」
M1899	覚書　無題「このようにして展開されてきた…」
T0735	轉機　１４首
T0185	天才
M2273	無題「電車通りを渡った...」、「爆裂」ほか
T0248	電車線路のつぎ目を見たまえ
T0800	轉住　８首
M1861	評論　講演草稿（伝道の母体としての…）
M1853	評論　伝導の前衛としての青年会の前進
T0756	～河辺貞吉師傳道会～　９首
T0382	テント虫
T0333	天なる假睡
T0231	吐息

T0147	盲目の児と瑪瑙の塔
T0406	冬鶯(とうおう)
M1986	無題「今私は東京を…」
T0452	峠の秋
M2104A	覚書　峠家家系図
M1932	峠三吉短歌抄
M1933	峠三吉俳句抄
T0434	道化師の朝の唄
T0765	＊覚書　投稿時筆名
T0618	登行
T0562	同志
M2058	同志山本均に贈るの詩
T0534	無題「英タン父タン…」～同志Oのために～
T0807	藤樹の死　４首
T0560	藤樹の死に寄す~その日我は観能の席にありき~
T0702	山口司令搭乗我が航空母艦　２０句
M2265	無題「その少女をどうしよう…」
T0204	透身の踊り
T0022	透身の踊り
M1729	覚書　「詩に関するノート」　後半は「権利のための闘争」（イェーリング）覚書
T0543	無題「英タン父タン…」　－Oのために－
T0534	無題「英タン父タン…」～同志Oのために～
T0816	到着　６首
M2438	＊詩画　「ピカドンで死んだトウチャン」峠三吉詩　四国五郎画
T0546	道程
T0835	随筆　新しき道徳目標の把握
T0039	評論　新しき道徳目標の把握
M1928	覚書　政治と文学についての討論会まとめ
T0849A	童話集「童話　とうげみつよし」
T0209	遠い谷間
T0229	秋の日（遠き人の愛情を歌へる）
T0578	雲（雲よ！遠く沈んでより心をみせるお前よ）
T0737	或る時　１３首
T0806	或る時　５首
T0161	此の時
T0191	負けさうな刻
T0783	此の秋(トキ)　６首
T0808	又或る時　９首
T0528	時々母のゐない子のような気がする
T0182	水音　『何処かで･･･』

T0705	３８首　＜何処となく…＞
T0232	年闌けて
T0294	或る突撃の歌
T0206	或る未明の戦闘（突撃）
T0853	童話　ドッヂ・ボール
M2093	大土堤に上れば
M1914	評論　われらの詩はどのようにすすむべきか
T0496	鳶と私
T0581	泪（仕合せは飛び掠める翼なの）
M2272	無題「７丁目のトーフや…」
T0747	或る友より　７首
T0748	又別の友より　３首
M2249	友
T0318	友（Ｔ．Ｔ．君へ）
T0349	友よ
M2048	「灯」「海に臨む街の夏の夜」ほか
T0460	灯を
T0685	夜の灯　１６句
M2302	覚書　原爆の子友の会（結成会）メモ
M1867B	評論　ども又の死
T0125	囚はれ
T0461	鳥
M2095	無題「咳きあげるとどろどろと凝りかけた…」
T0350	日頃（どん底）
T0203	曇天薄暮
な行	
T0124	名
T0711	＊覚書　近代短歌の流れ
T0155	流れに歌ふ
T0279	渚には
T0131	慰め
T0304	嘆きの聖母（美戸律子曲コラール一篇に附して）
T0327A	シオンを想ひて泣けるヘブレアの歌人に和して
T0351	何故？
T0529	なぜに
T0531	なぜに
T0541	なぜに
T0301	雪崩
M2048	「灯」「海に臨む街の夏の夜」ほか
T0645	夏の女
T0331	夏の朝

T0397	夏の夜
T0812	夏より秋へ　１４首
T0639	見出し　<<夏>>
T0313	懐しき
T0387	夏祭
T0442	夏祭
M1969	夏祭り（魯鈍の街）
M1970	夏祭り
M1971	夏祭り
T0778	金刀羅夏祭り　１９首
M2272	無題「７丁目のトーフや…」
M1948	「自分との別れ」、「何を書こうか」
T0398	走りゆく波
M1966	「泪」「ねらい」「弾」ほか
T0581	泪（仕合せは飛び掠める翼なの）
M1885	覚書　無題「時代の悩みを…」
T0113	一筋の道 ~ 故成瀬軍曹に捧ぐ~
T0638	汝(なれ)に
T0779	南部の家　８首
M2100	無題「手をにぎらうよ…」
T0611	聖き憎しみ
T0355	肉体の上に
M2050	肉体の上に
M1898	覚書　無題「肉体関係を…」
M2037B	無題「逃げて…」
T0627A	詩集　表紙：詩集＜３の附録＞　峠三吉 表題　みつぼし小曲・抒情詩抄『こころの虹』
T0852	童話　虹　－河内夫人の霊に捧ぐ－
T0481	虹
T0628	虹
T0287	からの花　~　西お兄よりもらいし花
M1912	訴え　百合子二周忌記念会と多喜二祭を開こう
T0211	日輪の国
T0525	笑いの花~日鋼事件法廷にて~
T0540	笑いの花～日鋼事件法廷にて～
T0507	怒りのうた（日鋼争議暴圧事件）
T0508A	共闘の誓い～日鋼労働者の妻子に捧ぐ～
T0205	日本は勝つ（山本兵長の記事に感動して）
M2008	無題「日本という言葉が…」
T0680	「ニッポン号」讃歌　８句
T0554	二度目の思慕(おもひ)

T0773	入院前　１２首
T0798	入院追詠　８首
T0820	ニュース映画を観て（１１月１４日）　１０首
T0264	僕の庭
T0416	庭で
T0750	縣病院の庭に行く　１４首
M1901	覚書　人間性の解放
M1915	覚書　『われらの詩の会』の方向と任務
T0484	ネギの根
T0444	臥椅子にて
M2264	希い
M2263	希い　一原爆の図出版によせて
T0375	希い　西條療養所のために～白井氏作曲～
T0422	希ひ
T0244	少女の希い
T0484	ネギの根
M1945	「猫」ほか
T0661	猫
T0412	猫抱いて
T0149	白い寝巻
T0598	眠り
T0449	星を見ながら眠るとき
M1966	「泪」「ねらい」「弾」ほか
T0352	ねらひ
T0378	僕達の力は根を張ってゆく
M2054	僕達の力は根を張ってゆく
M2303	覚書　年賀展準備メモ
T0224	年月
T0145	野にて
T0472	遺す言葉
M1729	覚書　「詩に関するノート」　後半は「権利のための闘争」（イェーリング）覚書
T0262	詩集「古きノートより」（合冊の１）
T0666	俳句　手帳・ノートより　１２３句
T0634	野火
M2051	野火　峠みつよし名
T0077	＊随筆　無題「…伸び上りながら…」
は行	
T0039	評論　新しき道徳目標の把握
M2289	無題「梁の下　埃煙の…」
M1982A	歌詩「軍都廃墟（いくさまちはいきょ）と化して…」

T0671	句集　俳句（２）　MITSYOSI (ママ)
M1933	峠三吉俳句抄
T0026	灰碧の花
T0782	秋に入る頃　８首
T0328	墓穴掘り
M2034	墓穴掘り
M2070	「白衣」「療養所の幻影」
T0002B	白衣
M2073B	白衣(部分)
T0002A	白衣～Ｈ旧軍人療養所にて
T0391	白蛾
T0831	随筆　拍手について
T0203	曇天薄暮
T0160	薄暮
T0787	薄明　６首
M2273	無題「電車通りを渡った...」、「爆裂」ほか
T0398	走りゆく波
T0372	會話～情念は過度でなくては美しくあることができぬ～パスカル
T0479	旗
M1934	裸木
T0580	裸木
T0492	南瓜畑を行きし時
T0809	八月雑詠　１８首
M2317	覚書　アンケート発送者名簿
T0122	はつ夏の少女（ヲトメ）
T0380A	表紙：詩集　鳩時計（HATODOKEI）　みつよし
M1964	夜の波止場　トウゲ名
M2437	＊詩画　「花と乳房で…」峠三吉詩　四国五郎画
T0287	からの花　～　西お兄よりもらいし花
M1975	花に思ふ　Ｍ．ＴＯＧＥ名
T0637	花の眸
T0189	花を手折るときに
T0163	花を入るゝと
T0276	花散れば
T0026	灰碧の花
T0786	硬き花　５首
M1944	小さき花
T0574	小さくておほきな花
T0525	笑いの花~日鋼事件法廷にて~
T0540	笑いの花～日鋼事件法廷にて～
T0319	石蕗の花

T0418	沈丁の花
T0337	風媒の花
M2049	風媒の花
T0573	花陰
M2053A	評論　花咲く広島サロン
M2258	覚書　「小林さんの話」として聞書
M1911	講演草稿　詩の話　　峠三吉名
T0322	花鉢
T0216	花鉢
T0565	花火
T0528	時々母のゐないゝ子のような気がする
M2266	生埋　母と娘、裏面　別人の原稿？
T0298	母
T0570	母が嶺
T0493	川端に涼む若き母親
M2331	覚書　破防法反対対策準備会メモ
M1920	座談会記録　文学運動をどう進めるべきか　一破防法をめぐって
M1880	覚書　「破滅」
T0192	早吉の死（頼雄への頼りに添えて）
T0404	秋の林
T0678	林の秋　２２句
M2289	無題「梁の下　埃煙の…」
T0221	ゆく春
T0629	見出し　<<春>>
T0548	春
T0332	春
T0440	春の唄（小英雄を読みて）
T0458	春の夜の言葉
T0592	春浅い半月の
M1951	蘇へる春
T0338	蘇る春—広島青年文化聯盟の生誕を祝して
M2057	無題「春がくるというのに…」
T0358	春風
T0613	遙かなる空に
T0715	春雨の日　８３首
T0016	小説　ヨハン少年物語（バルバラの恩返し）
M1997	春日
T0325	雪晴れ
T0792	雪晴れ　１１首
M2274	晴れた日
T0751	ハワイ眞珠湾潜入の詳報をきゝて　１０首

M2128	場割り　合唱劇・寸劇場割り
T0393	あさ・ひる・ばん（タカシをよめる）
T0530	夜の反逆
T0592	春浅い半月の
T0141	晩秋茶房譜
M1917	評論　『反戦詩歌集』あとがき
M2331	覚書　破防法反対対策準備会メモ
T0179	—或る苦しき日に　六編
T0310	み栖の日
T0676	アル日のうた　２６句
T0178	メシ（苦しき日に）
T0307	或る日
T0726	或る日のひと　１３首
T0524	雨の日に
T0229	秋の日（遠き人の愛情を歌へる）
T0715	春雨の日　８３首
T0385	暑い日
M2274	晴れた日
T0693	雪の日に　２８句
T0384	美しい日は去る
T0681	火の星　６句
T0166	燐寸の火
T0583	美と美は
M1863	評論　美の解放
T0490	ピアノ
T0227	稚き歌（卓上ピアノに添えて）
T0326	追憶の美果
T0180	横ざまの陽かげの中に~雨之助先生の為に~
M2438	＊詩画　「ピカドンで死んだトウチャン」峠三吉詩　四国五郎画
T0438	ひかり
T0589	悲劇
T0445	心の風景　（１）飛行機（２）潜航艇
M1983	無題「飛行機が広島の…」
T0350	日頃（どん底）
T0765	＊覚書　投稿時筆名
M1895	覚書　詩作に必要なもの
T0117	＊短歌：紫なせる（ある人に）
T0143	その人～聖画に題して
T0754B	或る人の病ひ篤しと聞きて　１７首
T0726	或る日のひと　１３首
T0320	秋の人

T0753	人を送りて　２０首
T0113	一筋の道 ~ 故成瀬軍曹に捧ぐ~
M1990	無題「汚い服の人達は…」
T0341	先駆者　Ｈ・Ｙ・Ｃ・Ａの人々に
T0637	花の眸
T0593	瞳
T0466	灯ともし頃
T0724	ひとり　２２首
T0745	喫茶店に一人行きて　２０首
M2042C	無題「ああ一人だ…」
T0582	雛鷲
M2290	覚書　正田篠枝の生い立ち・被爆・体験記他
T0031	覚書　被爆状況の聞書
T0015	台本　シュプレヒコール　リベットの響き
T0646	向日葵
T0184	美しき時（青春）の秘密
T0025	秘め言
T0456B	ひめごと
T0102	比喩
M1859	主張　広島に於けるヒューマニズム運動
M1873	評論　詩に於けるヒューマニズム運動
M1913	組合雑誌評
T0760	住吉橋病院にて　９首
T0207	梅雨曇りの朝ー病院にてー
T0774	病院にて　１１首
M2111	無題「誰も知らぬ病院の…」　裏面無題「私は枕の横に…」
T0151	病臥しつつ
T0533	父の病気
M1994	無題数点「あゝ氷山か南へ流れ…」ほか
T0363	秋二題　（表紙のポスターのために）
T0827	或る病友　１０首
M1868	評論　「高原」　木川氏の評論について
M1906	評論　詩誌評論
S0009	「Album に寄せて」ー平岡嬢へー
T0393	あさ・ひる・ばん（タカシをよめる）
T0401	無題「ヒルムのように・・・」
M2278	一九五一年のヒロシマ（その１）
M1859	主張　広島に於けるヒューマニズム運動
T0836	随筆　二十年後のヒロシマ
T0010	宣言　広島平和大会宣言草稿
M1904	評論　ヒロシマレポート　山下良夫名

M2053A	評論　花咲く広島サロン
M1983	無題「飛行機が広島の…」
M1855	評論　広島歌壇評
M1862	評論　広島詩壇の歴史
T0841	随筆　新時代への苦悩　広島青年文化連盟
T0338	蘇る春—広島青年文化聯盟の生誕を祝して
M1871	評論　「広船」職場便り原稿
T0603	わが故郷（フルサト）の曠野（ヒロノ）は
T0403	瀕死の金魚
T0193	春夜の賦
T0130	潮（ウシオ）と浮標（ブイ）と
M2102	無題「僕は歯科医の…」、「或る静かな…」「風化してゐた…」
M1991	愛の風景
M2267	河のある風景
M2268	河のある風景
T0005	丘のある風景
T0253	色彩風景
T0501	色彩風景~交通警官に~
T0445	心の風景　（1）飛行機（2）潜航艇
M2015	無題「美しい風景は…」
M2103	封殺の季節
T0811	サイパン島の婦女子自決　１６首
T0337	風媒の花
M2049	風媒の花
T0271	銀の笛
T0272	笛
M2061	童話　万三郎の笛
M1990	無題「汚い服の人達は…」
M2072	プークに捧ぐる詩
T0536	プークに捧ぐる詩
T0537	劇団プークに捧ぐる詩
M2105	復員列車 MEMO　Mitsuyoshi 名
T0601	復讐の頌
T0190	結核恢復者（複十字人）
T0824	富士　２２首
M2246	３．負傷者収容所
M2287	C. 負傷者収容所
M2260	ある婦人え
T0012	ある婦人え
M2261	或る婦人へ
M2079B	無題「再び浮かぶ顔がある…」

T0421	二つの草花
T0308	二人の姉
M2002	小説「二人は結婚…」
T0219	幼い二人
T0769	復活祭に寄せて　６首
M2006	「復活節に寄せて」ほか
T0727	葡萄畑など　３０首
T0624	舷にて
T0135	心の船
T0625	船にて
M1867	評論　芸術に於ける普遍性の問題
T0657	見出し　<<冬>>
T0789	冬至る　５首
M2300	覚書　平和運動プラン
T0855	＊覚書　フランス文学者名列挙
T0532	無題「雨が降る…」
T0262	詩集「古きノートより」（合冊の１）
T0603	わが故郷の曠野は
M1949	ブローチ
M1942	プロテスタントとカトリシズム
T0340	プロテスタントとカトリシズムの交響
T0829A	随想集　「文苑」（評論・随筆）　峠三吉
M1908	評論　わかば文化サークル
M1864	評論　青年と文化
M1889	覚書　「人民文学」２月号予告
M1928	覚書　政治と文学についての討論会まとめ
M1921	覚書　戦争と文学
M1920	座談会記録　文学運動をどう進めるべきか　－破防法をめぐって
T0855	＊覚書　フランス文学者名列挙
T0517	文化の日の歌
T0261A	詩集：つる草文集　みつぼしの署名 「古きノートより」と「詩集（主として小曲）　峠みつよし」を合冊
T0035	台本　詩劇　憤怒　構成プラン
T0607	或るベアトリッチェ
T0245	平和の歌（懸賞応募）
T0246	平和の歌２
M2300	覚書　平和運動プラン
M2053B	随想　平和記念聖堂に関する原稿（部分）
T0032	覚書　８．６平和行進に向けてのメモ
T0082	＊覚書　平和祭

M2296	宣言　「平和宣言」（草稿）
M2297	「宣言」　平和大会宣言文案
T0010	宣言　広島平和大会宣言草稿
M2269	山口県平和擁護委員会結成大会の記録　裏面メモ
T0748	又別の友より　３首
T0477	別離
T0664	紅椿
T0704A	歌集　短歌　Mitsyosi　紅鶴(BENIZURU)　みつよし
T0327A	シオンを想ひて泣けるヘブレアの歌人に和して
M2276	序曲（曲ったペン）
T0597	変革
T0489	勉強
T0506	金婚式（頼雄の編曲のために）
T0256	金婚式（頼雄の編曲のために）
T0507	怒りのうた（日鋼争議暴圧事件）
M1915	覚書　『われらの詩の会』の方向と任務
M1905	評論　方向について
T0150	方向
T0263	白い外套（奉秋の夜に）
T0139	宝石
T0525	笑いの花~日鋼事件法廷にて~
T0540	笑いの花～日鋼事件法廷にて～
T0846	覚書　創作方法
M1856	覚書　方法論
M1947	「抱擁」ほか
T0330	抱擁（或る種の(KYOSANJINEI N O)青年達に）
T0264	僕の庭
M2102	無題「僕は歯科医の…」、「或る静かな…」「風化してゐた…」
M2124	合唱劇　僕たちの恋　峠三吉・詩
M2123	台本　合唱劇　僕たちの恋
T0378	僕達の力は根を張ってゆく
M2054	僕達の力は根を張ってゆく
T0858	小説　墓参
T0681	火の星　６句
T0347	小さき星
M1965	小さき星
T0648	星
T0730	星の夜　２５首
T0653	星はみどりに
M1976A	星はみどりに　峠三吉・作　水戸嘉子・作曲
T0449	星を見ながら眠るとき

T0389	青い星
T0185B	星かげ
M2064A	列車暮唱
T0363	秋二題　（表紙のポスターのために）
T0409	春雪の夜（ポストへと或る便りを）
M1861	評論　講演草稿（伝道の母体としての…）
T0383	ホタル
M1974A	背中・ボタン
T0632	牧歌
T0436	青い焔のやうに
T0621	怒りの焔
M2250	墓標
T0424	ほゝえみ
T0315	ほゝえみ
T0755	宇品保養園にて　１６首
T0328	墓穴掘り
M2034	墓穴掘り
T0691	盆の夜　２０１句
T0439	おとうと（スティーブンソン・ほんあん）
T0392	ぼんがん靴
M1882	覚書　本当のものを知る気持ち
T0173	それはほんの他愛のない
ま行	
T0819	昧爽　７首
M2276	序曲（曲ったペン）
M2111	無題「誰も知らぬ病院の…」　裏面無題「私は枕の横に…」
T0191	負けさうな刻
T0480	まこと
T0614	まことの愛
T0236	眞事の愛
T0451	眞白なる壺
M1919	書評　『風の子物語』増岡敏和生活詩集
T0120	貧しき児
T0808	又或る時　９首
T0748	又別の友より　３首
M2048	「灯」「海に臨む街の夏の夜」ほか
T0407	街
M1969	夏祭り（魯鈍の街）
T0810	街にて　４首
M2078	呉の街にて
M2079A	呉の街にて

T0164	街角の陰
T0166	燐寸の火
M1969	夏祭り（魯鈍の街）
M1970	夏祭り
M1971	夏祭り
M1989	熊まつり
M1972	祭
T0519	住吉祭り
T0181	残照（まどゐの療友達へ）
T0230	惑ひ
M1938	無題「あゝ学舎もこの業も…」
T0116	そのまぶた
T0402	瞼の裏の印象
M2254	丸木位里・赤松俊子原爆の図に寄せて
T0790	万華鏡　４首
M2061	童話　万三郎の笛
T0673	曼珠沙華　３４句
T0719	桜の実　抒情　１６首
T0723	三日月の夜更け　３首
T0743	未完成交響■を観て　７首
T0225	岬
T0473	岬の家
T0171	湖
M1963B	湖
T0009	湖
T0182	水音　『何処かで･･･』
T0310	み楯の日
T0695	九つの眞珠のみたま　１３句
T0563	暗い路
T0113	一筋の道 ~ 故成瀬軍曹に捧ぐ~
T0450	朝の徑にて
T0239	道
M1916	評論　無題「かくて道は…」
T0478	水禽（みづどり）
T0627A	詩集　表紙：詩集＜３の附録＞　峠三吉 表題　みつぼし小曲・抒情詩抄『こころの虹』
T0653	星はみどりに
M1976A	星はみどりに　峠三吉・作　水戸嘉子・作曲
T0429	みどりいろの夢
T0304	嘆きの聖母（美戸律子曲コラール一篇に附して）
T0212	みどりなす

M2271	無題「見なければならない…」ほか
T0834	随筆　港にて
M1939	無題「南の風が湿りを…」
M1994	無題数点「あゝ氷山か南へ流れ…」ほか
T0570	母が嶺
M1715	句集「蓑虫」第二輯（３２３句）
T0642	瞠く心
T0206	或る未明の戦闘（突撃）
M1909B	評論　「われらの詩の会宮内支部」について
T0822	妙蓮寺にて　８首
T0379	未来
T0845	覚書　民主主義藝術論
T0522	みんなの歌
T0499	＊引用：コサック古代民謡より
T0793	無為の心　６首
M1897	宣言　八月六日を迎ふるに当りて
T0850	童話　百足競争
T0329	無関心
T0590	無極の赦し
T0301B	無題「われ無限へ…」
T0535	無題「むこうの…」
M2266	生埋　母と娘、裏面　別人の原稿？
T0851	童話　お爺さんと娘
M2035A	無題「煙り咽ぶ遠い…」
T0446	無題
T0453	無題
T0690	無題　１４８句
M1888	無題　判読不能　裏面和歌
T0447	夢魔
M2044	こゝろの村
T0117	＊短歌：紫なせる（ある人に）
T0252	たかきものは群れ輝いて
T0170	眼
M2108	修学旅行　十一才の姪のために
M1877	覚書　無題「人民を離れて名作なし…」
T0414	瞑想
T0728	七月二十八日祖母命日　７首
M2317	覚書　アンケート発送者名簿
T0568	めざめ
T0362	めざめ
M1962	めざめ

M1963A	めざめ
T0008	めざめ
T0569	眼覚め
T0746	２５首<飯止めて…>
T0178	メシ（苦しき日に）
T0599	盲ひた獣が
T0840	宣言　メーデーに送るメッセージ
T0839	宣言　吉田内閣打倒国民大会へ送るメッセージ
T0132	滅亡
T0840	宣言　メーデーに送るメッセージ
T0147	盲目の児と瑪瑙の塔
T0804	目張り　７首
T0147	盲目の児と瑪瑙の塔
T0830	目次
T0682	夜の木馬　３句
M1894	覚書　無題「創作のモチーフとなる…」
T0159	求め
T0188	求め
T0036	求めあえなく
M2259B	求めようとする心のために
T0348	棺の釘を打つ者
T0584	小さき者
T0126	ヴィンの森の物語ー或る人の夢に和してー
M1919	書評　『風の子物語』増岡敏和生活詩集
T0016	小説　ヨハン少年物語（バルバラの恩返し）
M2065	無題「もはや詩に戯れる事を…」
T0126	ヴィンの森の物語ー或る人の夢に和してー
T0408	森
M2357	＊覚書　『原子雲の下より』に現れた問題
M1925	訴え　共通の問題点
や行	
M2045	「恋人」、「黒い屍」、「焼跡」ほか
T0780	夜汐　１２首
T0754B	或る人の病ひ篤しと聞きて　１７首
T0605	病ひ
T0425	病ひ篤き時の或る心象
T0775	病ひ良き折　１１首
M2269	山口県平和擁護委員会結成大会の記録　裏面メモ
T0702	山口司令搭乗我が航空母艦　２０句
M2058	同志山本均に贈るの詩
T0205	日本は勝つ（山本兵長の記事に感動して）

M1959	無題「四辺の山々に…」
T0708	１５５首　＜樹の闇に…＞
T0240	霧闇
M2062	２首＜病む身ひとり…＞
T0432	夕方
M2284	死ー全ての理想と勇気を失った夜にー
T0566	ゆふぐれへの手紙
T0761	或る夕ぐれに　７首
T0040	随筆　夕ぐれの感想
T0103	夕ぐれ（映像）
T0111	夕ぐれは
T0552	夕ぐれは
T0616	夕暮に
T0720	夕暮の数景　１９首
T0138	勇者
T0390	ゆふべ
M2084	大橋の夕べ
T0277	夕焼け
T0365	雪
T0366	雪
T0367	雪
T0693	雪の日に　２８句
T0325	雪晴れ
T0792	雪晴れ　１１首
T0410	雪解
T0617	雪野（ユキノ）
T0221	ゆく春
T0837	随筆　青年運動の行く道
T0006	患者輸送車にて
T0003	急患輸送車にて
T0112	ゆたかな寂しさの
T0344	由美子と火事
M2088	由美子と火事　峠みつぼし名
T0429	みどりいろの夢
T0126	ヴィンの森の物語ー或る人の夢に和してー
T0739	最後の夢　４４首
M2040A	三郎君の見た夢
T0796	蒼き夢　４首
T0660	夢
T0518	夢
T0158	夢いまだ

M2110	童話　シャボン玉とユリの心
T0018	童話　シャボン玉とユリの心
M1912	訴え　百合子二周忌記念会と多喜二祭を開こう
T0590	無極の赦し
T0696	おぼろ夜　２７句
T0797	飛鳥の代　６首
T0630	宵
T0394	無題「よいあさであった・・・」
T0644	宵路
T0559	揚棄（宣戦）
T0431	洋紅の詩
T0775	病ひ良き折　１１首
T0180	横ざまの陽かげの中に~雨之助先生の為に~
T0828	戦ひ（５．２９横浜大空襲）
T0839	宣言　吉田内閣打倒国民大会へ送るメッセージ
T0622	子よ四つ手網を
T0016	小説　ヨハン少年物語（バルバラの恩返し）
M1926	訴え　呼びかけ
T0723	三日月の夜更け　３首
M1951	蘇へる春
T0338	蘇る春―広島青年文化聯盟の生誕を祝して
T0838	随筆　青年よ蘇れ
T0506	金婚式（頼雄の編曲のために）
T0256	金婚式（頼雄の編曲のために）
T0192	早吉の死（頼雄への頼りに添えて）
M2048	「灯」「海に臨む街の夏の夜」ほか
T0013	ある夜のコンサート
T0683	あをいよる　１１句
T0741	その夜　７首
T0415	或る夜の私・Ｑ氏
T0397	夏の夜
T0763	寒の夜　６首
M2109A	修学旅行の夜に
T0458	春の夜の言葉
T0409	春雪の夜（ポストへと或る便りを）
T0691	盆の夜　２０１句
T0730	星の夜　２５首
M2262	夜
T0685	夜の灯　１６句
M1964	夜の波止場　トウゲ名
T0530	夜の反逆

T0682	夜の木馬　３句
T0738	夜を送りて　１０首
T0321	驚きと歓びと
T0314	神のよろこび
T0742	心弱き折　２０首
ら行	
M1719	覚書　「落書（３）」（抄録帳）峠光芳
T0586	落差
T0538	無題「すでに落日は…」
T0521	ラヂオのあかり
T0579	少女裸像
T0153	らっきょうに寄せて
M2284	死ー全ての理想と勇気を失った夜にー
T0346	離脱
M1958	離脱
T0015	台本　シュプレヒコール　リベットの響き
T0198	領域
T0324	故郷良夜
T0359	故郷良夜
M1946	良夜
T0181	残照（まどゐの療友達へ）
M2070	「白衣」「療養所の幻影」
T0002A	白衣～旧軍人療養所にて
T0427	リリィ島では（小唄風に）
T0345	リルケに捧ぐ
T0602	累戦
T0339	流刑
T0455	永遠の座~故谷山巖君の霊に捧ぐ~
T0852	童話　虹　ー河内夫人の霊に捧ぐー
T0021	愛の黎明
T0376	愛の黎明
M2063	黎明
M1862	評論　広島詩壇の歴史
T0475	歴史
M2288	Ⅱ．歴史　峠三吉名
M2105	復員列車 MEMO　Mitsuyoshi 名
M2064A	列車暮唱
M1904	評論　ヒロシマレポート　山下良夫名
M1869	評論　恋愛と結婚について
T0235	幸連祷
T0109	聾唖学校に移譲せられたる旧校舎の講堂に寄せて

T0557	老人
T0495	中年の労働者
T0706	２０３首　＜六尺の天地…＞
T0612	念珠（ロザリオ）
M1969	夏祭り（魯鈍の街）
わ行	
T0603	わが故郷（フルサト）の曠野（ヒロノ）は
T0687	わがうたよ　４５句
T0454	わが愛するもの
T0423	わが季節のＩｍａｇｅ（イメージ）
T0591	わが心の陰を
T0643	わが想ひ
T0799	わが大君　１１首
M2066	無題「わが想ひ咲きゆくなべに...」ほか断片
T0493	川端に涼む若き母親
T0360	若樹
M2041	無題「さわさわと桜若木に…」
T0504	わか葉
T0255	わか葉
M1908	評論　わかば文化サークル
M2047	童話「稚彦様」プロット
T0297	我が家
M1948	「自分との別れ」、「何を書こうか」
T0551	別れは
M2001	別れていったもの
T0662	いかで忘れむ
T0415	或る夜の私・Ｑ氏
T0280	私
T0497	私の世界
T0496	鳶と私
M1995	無題「あゝ私にこんな幸福が…」
M2104B	無題「それは私が…」
M1986	無題「今私は東京を…」
M2111	無題「誰も知らぬ病院の…」　裏面無題「私は枕の横に…」
M2257	無題「国内のわたしたちが…」
M2273	無題「電車通りを渡った...」、「爆裂」ほか
T0525	笑いの花~日鋼事件法廷にて~
T0540	笑いの花～日鋼事件法廷にて～
M2409	＊原爆詩画展割付メモ　自筆　一部　詩文を含む
T0301B	無題「われ無限へ…」
T0334	あゝ我に

M2119	評論　「〈我は海の子〉をよまされて」作品模写・感想
T0508B	無題「われらは愚か者だから…」
M1878	覚書　『われらの詩』　西條の意見
M1890	覚書　『われらの詩』作品合評
M1909B	評論　「われらの詩の会宮内支部」について
M1914	評論　われらの詩はどのようにすすむべきか
M1892	覚書　「われらの詩の会」定例会内容
M1915	覚書　『われらの詩の会』の方向と任務
英数字	
M1910	評論　無題「…一九二九年…」
M2379	＊覚書　『原子雲の下より』青木文庫用序文（「１９４５年…」）
M2270	一九五〇・八・六
M2298	一九五〇年の八月六日
M2278	一九五一年のヒロシマ（その１）
T0836	随筆　二十年後のヒロシマ
T0728	七月二十八日祖母命日　７首
T0014	台本　シュプレヒコール　人民解放の歌　（８．１５解放記念日のために）
M2052	八・三■■サーカスにて
T0032	覚書　８．６平和行進に向けてのメモ
T0619	八月十五日
M2298	一九五〇年の八月六日
M1896	宣言　八月六日を迎ふるに当りて
M2277	八月六日　峠三吉名
T0674	九月のサナトリウムにて　３７句
T0695	九つの眞珠のみたま　１３句
S0009	「Album に寄せて」－平岡嬢へ－
T0704A	歌集　短歌　Mitsyosi　紅鶴（BENIZURU）　みつよし
T0500A	詩集　ＢＵＩＣＫ
M1718	覚書　「ｆａｉｔｈ」　キリスト教に関する文章
T0002A	白衣～H旧軍人療養所にて
T0380A	表紙：詩集　鳩時計（HATODOKEI）　みつよし
T0341	先駆者　Ｈ・Ｙ・Ｃ・Ａの人々に
T0423	わが季節のＩｍａｇｅ（イメージ）
T0356	（Kへの手紙に）
T0596	暗く寂しく（K．T．に寄す）
T0665A	句集　俳句「饗宴（KYOUEN）」　みつよし
T0330	抱擁（或る種の（KYOSANJINEINO）青年達に）
T0019	詩集　Lyrical Ballads (Mitsuyoshi Toge)
T0844A	ノート　memo Mitsuyoshi

M2105	復員列車MEMO　Mitsuyoshi 名
T0697	Nの応召を送る　２７句
M1723	覚書　OBOEGAKI
T0415	或る夜の私・Q氏
T0318	友（T．T．君へ)
T0832	随筆　V青年に
T0527	ＷＡＮＡ

附録

<研究ノート>

峠三吉自筆草稿画像目録*

松尾　雅嗣

広島大学平和科学研究センター

<Research Note>

A Directory of Electronic Images of Hand-written Manuscripts of Sankichi Toge

Masatsugu MATSUO

Institute for Peace Science, Hiroshima University

* 初出：『広島平和科学』（*Hiroshima Peace Science*）（ISSN0386-3565）28 (2006), pp. 45-62

SUMMARY

Most of the known historical material of Sankichi Toge, the atomic bomb poet, is in the custody either of the Central Municipal Library of Hiroshima city or of Mr. Takashi Toge. When one tries to examine the material personally, however, the access to it is difficult, if not impossible. Electronic images of the material are one of the ways to make this access much easier. Fortunately, all the above material has already been microfilmed, and, for this purpose, we have converted most of the films into electronic images. In addition, we have also created electronic images of the material not microfilmed so far. At the same time, we have compiled and published a comprehensive directory of the Toge material. The present paper is a report of our attempt at linking the two data in the form of an electronic mage directory. At present, the electronic image directory contains only Toge's hand-written manuscripts of literary works and essays.

This paper describes how the directory is prepared, which difficulties and problems are met, and sometimes solved, in the process of preparation, what are its nature and structure, and how the directory can be used. It also provides some examples of images in the directory as illustration.

Though the directory described here is not a finished one, it is hoped that it can make the access to the original material much easier, and thus contribute to further understanding of Toge's works.

はじめに

現在確認されている峠三吉関係の資料の大半は、広島市立中央図書館と峠鷹志氏によって所蔵されている。広島市立中央図書館所蔵分（以下、中央図書館資料と略称）と峠鷹志氏所蔵分（以下、東京資料と略称）は、いずれもほぼ全点マイクロフィルム化され、広島市立中央図書館に保管されている。確認された資料は、言うまでもなくこれに限らない。例えば、広島文学資料保全の会が保管する資料などもその例である。

２００４年に『峠三吉資料目録』（松尾雅嗣・池田正彦（編）、広島大学平和科学研究センター研究報告３２、以下「資料目録」と略称）として刊行した目録は、中央図書館資料と東京資料を合わせ、さらに追加資料を加えた既存全資料の統一的目録である[1)]。未確認資料存在の可能性は到底否定できないとしても、現在これが最も網羅的な目録である。

この目録は二次情報であり、飽くまで資料の種類と存在とを示すものに過ぎない。研究者、関心のある人々にとって真に有用なのは、資料そのもの、即ち一次情報である。確かに、峠三吉の作品については、峠自身が編んだ『原爆詩集』（峠三吉著　青木書店、昭和２７年）、『にんげんをかえせ・峠三吉全詩集』（且原純夫解説　風土社、昭和４５年）、『峠三吉作品集　上・下』（増岡敏和解説　青木書店、昭和５０年）などが刊行されている。また他の資料についても、評伝『八月の詩人』（増岡敏和著　東邦出版社、昭和４５年）をはじめ、上記作品集から作品、日記、随筆、覚書などの一端を窺うことができる。しかしながら、いずれもページ数などの制約から部分的な紹介にとどまり、原資料について十分な情報を与えるものではない。ましてや、これら原資料へのアクセスは必ずしも容易ではなく、峠三吉とその時代の研究にとって大きな隘路となってきたことは否めない。

原資料を電子画像化し、提供することの意味はここにある。直接に原資料を検討することができればそれに越したことはないが、現実にはさまざまな障害が存在する。それを克服するひとつの方法が資料を電子画像として提供することである。原資料をデジタル画像化し、これをＣＤあるいはＤＶＤといった

媒体によって提供するという方法である。勿論、電子画像といえども、後述のように画像の精粗や鮮明度によっては、最終的に原資料に拠らなければ内容を確定できないことも少なくはない。しかし、この方法により、原資料へのアクセスの問題は格段に改善できるはずである。資料のデジタル化のメリット、特に峠三吉研究にもたらす新たな可能性については既に他の箇所で触れたので[2)]、ここでは取り立てて論じない。

電子媒体ではないが、昭和２０年８月６日直後の峠三吉の日記の写真画像を冊子体（池田正彦・松尾雅嗣（編）、『峠三吉被爆日記』、広島大学ひろしま平和科学コンソーシアム）で刊行したのは、電子画像を以って原資料に代える試みのひとつである[3)]。しかしながら、日記の一部のような少数の資料であればいざ知らず、数千に及ぶ画像を印刷物として刊行することは不可能ではないとしても実現困難であり、現実的な方法としては電子媒体として利用するほかない。しかも、電子媒体で利用するとしても、ＣＤ数枚に格納された画像ファイルの中から探し出すことは相当の時間と労力を要する。利用の便を向上させるためには、何らかの方法で直ちに画像を検索できる形にする必要がある。

この目的のために、上述の資料目録から原資料の画像を迅速かつ容易に呼び出せる形にしたのがここで紹介する画像目録である。

１　資料と収録範囲

現在、中央図書館資料については、マイクロフィルムに撮影されている、峠差出、峠宛の書簡類、峠自筆の日記、草稿、ノートなど峠の生涯と作品に密接な関わりをもつ資料を中心に、中央図書館所蔵の詩集『原子雲の下より』の現存する応募原稿も合わせ、電子画像化が終わっている。但し、フィルムが欠落した資料がごくわずかながらある。また、マイクロフィルムに撮影されていない好村富士彦氏寄贈資料などは、スキャナーを利用してデジタル画像化した。東京資料については、そのすべてをマイクロフィルム画像からデジタル化した。その他の資料についても、広島文学資料保全の会保管の詩誌『われらの誌』全号、『反戦詩歌集』１、２、坂田（旧姓平岡）和子氏寄贈資料などをデジタル画

像として記録した。このように現在知られている峠三吉関係の資料については、電子画像化の作業はほぼ終わっていると言ってよい。

今回作成した自筆草稿画像目録は、電子画像化した中央図書館資料、東京資料、その他の資料のうち、峠三吉自筆の作品草稿の目録と画像を一体化したものである。具体的には、詩、小説、童話、短歌、俳句、劇作台本、シナリオ、評論、主張の草稿を収録した。檄文、アピールの草稿も含む。また、作品と必ずしも直接のかかわりはないが覚書・メモの類も基本的に収録した。他方で、習字、絵画の類は、除外した。また、自筆のものとはいえ、日記、書簡類は原則として収録対象から除外した。これは現在無条件に公開できないものが含まれるからである。

この画像付き目録の収録対象は、「資料目録」所収の資料のうち、１　自筆草稿類の（１）詩、（２）小説・童話、（３）短歌・俳句、（４）評論・主張、（５）台本・シナリオ類に記録された資料である。但し、「資料目録」の誤りの訂正があるので、若干の異同がある。

2　目録の形式と構成

本画像目録の形式、構成及び内容は、若干の修正と変更はあるが基本的には上記「資料目録」を踏襲する。資料の分類、配列等はすべて「資料目録」に従っている[4)]。誤解を恐れずに言えば、本画像目録は、「資料目録」の個々の資料にその電子画像を対応させたものである。　例えば、本目録の冒頭「（１）詩」の先頭部分は次のようになっている、

資料番号	資料名	日付	備考
M1934	裸木	不明	鉛筆書　Ａ５ザラ紙１枚　署名
M1935A	そよ風	不明	鉛筆書　Ａ５ザラ紙１枚
M1937	懸命に立っている 裏面　「生まれて…」	不明	ペン書　薬包紙１枚
M1709B	＊詩集「潮鳴り」	11～12 晩春	M1709 所収

「資料目録」との違いは二つある。第一は、目録の太字（ボールド体）で示された資料番号がハイパーリンクになっており、任意の資料番号をクリックす

れば、詳細については次節で述べるが、当該資料の画像が表示されることである。例えば、上掲目次の資料番号 **M1935A** をクリックすれば、画像（末尾の画像例１）が表示される。

第二は、冊子体の目録とは異なり、作品名、草稿表題が判れば、比較的容易に検索が可能である。これに関しては、将来的には、表題のみならず、草稿の冒頭の数文字ないし一節を抜き出してアイウエオ順などに配列した索引を用意することも考えなければなるまい。

3　電子画像の作成の詳細と処理上の問題

ここでは、目録の電子画像使用の前提としてまず電子画像作成の詳細とその際遭遇した問題について述べておく。

目録に収録した電子画像は、Acrobat の PDF 形式で作成されている。作成の手順は大略以下のとおりである。まず、フィルムの画像をひとコマごとに TIF 形式のファイルに変換する。次いで、元のフィルム画像の不要な余白のトリミング、画像の回転などの編集作業を必要に応じ行う。元の画像は、フィルムのリール番号とコマ番号がファイル名として与えられているだけであり、資料との対応をつける必要があるので、TIF のファイル名を「資料目録」の資料番号に変換する。一件の資料が複数画像から成る場合は、資料番号に枝番を付して区別する。他方、フィルムのないものは、スキャナーを利用し、直接 TIF 形式の画像とする。ファイル名は同様の方式で与える。一度書かれた原稿などの上に、付箋を貼り付けて追記、修正などを施した資料もある。この場合は、付箋を付けた状態と付箋を裏返した元の状態それぞれを示す二つの画像を作成した（資料番号 T0040 の一部など）。

この後、TIF 形式の画像を PDF 形式に変換し、複数画像から成る資料は連結してひとつの PDF ファイルとする。上述のように大半がマイクロフィルム画像から作成されたので、目録に収めた電子画像も若干の例外を除きすべてモノクロである。

今回提供する画像には、原資料、元のフィルム画像、作成手順に起因するいくつかの難点が残っている。

第一に、フィルム画像が極めて不鮮明で、次頁の画像例２に示すように、記された文字の判読が困難なものも少なくない。このため、同じ頁や用箋が二度撮影された資料もある。この場合には、画像を取捨することなく両方を電子画像として示した（M1719, M1720 など)。文字の判読困難は、自筆草稿の用紙の変色、特に黒化、ペン書き文字、特に黒以外のペン書き資料の退色などが主な理由である。また、用紙の裏表に記された草稿には、裏面の文字が移ったため、程度の差はあるが読みにくくなったものもある。上掲の画像１は、判読の障害にはなるとも思えないがこの一例である。この種の資料については将来原資料を再度撮影することも考慮しなければなるまい。

第二に、使用された用紙は、個々の資料、具体的には草稿（以下は草稿と覚しき断片も含むものとする）と必ずしも境界が一致するわけではない。一枚の用紙に複数の草稿が記されることもあれば、一編の詩が複数の用紙に部分的に記されることもある。具体的には、次のような事例が頻繁に見られる。

（１）　「詩集」などと題されたノートの場合、一編の詩が頁の途中から始まり、それ以降の頁の途中で終り、また次の草稿が始まる例。画像例４はその例である。

（２）　おそらくは戦後の物資不足、特に用紙不足によるものと推察されるが、綴りになっていない用紙一枚を使用する場合にも、一編の草稿を記した後、余白があれば別の草稿が記されている例。（画像例３）また、画像例４の最初の左頁の下段に記された「夏祭」（資料番号　T0387）もその一例である。極端な場合、用紙の上下あるいは左右を回転させてあるいは斜めに回転させて記されることもある。また、一綴の用紙についても、用紙の左右と上下使用が混在している例もある（資料番号　T0016　「小説　ヨハン少年物語（バルバラの恩返し）草稿」、M1719「覚書　「落書（３）」（抄録帳）峠光芳」のＰＤＦ２頁目など)。このような画像を見るときには、資料ごとに、場合によっては見開き頁ごとに、PDF 画像を利用者が回転させて見る必要が生ずる。

上記（１)、（２）の場合、些か煩雑冗長ではあるが、当該資料を特定する目的で、当該資料を赤枠で囲って示してある。画像例４には、当該資料が２ページにわたる例を示す。

物資不足、とりわけ用紙不足の影響であろうか、ビラ、反古などの裏面に記された草稿も相当数に上る。この場合、本来は用紙の裏面であったものを草稿の表と解し、本来の表を裏面として扱った。このように利用されたビラなどは作品の理解には直接の関わりはないが、峠の創作活動の一端を窺うよすがともなることから、目録部分に「・・・の裏面使用」と明記し、画像としても草稿部分の後ろに付け加えた。画像例５がその例である。PDF ファイルの最初の頁は資料番号 M1958 「詩　離脱」である。この詩は「日英豪交歓音楽会会員券」の裏面に記されたものである。PDF の２頁目には、本来の表である会員権を示す。

４　画像付き目録と使用方法

本目録は差し当たり電子媒体で提供の予定である。また、インターネットでも公開予定である。提供に当たっては、当然のことながら、研究目的以外には使用しないこと、目録利用による成果を公表する場合は、原資料所蔵者と目録作成者を明記すること、そのままの形であれかこうした形であれ、第三者に譲渡・提供しないことが条件となる。

本目録はＣＤで提供する。ＯＳは Windows XP である。ＣＤでも利用可能であるが、ハードディスクに適当なフォルダーを作成してＣＤの内容をすべてそのフォルダーにコピーしておいたほうがはるかに使い勝手がよい。必要メモリは約６００ＭＢである。

本目録に収録された資料はすべて Acrobat の PDF ファイルとして提供される。従って、本目録の使用には Acrobat Reader が必要である。

具体的使用の手順は以下のとおりである。

（１）　目録本体（「峠三吉自筆草稿」という名のファイル）を開く

（2） 目録を先頭から順次見る場合は別にして、詩、短歌などのカテゴリを利用するか、作品名（の一部）を利用して検索する。(この検索は、目録本体内の文字列についてのみ可能であり、画像に含まれる文字列を対象とするものではない)。

（3） 資料に付された資料番号をクリックすれば、画像が表示される。複数画像からなる資料は、ひとつの PDF ファイルとして連結されているので、Acrobat Reader の機能を使い任意の順で表示できる。Acrobat Reader は利用者にとって最適の拡大率で画像を表示するとは限らないので、表示された画像は拡大・縮小する必要がある。画像の拡大、縮小、回転なども同様に Acrobat Reader の機能を利用する。Acrobat の標準版を利用する場合、利用者の行った変更がそのまま記録されることもある。

（4） 任意の資料の画像を見終わった時には、目録本体に戻る。以後、必要に応じ、上記（2）～（3）を繰り返す。

5 結び：課題と展望

ここに紹介した峠三吉自筆草稿の画像目録は決して完全なものではない。現在知られる資料を網羅しているとしても、自筆草稿のすべてを網羅するという保証はない。さらに所収の資料の画像についても、原資料自体の劣化、フィルム撮影の問題、電子化過程の問題など多くの問題が残されている。原資料に当たらなければどうしようもない場合も少なくない。にもかかわらず、この種の資料画像が、資料へのアクセスを容易にし、峠三吉の作品を理解するきわめて有用なツールとなることは否定できないと思われる。

本稿で述べた画像目録は峠三吉の自筆草稿のみを対象とする。日記、書簡等も含む峠三吉関連資料の網羅的な画像目録、少なくとも峠の自筆資料の網羅的な画像付目録が望ましいことは明かである。将来的には、この自筆草稿画像目録を拡張して、自筆資料あるいは関連資料全体の画像目録を作成することを計画している。そしてその準備も遅々としてではあるが、整えつつある。しかしながら、いくつかの権利に関わる問題があり、現段階ではすべての資料を無条件

に公開できるものではない。差し当たり公開の範囲は、自筆草稿とし、媒体は、ＣＤとウェッブサイトとする。

デジタル化の完成の後には、テクスト化、いわゆる翻刻、の課題が存在する。手書原稿を活字として起こす作業である。上述のように自筆草稿の一部は既に先人の手によって翻刻され、公刊されているが、多くの資料はいまだ翻刻させ行われていないのが現状である。これはわれわれの時間と能力をはるかに超える作業であり、ここでは将来の課題として指摘するにとどめるが、この作業のためにもデジタル画像が大きな助けとなることは確かであろう。

註

1　詳細については、松尾・池田(2004)、「まえがき」参照。
2　池田正彦・松尾雅嗣 (2004), 104-109 参照。
3　この画像は、広島大学ひろしま平和科学コンソーシアムのホームページ（http://home.hiroshima-u.ac.jp/heiwa/cons/05.html）でも公開している。
4　詳細については、松尾・池田(2004), vi-ix 参照。

引用文献

池田正彦・松尾雅嗣 (2004)「峠三吉東京資料：峠資料電子化の文脈で」、『広島平和科学』, 26, 101-131

池田正彦・松尾雅嗣（編）(2004)、峠三吉被爆日記、広島大学ひろしま平和科学コンソーシアム

松尾雅嗣・池田正彦（編）(2004), 峠三吉資料目録、広島大学平和科学研究センター研究報告 32

謝辞

本研究には、平成１５年度前期広島大学研究支援金「原爆文学を中心とした広島原爆資料の目録作成と電子化の研究」（研究代表者:松尾雅嗣）平成１７～１９年度日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究Ｃ　研究代表者松尾雅嗣）の支援を受けた。

また、峠三吉著作権継承者である峠鷹志氏と、マイクロフィルム版の所蔵者である広島市立中央図書館には資料閲覧とデジタル化に際しお世話になった。

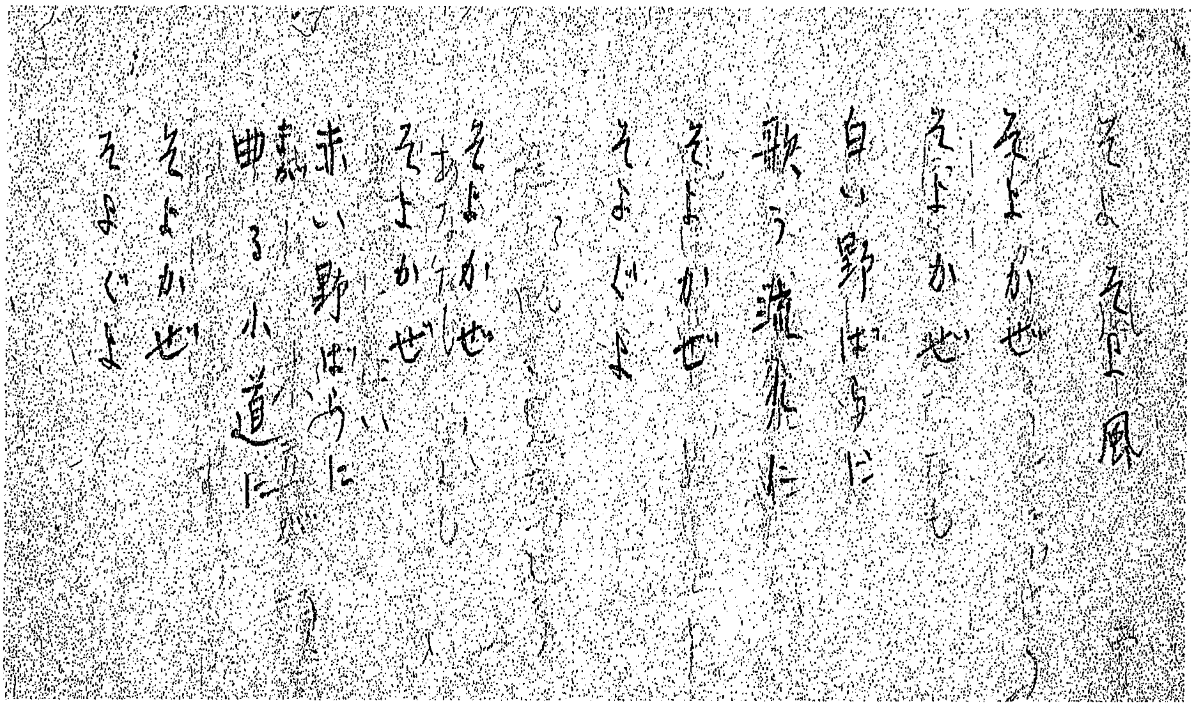
広島大学大学院国際協力研究科博士課程前期の深林真理さん、前田さららさん、橋本金平さん（いずれも当時）、安田女子大学学生の日高愛さんには資料のデジタル化でお世話になった。

広島文学資料保全の会の池田正彦氏には、この研究の機会を提供していただくとともに、資料の整理、資料所有者との仲介、共同研究など多くの協力と支援をいただいた。

ここに記して感謝の意を表したい。

画像例　1

資料番号 M1935A　詩　「そよ風」

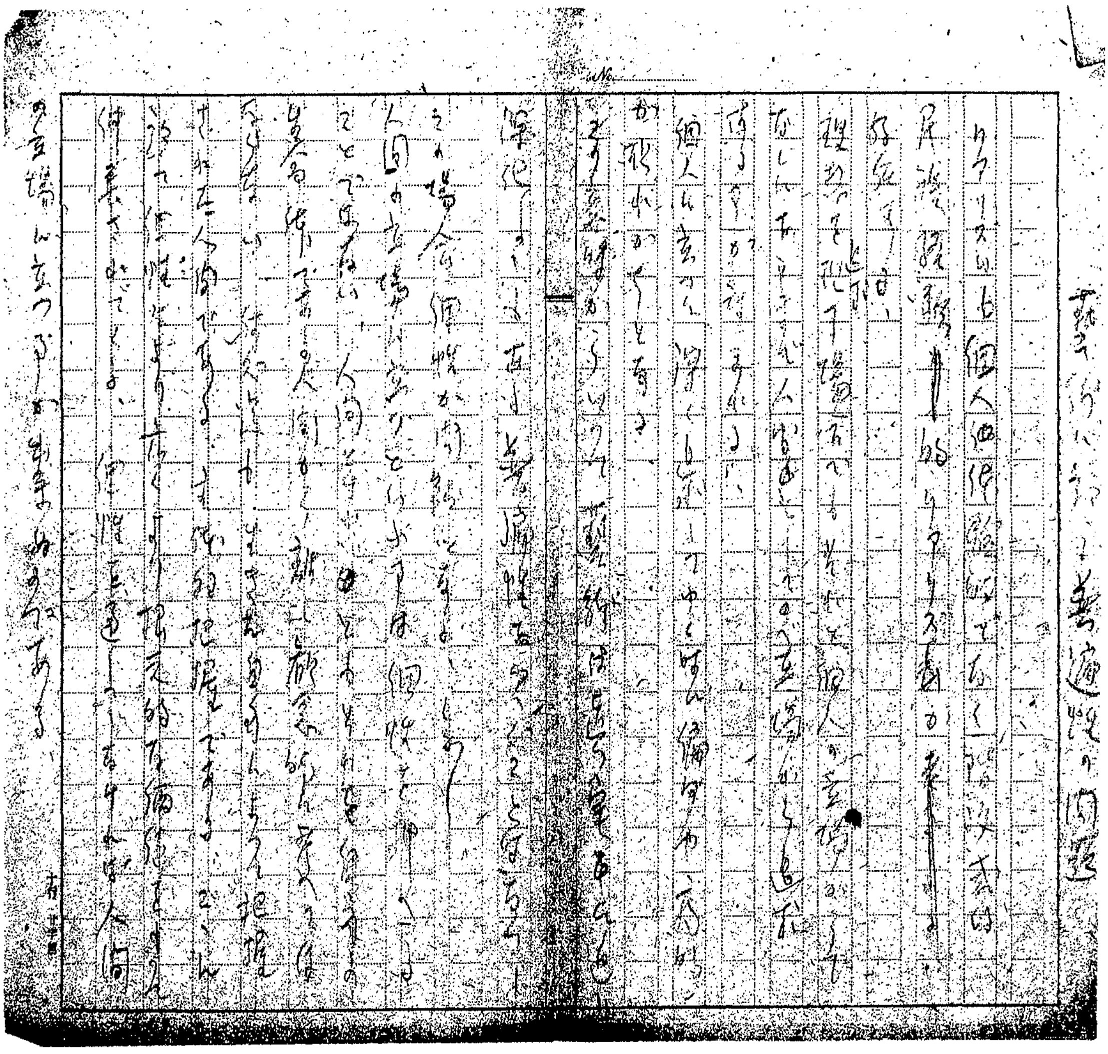

そよ風

そよかぜ
そよかぜ
白い野ばらに
歌う流れに
そよかぜ
そよぐよ

そよかぜ
そよかぜ
赤い野ばらに
曲る小道に
そよかぜ
そよぐよ

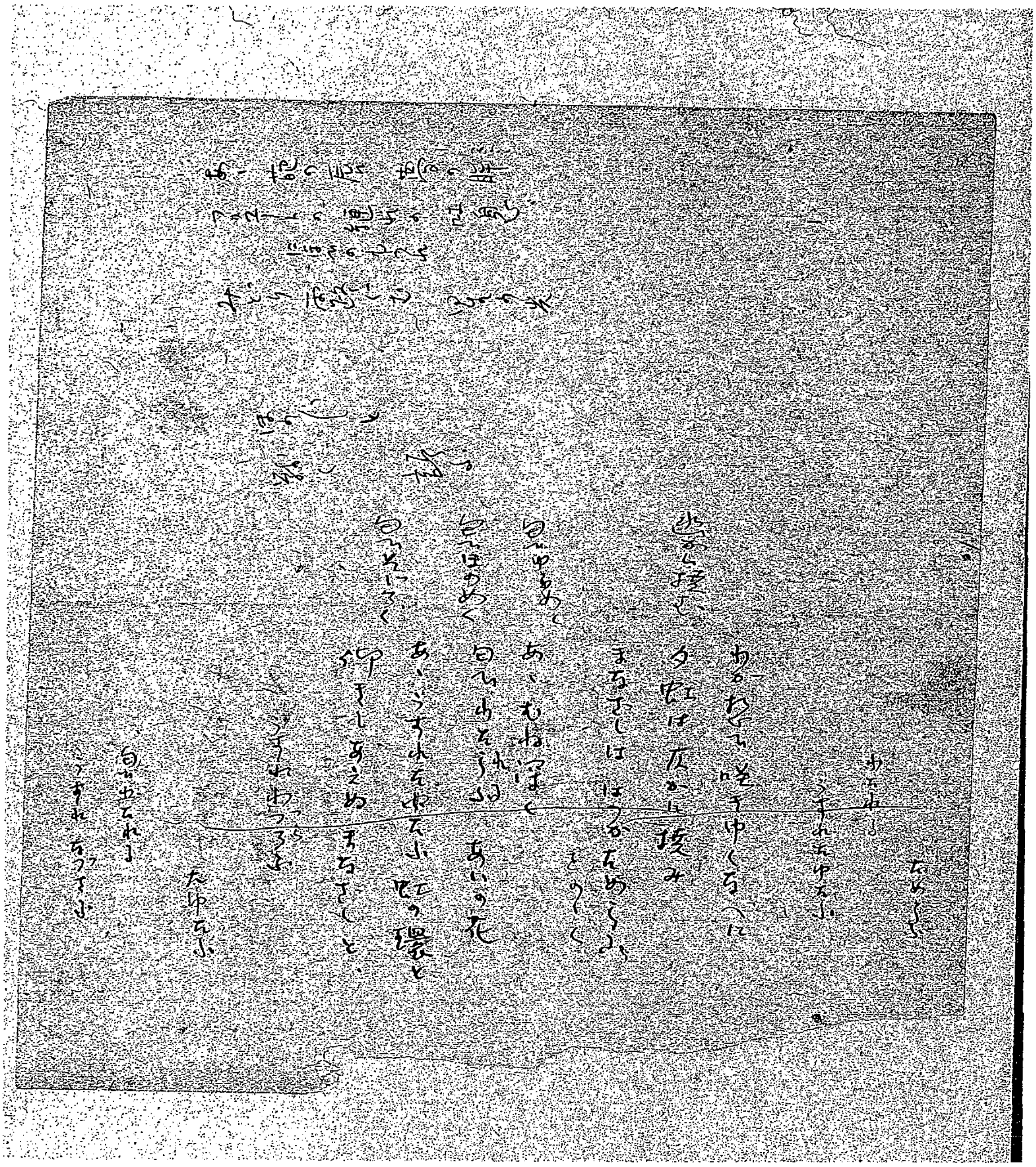
画像例　2

資料番号 M1867 評論　芸術に於ける問題



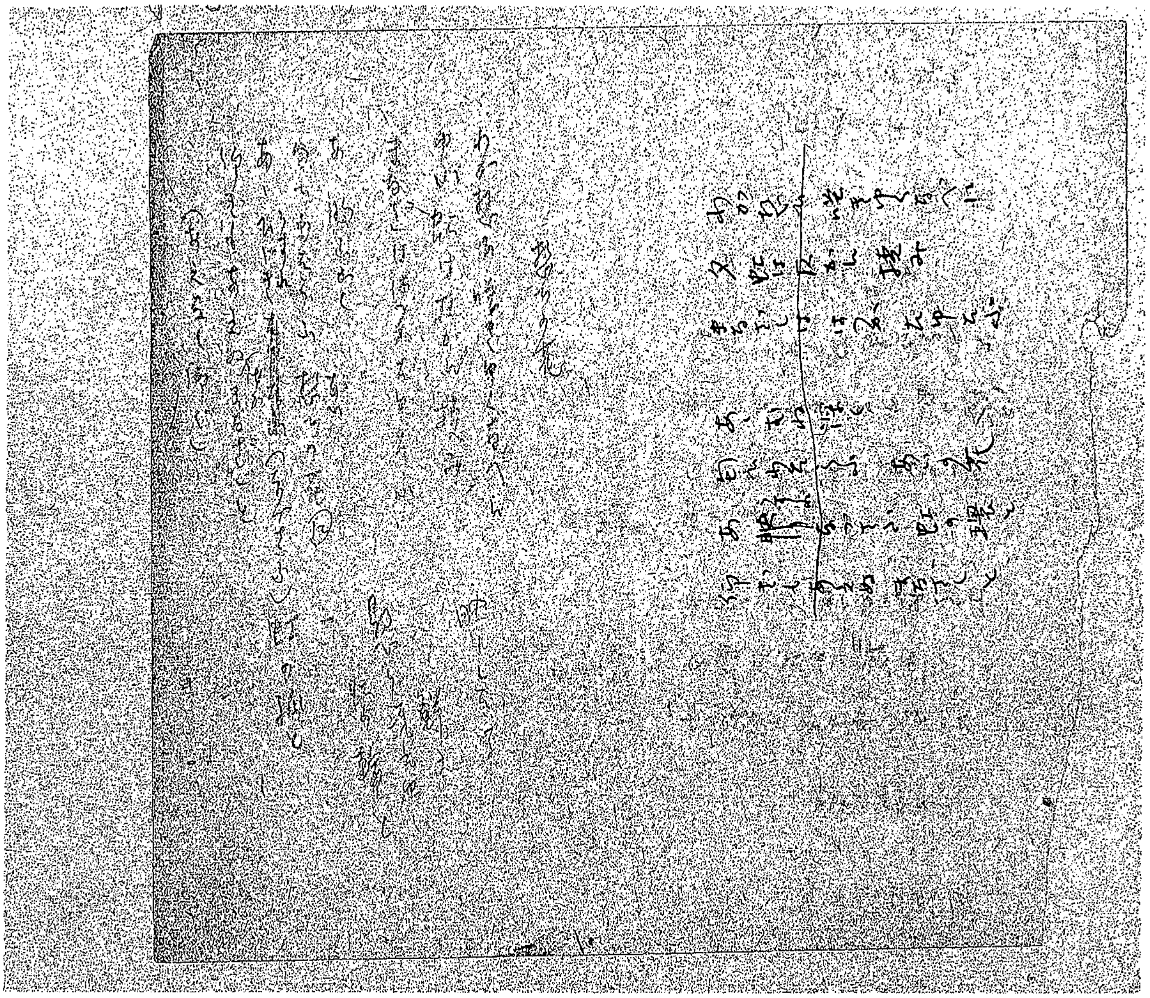
画像例　3　回転を要する資料（表）

資料番号 M2066　「わが想ひ咲きゆくなべに...」ほか断片

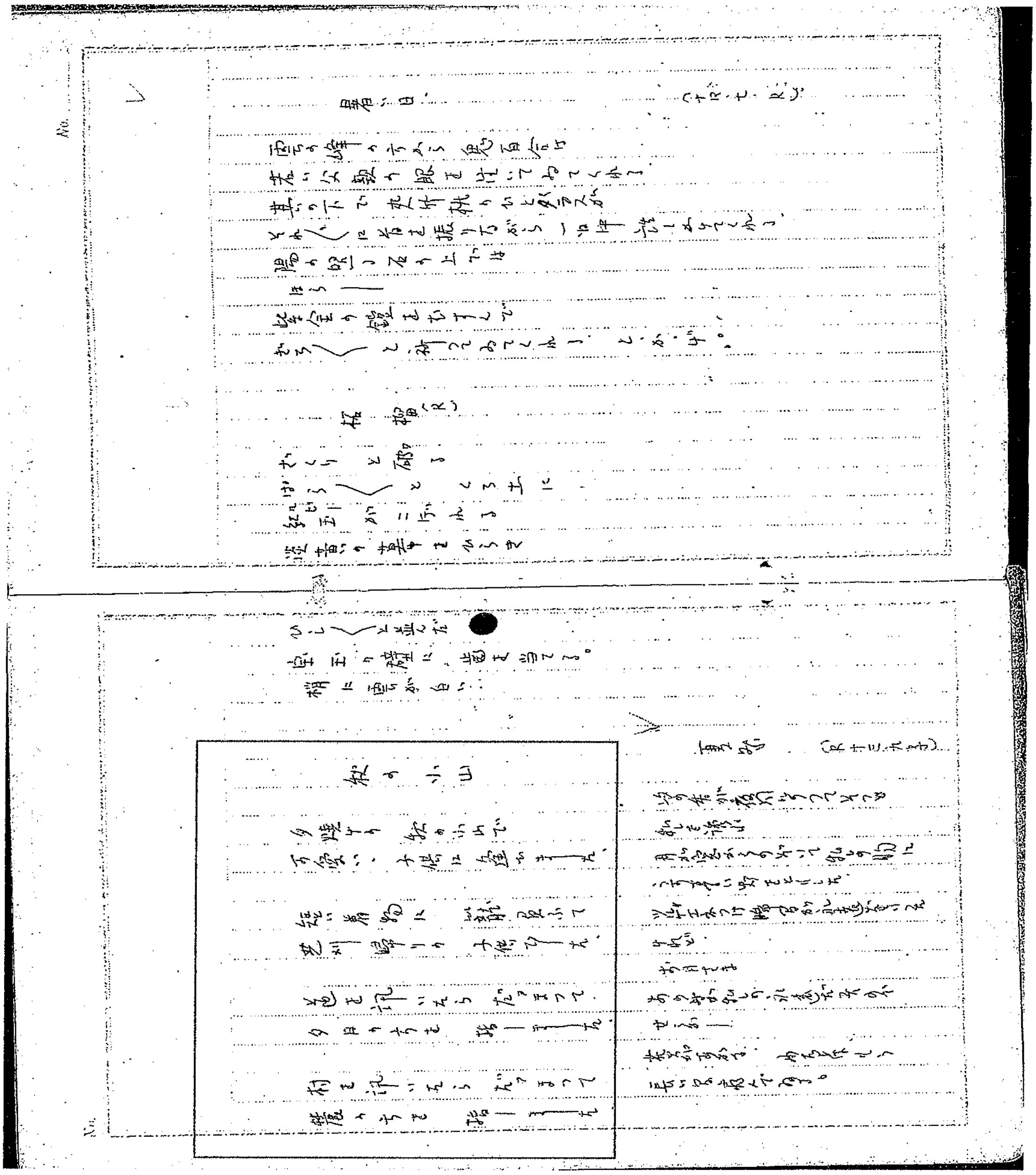


画像例　3　回転を要する資料　続き（裏）

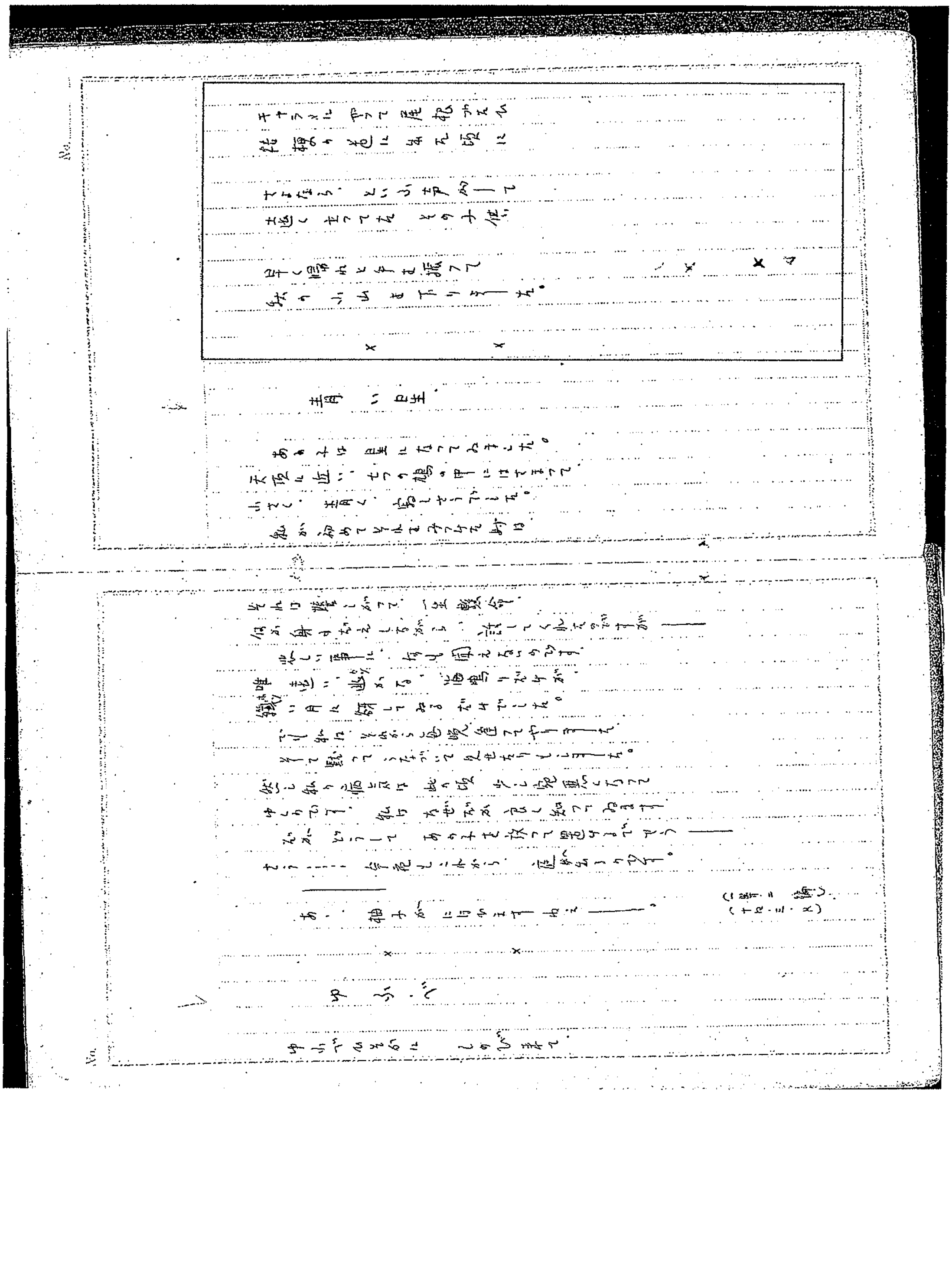
資料番号 M2066　「わが想ひ咲きゆくなべに...」ほか断片　続き



画像例　4　赤枠による資料の特定
資料番号 T0388 詩　秋の小山

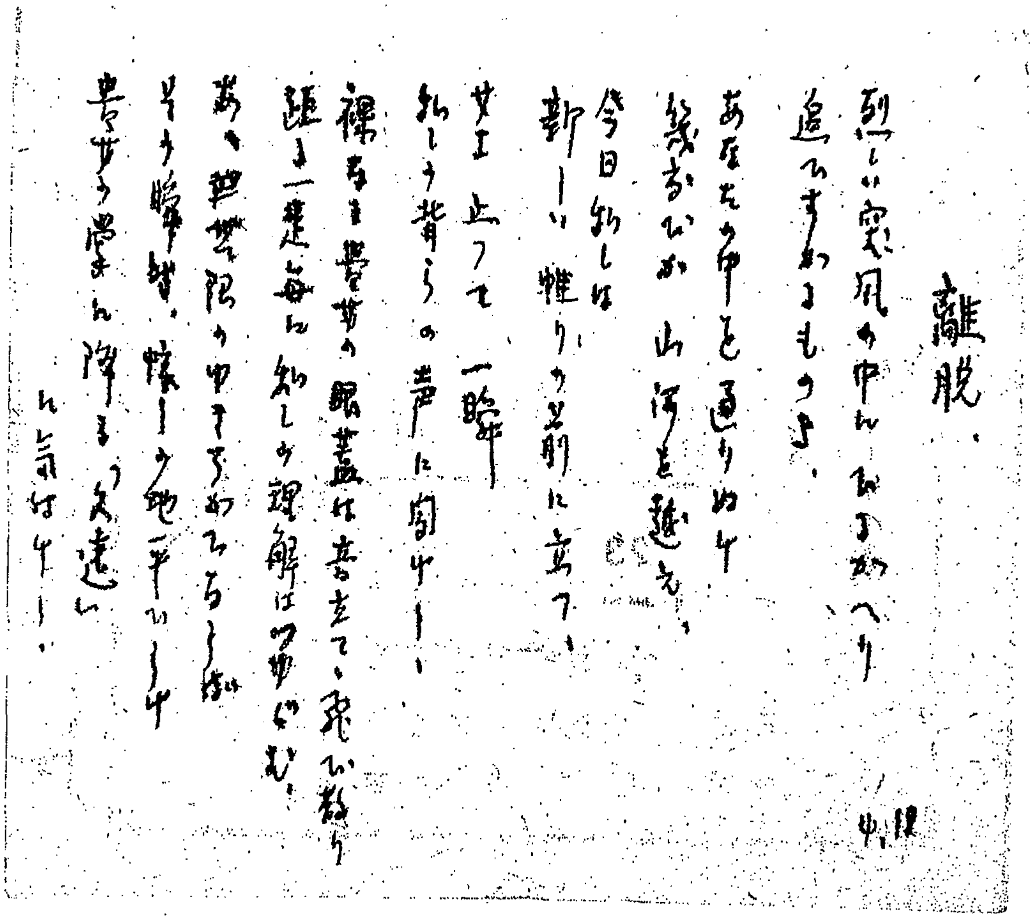


画像例　4　赤枠による資料の特定（続き）
資料番号 T0388 詩　秋の小山（続き）



画像例　５　裏面使用の例

資料番号 M1958 「詩　離脱」

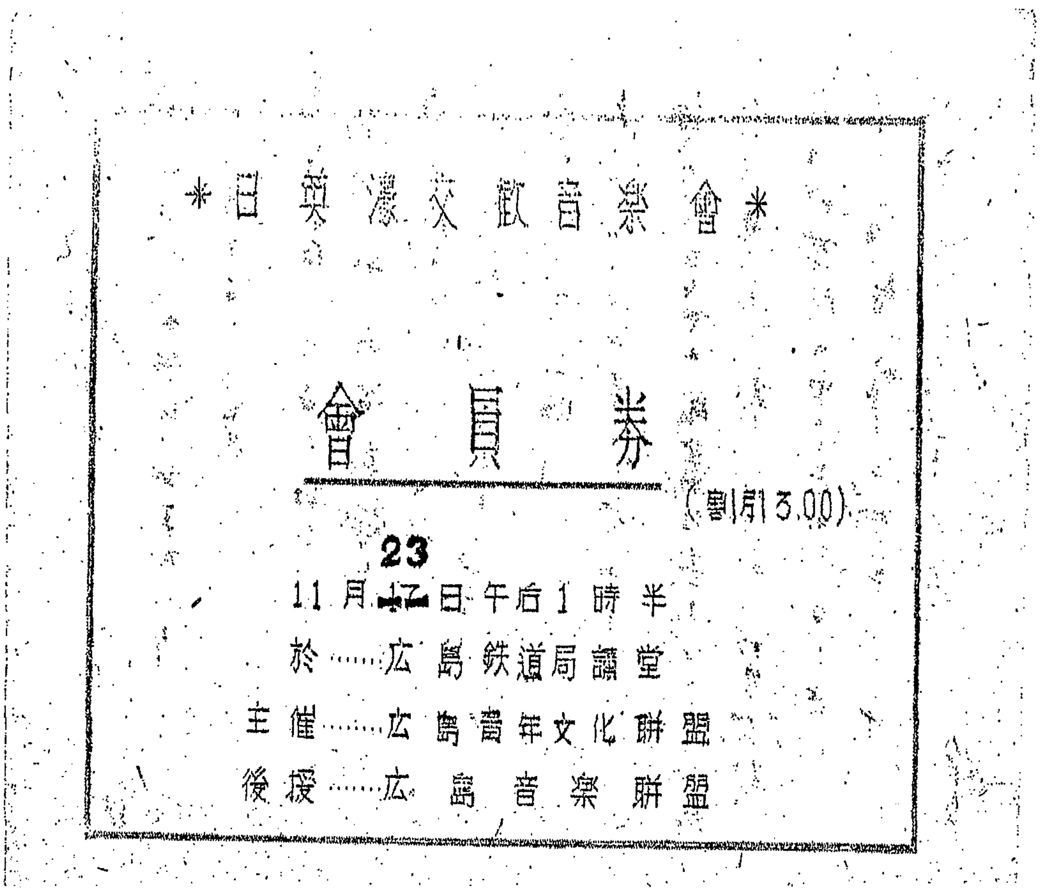


離脱。

烈しい寒風の中に ひるがへり
追ひすがるものよ。
あなたの中を通りぬけ
幾多の山河を越え、
今日わたしは
新しい帷りの前に立つ。
女よ 止って 一瞬
わたしの背ろの声に聞けー。
裸なる豊女の眼蓋は喜びて、飛び散り
踵よ一歩毎に わたしの理解はゆがむ。
あゝ 無限の中をさまよひおちし
その瞬間 懐しの地平ひらけ
豊女の雲に降る久遠
に気付けよー。

中川

画像例　5　裏面使用の例（続き　本来の表）
資料番号 M1958 「詩　離脱」　日英豪交歓音楽会会員券


＊日英濠交歡音楽會＊

會員券

(割引3.00)

23
11月~~17~~日午后1時半
於……広島鉄道局講堂
主催……広島青年文化聯盟
後援……広島音楽聯盟